

平成30年度第1回 文京区アカデミー推進本部 次第

(日時) 平成30年5月16日(水)午前9時30分～
(会場) 庁議室

1 開 会

2 議 題

(1) 文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(案)

(2) 文京区アカデミー推進計画における事業実施状況調査結果について

(3) その他

3 閉 会

【配付資料】

- 資料1 文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(案)
- 資料2 平成30年度文京区アカデミー推進計画 点検・評価スケジュール
- 資料3 文京区アカデミー推進事業調査結果

- 参考資料1 文京区アカデミー推進本部 構成員名簿
- 参考資料2 文京区アカデミー推進本部設置要綱

平成 30 年 5 月 16 日
アカデミー推進課

文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(案)

1 概要

平成 28 年 3 月に策定した「文京区アカデミー推進計画」について、平成 29 年度より、毎年、前年度に実施した事業の実施状況について点検・評価を行っている。

具体的な点検・評価の方法は、年度ごとの取り組みの進捗状況について、アカデミー推進協議会からご意見等をいただき、そのご意見等は、担当課において、次年度の事業の充実・発展につなげていくものである。

2 協議会の構成について

別紙のとおり、16 名の委員で構成する。

3 今後のスケジュール

平成 30 年

5 月 22 日	第 1 回アカデミー推進協議会 全体会：協議会について進行等説明
6 月 5 日・11 日	第 1 回分科会：分野ごとに評価
7 月 3 日・9 日	第 2 回分科会：分野ごとに評価
7 月 31 日	第 2 回アカデミー推進協議会 全体会：総合評価
8 月初旬	アカデミー推進本部幹事会
8 月下旬	アカデミー推進本部
9 月	議会報告

文京区アカデミー推進協議会委員名簿（平成29～30年度） 30.4.1現在

	分野	氏名	団体名・役職等
1	学識経験者	ミズコシ シン 水越 伸	東京大学大学院情報学環教授
2	学識経験者	ヒサマツ ヨシアキ 久松 佳彰	東洋大学国際学部国際地域学科教授
3	学識経験者	タナカ マサフミ 田中 雅文	日本女子大学人間社会学部教育学科教授
4	生涯学習関係団体	マサダ ジュン 増田 純	文京アカデミア講座選定委員会 前期委員会委員長
5	生涯学習関係団体	シオミ ミナコ 塩見 美奈子	文京区生涯学習サークル連絡会 代表
6	スポーツ団体	イノウエ ミヨ 井上 充代	文京区スポーツ推進委員会 会長
7	スポーツ団体	オクムラ トオル 奥村 透	文京区体育協会 副理事長
8	文化・芸術団体	タカザワ ヨシロウ 高澤 芳郎	シエナ・ウインド・オーケストラ 事務局長
9	文化・芸術団体	マキノ ツネヨシ 牧野 恒良	公益社団法人 宝生会 事務局長
10	観光団体	シライ ケイコ 白井 圭子	文京区観光協会 副会長
11	観光団体	アラキ トキオ 荒木 時雄	公益財団法人 東京観光財団 常務理事
12	国際交流団体	ツグダ ヨシカズ 佃 吉一	公益財団法人 アジア学生文化協会 常務理事
13	区民	カイドウ サキコ 海藤 早希子	区民公募委員
14	区民	クロキ ミヨ 黒木 美芳	区民公募委員
15	区民	サトウ ミチコ 佐藤 美智子	区民公募委員
16	区民	マチダ キクオ 町田 菊男	区民公募委員

平成30年度 文京区アカデミー推進計画 点検・評価 スケジュール

年月	アカデミー推進本部			アカデミー推進協議会		議会
	事務局	幹事会	本部	協議会	分科会	
4月	○事業実施状況調査の実施 ○各部依頼(23日×切) ○調査結果集計	○第1回幹事会開催通知				
5月		○第1回幹事会(5月10日) ・計画の点検・評価について ・実施状況調査結果について	○第1回本部開催通知 ○第1回本部(5月16日) ・計画の点検・評価について ・実施状況調査結果について	○第1回協議会開催通知 ○第1回協議会(5月22日) ・実施状況調査結果について (・分科会の運営について)		
6月					○5分野3分科会開催(各2回) ・事業の実施状況の点検及び評価 6月5日 「スポーツ・文化芸術」・「観光・国際」 6月11日 「生涯学習」	
7月		○第2回幹事会開催通知		○第2回協議会(7月31日) ・事業の実施状況の点検及び評価について(まとめ)	7月3日 「観光・国際」 7月9日 「スポーツ・文化芸術」・「生涯学習」	
8月		○第2回幹事会(8月初旬) ・計画の点検・評価について	○第2回本部開催通知 ○第2回本部(8月下旬) ・計画の点検・評価について			
9月						○報告・9月定例

文京区アカデミー推進事業調査結果

—平成30年5月—

【凡例】

表中の「目標1」～「目標4」については、「文京区アカデミー推進計画」のもと、5つの分野を通じて実現する共通目標を設定しています。ひとつは、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流するための環境形成であり、もうひとつは、その環境を活かす人づくりです。さらに、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティを形成しながら、そこでの交流と学び合いを通じて価値をとともに生み出していくこと（協創）を目指します。

4つの共通目標について、各事業が、「目標1」～「目標4」のいずれかに該当する場合には「レ」点でのチェックをしています。

「目標1」・・・環境形成：充実した時間を過ごせる環境形成

「目標2」・・・人づくり：豊かな暮らしを支える人材育成

「目標3」・・・つながりの構築：活動を通じた多様なつながりの構築

「目標4」・・・価値の協創：資源を活かした新たな価値の創造

【参考】

()内は、28年度実施事業

分野	分野別目標	事業総数	目標1	目標2	目標3	目標4
1 生涯学習	1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	88(88)	75(76)	42(41)	52(53)	16(15)
	2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	42(41)	19(18)	29(28)	31(30)	10(10)
	3 学びの継続を通じたまちづくり	37(39)	15(17)	19(21)	33(35)	15(17)
小計		167(168)	109(111)	90(90)	116(118)	41(42)
2 スポーツ	1 スポーツを身近に感じる機会の拡充	13(12)	5(4)	9(8)	9(8)	3(2)
	2 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツの活動の促進	24(25)	8(8)	11(12)	14(14)	3(1)
	3 スポーツの活動を支える環境の整備	16(16)	5(5)	8(8)	9(9)	2(2)
	4 スポーツを通じた仲間づくりと交流	3(3)	1(1)	2(2)	2(2)	1(1)
小計		56(56)	19(18)	30(30)	34(33)	9(6)
3 文化芸術	1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	13(11)	13(11)	4(2)	6(4)	7(5)
	2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	10(10)	3(3)	10(10)	1(2)	2(3)
	3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	28(27)	23(22)	13(12)	9(8)	19(18)
小計		51(48)	39(36)	27(24)	16(14)	28(26)
4 観光	1 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	18(15)	16(13)	10(8)	14(13)	15(12)
	2 情報の収集・活用による来訪の促進	6(6)	5(5)	2(2)	4(4)	4(4)
	3 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	7(7)	4(4)	4(4)	4(4)	5(5)
小計		31(28)	25(22)	16(14)	22(21)	24(21)
5 国際交流	1 国際社会を育む機会づくり	6(8)	1(2)	2(3)	4(5)	4(5)
	2 外国人が快適に過ごせる環境づくり	9(9)	9(9)	4(4)	3(3)	2(2)
小計		15(17)	10(11)	6(7)	7(8)	6(7)
5分野の合計		320(317)	202(198)	169(165)	195(194)	108(102)

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (1)多様な講座や学習機会の提供・充実											1-1-1(1)		
1	1-1-1(1)	18	学01-02	文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。	【平成18年度～】 ・文京アカデミア講座 77講座 (受講者2,255人 定員2,170人 応募者3,332人) [民間教育機関企画講座25講座、大学キャンパス講座32講座、自主企画講座20講座] [分野別:地域4講座、文学11講座、歴史・社会12講座、自然科学8講座、芸術18講座、くらし15講座、健康・スポーツ6講座、語学3講座] ・外国人おもてなし英会話講座 5講座 (受講者100人 定員100人 応募者457人) ・魚のおろし方教室 2講座 (受講者32人 定員32人 応募者147人) ・パソコン講座 5講座10コース (受講者254人 定員300人 応募者340人) ・夏休み子どもアカデミア講座 14講座 (受講者455人 定員434人 応募者1,635人)	✓	-	✓	-	・年間を通して、バラエティに富んだ講座を提供することができ、アンケートにおいて受講生から高い講座満足度が得られた。 ・講座修了生によるサークルの立ち上げなど、生涯学習を継続するきっかけ作りをすることができた。 ・アカデミアサポーターの協力により、スムーズな講座運営を行なうことができた。 ・講座によって応募に偏りがあり、定員に満たないものもあるため、内容やPR方法等の工夫などにより、受講生の興味をひくことが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
2	1-1-1(1)	18	学01-02	文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。	【平成19年度～】 ・文京いきいきアカデミア(第6期1年次)【教養課程】 (受講者63人 定員60人 応募者82人 進級者62人)	✓	-	-	-	・2年制の講座であり、受講生募集は隔年となる。 ・29年度は第6期1年次であったが、受講生63名中62名が進級という結果を得ることができた。 ・期によっては単位取得ができず、進級・卒業できない受講生が増えることもある。講座内容によるモチベーションのアップや受講生同士のコミュニケーションを密にすることが課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3	1-1-1(1)	18	学01-02	企業等連携講座(メセナ講演会)	企業等が社会貢献活動の一環として実施するビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座(講演会)を開催します。	・メセナ講演会 1講座(3月) (受講者41人 定員70人 応募者35人)	✓	-	✓	-	・新たな内容の講座を提供することができた。 ・講座に協力いただける区内企業等への働きかけや事業周知が必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
4	1-1-1(1)	18	学01-02	大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座(大学学長の講演会)を実施します。	【平成6年度～】 ・学長講演会(大学学長(総長)による講演会) 2講座(10月・12月) (受講者124人 定員300人 応募者147人)	✓	-	✓	-	・大学が数多く存在する文京区の特徴を活かした事業である。 ・決定から実施までの期間が短かったこともあり、十分な広報ができず、受講生が集まらなかった。 ・大学との連携による広報等、受講生を増やすための方法が課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
5	1-1-1(1)		学01-02	資格取得キャリアアップ講座	区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。	・12講座(受講者35人 定員120人) (日本女子大学8講座、東洋大学2講座、拓殖大学1講座、貞静学園短期大学1講座)	✓	-	✓	-	・大学との連携が整っている文京区ならではの取組である。 ・受講料の一部補助というメリットを周知すること等により受講生を増やすことが課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
6	1-1-1(1) 3-3-1(1)		学01-02	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 4講座 (受講者126人 定員105人 応募者203人) ・文京いきいきアカデミア講座 18講座 (受講者63人 定員60人 応募者82人)	✓	-	-	✓	・生涯学習支援者の協力もあり、地域に関する講座を提供できた。 ・地域学講座のテーマについてリサーチが必要である。 ・地域学を講義できる講師の発掘が必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
7	1-1-1(1) 5-1-1(3)	70	学01-02	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	・文京アカデミア講座 24講座 [語学3講座、外国文化・歴史16講座、外国人おもてなし英会話5講座] (受講者611人 定員549人 応募者808人)	✓	-	✓	-	・複数の言語の語学講座をはじめ、様々な講座を提供することができた。応募者も定員を大きく上回る講座が多かった。 ・オリンピック・パラリンピックに向けて更なるニーズを探ることが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
8	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
9	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126
10	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,500部 8回 8月10日～12月25日 124,000部 10回 1月25日～3月25日 124,500部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課	広報担当・内線2121
11	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3)	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
12	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3)			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成28年度発行) 次回発行:平成30年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知をすることができる	広報課	広報担当・内線2121
13	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2)			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(平成28年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当・内線2121
14	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	✓	✓	✓	✓	・さまざま訓練を通じて、区民や区内事業所等へ防災意識の普及や知識の向上を図ることができた。 ・若い世代への普及啓発が課題である。	防災課	訓練担当 内線:2548・2554
15	1-1-(1)			職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する。	中小企業向けセミナー 14回 中小企業向け講演会 3回	-	✓	✓	-	経営者や従業員が必要な知識・技術を学ぶ機会を提供できた。	経済課	産業振興係・内線2452
16	1-1-(1)		産02-01	職業に関する学習機会の充実	区内で創業を目指す人に対し、実践的な技術、理念を学ぶ機会を提供する。	創業支援セミナー入門編 創業支援セミナー実践編(全5回) 創業支援セミナーひとり起業編(全5回)	-	✓	✓	-	創業に必要な知識や技術を提供することができた。	経済課	産業振興係・内線2452
17	1-1-(1)		産05-01	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	消費生活研修会9回、携帯電話教室3回 消費生活展1回 出前講座14回	✓	✓	✓	-	消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
18	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供する。	子ども向け研修会2回 子ども向け出前講座11回 幼児向け消費者教育2回	✓	✓	-	✓	子どもに対する早期の消費生活に関する学習機会を提供できた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
19	1-1-(1)			幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供する。	児童館行事各種(リトミック、遠足、卓球、リズムダンス、サッカー教室、ドッジボール大会、運動会、手芸教室、キッズパレエ、ペビーマツサージ、ペビーヨガ、季節行事、伝承遊び等)	✓	-	✓	-	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供した。	児童青少年課	児童係・内線7031

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
20	1-1-(1)		地06-01	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・男女平等参画セミナー ・女性再就職セミナー&相談会 1回(6月2日 参加者 61人) ・カラーリボンフェスタ 1回(11月7日から2日間 531人) ・DV予防セミナー1回(11月25日 10人) ・男性向け子育てセミナー 1回 (2月3日 44人) ・国際女性デーイベント 1回(3月8日636人) ・グローバル推進事業 3回(8. 11. 3月) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(6月4日 参加者62人 定員150人) ・男女平等センター講演会 1回(3月18日 参加者130人 定員150人) ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回(11月26日 参加者29人 定員50人) ・プラスワンセミナー 6回(①6月23日 参加者30人 ②7月15日 参加者27人 ③9月8日 参加者21人 ④11月23日 参加者49人 ⑤2月3日 参加者20人 ⑥3月9日 参加者22人 定員各30人) ・未来の女性科学者育成事業 2回(①7月23日 参加者4人 ②3月25日 参加者6人 定員各20人) ・父と子の料理教室 2回(①8月5日 参加者24人 ②8月6日 参加者24人 定員各24人) ・保育園情報展示 1回(9月8～18日 参加者317人) ・区政を知る懇談会 2回(①11月8日 参加者23人 ②1月22日 参加者17人 定員30人) ・裁判ウォッチング 1回(11月16日 参加者24人 定員25人) ・利用者懇談会 2回(①6月15日 参加者27人 ②11月14日 参加者42人) ・登録団体企画助成事業3回(9月9日 参加者16名 11月25日 参加者28名 12月3日 28名)	✓	✓	✓	-	・女性だけでなく男性向けのイベントを開催したこともあって、性別にかかわらず参加があり、また幅広い年齢層に対して学習機会を提供することができた。 ・男女平等センターでは、29年度を「はたらく」をテーマとして各種事業を企画した。また、センターまつりでは「はたらく」についてのアンケートを実施し、結果をパネル展示する等、現状を身近なものとして紹介することができた。 ・固定的な性別役割分担意識は若い世代や女性を中心に変革が進んでいるものの、政策や方針の決定の参加、慣行や社会の様々な分野での不平等感はいまだに改善されていない。継続的に学習の機会を設けていく。また、育児中の方の参加を増やすよう努めていく必要があると考えている。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
21	1-1-(1)		安03-01	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにする。	【平成29年度】 3回講習会開催 226人自転車運転免許証発行	✓	-	-	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生3・4年生に対し自転車利用安全(ルール・マナー)の周知を図っている。	管理課	交通安全係・内線3008	
22	1-1-(1)			自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催している。	(1)秋(11月12日)東京大学本郷キャンパスにて開催 定員:40名(抽選)、応募者数:52名、参加者数:49名 (2)春(3月11日)六義園にて開催 定員:40名(抽選)、応募者数:18名、参加者数:41名 (3)春(3月25日)小石川植物園にて開催 定員:40名(抽選)、応募者数:61名、参加者数:41名	✓	✓	✓	✓	・平成29年度より年3回実施しているが、毎年、人気が高く、多くの募集が見込まれる。 ・3箇所とも実施の希望の多い箇所であり、他の時期での実施も望まれている。(四季の移り変わりの観察)	みどり公園課	緑化係・内線3057
23	1-1-(1)		環01-02	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催している。	7月23日に小学校3年生(保護者付添い)から6年生を対象に実施 定員:20組(保護者含む40名)、参加者数:18名(保護者14名)計32名	✓	✓	✓	✓	・小学生の夏休み期間に実施されるため、多くの希望者が見込まれる。 ・参加者の増員を検討するが、実験等で目が届かないこともあるため難しい。	みどり公園課	緑化係・内線3057
24	1-1-(1) 新規追加		環01-02	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施する。	10月14日に礪川公園にて実施 定員:100名(抽選)、参加者数:100名(補欠100名)計200名	✓	✓	✓	✓	・過去にも実施していたため、事業の開始を喜ぶ声が多く聞かれた。 ・人気の樹種に偏りがあるため、余ってしまった。	みどり公園課	緑化係・内線3057
25	1-1-(1) 1-2-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度～】平成29年12月6日シビックホール会議室で実施。 定員40名、参加者35名で、参加者の内リサイクルイン文京の会員が11名。	✓	✓	✓	-	・備蓄食品を活用する「ローリングストック」のポイント紹介を通して、食品ロス削減の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
26	1-1-(1)	88	環02-02	文京ecoカレッジモノ・フォーラム	モノ・ブランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催している。	平成30年2月6日にレクリエーションホールで実施した。定員50名、応募者28名、参加者24名。	✓	✓	✓	-	・「食品ロス」をテーマに消費者と事業者の二つの視点から食品廃棄物量や賞味期限・消費期限の違いのほか、食品ロス削減のための取組を紹介してごみ減量のための推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
27	1-1-(1)		子02-02	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催する。	・家庭教育に関心のある方を対象に、講座9回、座談会1回実施した。 ・実施場所はシビックセンター地下1階、レクリエーションホール ①6月13日(95名) ②7月13日(128名) ③8月21日(親14名、子ども3名) ④9月14日(39名) ⑤10月19日(37名) ⑥11月13日(10名) ⑦12月12日(43名) ⑧1月15日(33名) ⑨2月9日(18名)	✓	-	✓	-	・参加者アンケートでは毎回8割以上の回答者がよかったと回答し、好評である。 ・対象年齢によるコース制を廃止し、誰でも自由に参加できるように形で実施しているため、テーマ設定が難しくマンネリ化している。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
28	1-1-1(1)		子02-02	家庭教育講座 「今だからこそ考えたい放射能—事故から三年半・測定現場から—」	①東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、放射性物質の特徴や正しい放射線量の測定方法等について、専門家の話を伺う。 ②東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、被曝による健康問題等について、専門家の話を伺う。	第4回家庭教育講座で実施。 「原発事故と放射能～測定の現場から～」 実施日：9月14日 参加人数：39人	✓	-	-	-	参加者アンケートで全員がよかったと回答している一方、リピーターが多く、参加者が固定化している傾向にある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
29	1-1-1(1) 2-3-4(4)		教03-01	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	歯と口の健康づくり2017 参加者214名、学校保健会特別講演 参加者120名、学校保健・給食大会 参加者数294名	✓	-	-	-	3つの事業により、多くの区民に講演を聞いてもらうことができた。区報等でも周知はするが、区立小・中学校、幼稚園を通じて呼びかけるため、ほとんどの来場者が保護者となっていることから、広く一般の区民の来場を呼び掛ける必要がある。	学務課	学校保健担当・内線3529
30	1-1-1(1) 1-3-2(2)			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課	教育指導課内線3541
31	1-1-1(1)		教02-01	科学教育事業の充実	児童・生徒等に対し、地域で交流したり、学習する機会を充実する。	幼児・児童・生徒・保護者を対象とした講座を全46回実施し、計1868名が参加し、学習活動を行った。	-	✓	✓	-	幼児から小学生の参加が多く、自然科学や情報教育を推進できた。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
32	1-1-1(1)		教02-01	子ども科学カレッジ(科学教育事業の充実)	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究の成果を体験できる講座を開催する(全10回)。	講座を全15回実施し、小学4年生から中学3年生まで計346名の参加があり、大学の最新の研究成果に触れるとともに、学術研究の素晴らしさを体験した。	-	✓	✓	-	優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっている。中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
33	1-1-1(1)			教養を高める学習機会の充実	教養に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催する。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を9回実施	✓	✓	✓	✓	出前選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くと9割以上が応えている。一方で、実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進める。	選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局・内線3401
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (2)学習や活動ができる環境の提供											1-1-1(2)		
34	1-1-1(2)	19	学01-02	大学連携による各種事業	区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。	・文京アカデミア講座 12大学 32講座 ・夏休み子どもアカデミア講座 6大学 7講座 ・資格取得キャリアアップ講座 4大学 12講座 ・外国人おもてなし英会話講座 5大学 5講座	✓	-	✓	-	・大学の人材やキャンパスを活かした講座を提供することができた。 ・区内には21の大学・短大があるので、より多くの大学・短大の協力を得るために、大学担当者連絡会等で密な情報交換を行っていく必要がある。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
35	1-1-1(2) 1-1-1(4) 1-3-2(2)	19 24		大学連携による附属図書館の区民開放	大学の附属図書館を区民に開放していただくことで、区民の学習活動を支援します。	8館で区民利用が可能。 ・東洋大学附属図書館白山図書館※2 ・文京学院大学本郷図書館※2 ・日本女子大学図書館(目白キャンパス)※1※2 ・お茶の水女子大学附属図書館※1※2 ・跡見学園女子大学茗荷谷図書館※1※2 ・拓殖大学茗荷谷図書館 ・筑波大学大塚図書館 ・貞静学園短期大学附属図書館 ※1は女性区民に開放 ※2は区立図書館で申請受付	✓	-	✓	-	・公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	真砂中央図書館計画担当・内線3625
36	1-1-1(2)	19	学01-02	視聴覚資料等の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。	・視聴覚機器、16ミリフィルム、DVD、ビデオ(VHS)等 貸出176件	✓	-	-	-	・29年度に、5年ぶりに視聴覚ライブラリー目録を改訂し作成した。 ・所蔵作品及び利用について周知し、利用促進を図ることが必要である。 ・16ミリフィルムの保存と映写機のメンテナンス、及び映写技師の育成が課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
37	1-1-1(2) 1-1-1(3)	19		「文の京」施設予約ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性の向上を図ります。	平成30年3月末現在、インターネット施設システムの利用者は6,763名。	✓	✓	✓	-	機能改修により、区民の利便性の向上、事務処理の効率化ができた。 利用者・管理者からの要望に応えていくことに加え、管理者同士の連携を図る必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581、2582
38	1-1-1(2)		学01-01	区内大学学長懇談会の実施	区内大学学長懇談会を開催し、区と大学との連携の強化を図る。	30.1.12区内大学学長懇談会の開催(33回開催) 区内19大学学長と区長外との懇談会	✓	✓	✓	✓	毎年異なるテーマについて意見交換・情報共有ができる。H29年度は「大学における人材を生かした社会や地域への貢献について」19大学のため意見をいただく時間が短い。実施方法について検討する必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582
39	1-1-1(2)			区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指す。	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 29年度283件(事業数108)	✓	✓	✓	✓	多くの事業で大学との連携・協働ができています。大学の特色により連携大学に偏りがある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
40	1-1-(2)			文京区インターンシップ	事業参加者が、自己の適性を把握し個々の能力に適した進路に進めるよう、区内大学等の学生を対象に区政実務の体験実習を行っている。なお、本事業は参加者より住民目線の提言をいただき、区民志向で質の高い効率的な行政運営体制を確立することを目的としている。	【平成15年度～】 8月14日～8月25日のうち10日間 参加者：15名 学生 10大学10名 区民 5名	-	✓	✓	-	・公務員を目指す学生等に好評である。	職員課	職員育成担当・内線2237
41	1-1-(2) 5-2-(2)			能力開発『実務・専門』ステージ 実務研修「庁内留学in Bunkyo～国際交流人の育成～」	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人講師による英語研修を実施するとともに、TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者への中心的役割を担わせる。	【平成27年度～】 5月～12月(前期・後期) グループレッスン、マンツーマンレッスン、自習受講者 前期(5～8月) 19名 後期(9～12月) 19名	✓	✓	-	-	・受講生に好評である。 ・TOEIC600点以上の取得者を増やすことが課題である。	職員課	職員育成担当・内線2237
42	1-1-(2) 1-3-(2)			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課	産業振興係・内線2452
43	1-1-(2)			社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習。毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180時間	平成28年度は8月21日から9月29日まで実施 東洋大学	✓	✓	✓	-	社会福祉士の資格を取得するための実習となっているため、複数の大学より、学生の受入依頼がある。 ・実習指導者数が少なく、十分な学生の受入れができない。	福祉政策課	福祉企画係・内線2702
44	1-1-(2)		高福03-05	認知症サポーター養成講座	跡見学園女子大学で認知症サポーター養成講座を実施します。	跡見学園女子大学において実施 ①H29.4.24 受講人数6人 ②H29.7.7 受講人数20人 ③H29.8.3 受講人数12人	-	✓	-	-	大学内ゼミにおいて講座を開催することで、学生層への普及啓発の一助となった。サポーターとなったその後の活躍の場やステップアップ講座へのつながりを検討することが課題である。	高齢福祉課	高齢福祉課 認知症・地域包括ケア係 (2707～2709)
45	1-1-(2) 2-2-(3)			健康まち歩き	「体力アップフェア」の後継事業として、シニアプラザ事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち歩き」を一般事業化してH28年度から継続実施。学生が年度当初から企画作成した区内探訪コースを、専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生の案内で歩く。多世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向上を図る。	7月実施 平成29年9月25日(月) 本大会 平成29年10月28日(土) 学生ボランティア20名・文高連8名・一般区民18名・大学関係者2名・大塚製菓1名・区関係者10名(講師2名、看護師1名、高齢福祉課7名) 計：59名	✓	-	-	-	健康運動士によるウォーキング講座を受講後、学生が作ったコースをおしゃべりやカフェを楽しみながら一緒に散策した。文高連会員や学生による細やかな配慮のもと、参加者の満足度も高く、心身ともに元気に過ごせる地域づくりに寄与することができた。今後より多くの方に参加していただけるよう、周知に努めていく。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
46	1-1-(2) 2-2-(2)			からだコンディショニング事業(福祉センター江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防ぎ、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施した。 【江戸川橋・湯島共通】 1クール12回×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 597人・湯島 565人	✓	-	✓	-	理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施した。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加につなげることができた。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
47	1-1-(2)		子05-10	児童館・育成室等の整備	待機児童の解消のため新規育成室を設置する。また、耐震補強工事に合わせて施設の整備を図る。 全児童館の開館時間を午後6時まで延長し、中高生の居場所として活用している。	建物の老朽化対策・エレベーター設置のための改修工事に着手(駕籠町育成室)	✓	-	-	-	待機児童の解消のため引き続き育成室の増設に取り組んでいく。	児童青少年課	児童係・内線7032
48	1-1-(2)		子01-01 子01-02	子ども家庭支援センター事業	相談事業や親子ひろば事業、育児支援ヘルパー事業等を実施することにより、家庭における保護者の子育て及び子どもの健全な育成を支援する。また、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関のネットワークを整備し、児童虐待の予防、早期発見・対応ができる体制を構築する。	子ども家庭支援センター実績 ・総合相談事業：一般相談9,424件 専門相談701件 児童虐待(再掲)6,435件 総件数 10,125件 ・親子ひろば事業 登録者数 3,736人 利用者数 28,200人 ・子育て支援講座 27回開催 参加者数 606人 ・育児支援ヘルパー事業 派遣回数延928回 派遣家庭38家庭 ・要保護児童対策地域協議会 個別ケース会議60回 医療関係者会議2回 実務者会議4回 代表者会議1回	✓	✓	✓	-	・子どもと家庭に関する相談事業、情報交換や交流の場を提供する親子ひろば事業を実施するとともに、子どもとの関わり方や子育てに関する不安や悩み等をテーマに子育て支援講座を開催し、参加者の不安や悩みの軽減を図りました。 ・相談対応件数の増加に加え、複雑な状況を抱える子どもや家庭等を支援するために、関係機関との連携をさらに強化する必要があります。	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センター・家庭支援係内線7018から各係へ

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
49	1-1-(2)		健02-03	レッドリボン展	ギャラリーショップでエイズ啓発物展示			✓	—	・区民ひろばでのコンサートとアートギャラリーでの展示との同時開催により、多くの来庁者に対して正しい知識の普及と理解の啓発を行うことができた。 ・展示ではテーマにあわせて内容を見直し、正しい情報を更新できるようにしていくこと、コンサートについては空席もあったため、椅子席を利用をしやすいし、展示と相互で集客を増やせるように誘導を検討していくことが課題である。	予防対策課	保健指導係・内線2819
50	1-1-(2)			巨木スタンプラリー 東大	小学生の親子を対象に、身近な自然に親しんでもらうため、巨木を巡るスタンプラリーを実施。会場に東京大学本郷キャンパスを使用し、事業運営に各大学の学生ボランティアが参加している。		✓	✓	✓	・毎年、多くの参加希望者があり、定着した事業となっている。 ・今年度は、直前での中止となったため、実施の有無の判断を早期に行うと共に、周知の方法を検討していく。	みどり公園課	緑化係・内線3057
51	1-1-(2)		環02-02	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供する。		—	✓	—	・平成28年度から実施回数を増やしたため、平成29年度も多くの親子に体験型環境学習の機会を提供することができた。 ・29年度も各教室で定員22組を超える応募があった。応募多数の場合は抽選となるため、受講できない親子の数が解消できるかが課題である。	環境政策課	地域環境係・内線3131
52	1-1-(2)			校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されている八ヶ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図る。		✓	—	—	利用者が固定されている傾向にあるため、広報活動に工夫が必要である。また、建設から約40年が経過し、施設内の付帯設備及び浴室棟の老朽化が課題である。	学務課	施設係・内線3535
53	1-1-(2)			文京区教育ビジョンの推進(教育ビジョンの具体化の推進)	教育ビジョン推進プランに基づき、生涯学習の基礎づくりを図り、豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行う。		✓	✓	—	豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行っているが、今後も継続していくことが重要であると捉えている。	教育指導課	教育指導課内線3541
54	1-1-(2)			校外施設での学習の推進	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな体験ができるよう、校外施設での学習を行う。		—	✓	—	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな人間性を育むことにつながっている。	教育指導課	教育指導課内線3541
55	1-1-(2)			理科推進事業	区立中学校1・2年生に対して、講義および演説、実験等を行い、科学に対する興味、関心を高める。		—	✓	—	科学に対する興味・関心の高まりについては、効果が表れている。引き続き、科学に興味・関心を高めていくことが課題である。	教育指導課	教育指導課内線3541
56	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。		✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (3)あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実											1-1-1(3)		
57	1-1-1(3)	20	学01-02	保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。	・平日日中のシビックセンターが会場の講座を対象に、希望者に保育を実施(実施実績2講座) ・語学以外全講座(文京アカデミー講座、区民プロデュース講座、大学プロデュース特別講座、特別公開講座、メナ講演会等)を対象に、希望者に手話通訳者を配置(配置実績0講座)	✓	-	-	-	・保育を希望する受講生全てに対応した。 ・手話ではなく、字幕対応のリクエストがあったが、対応できなかったため、今後の課題である。 ・登録保育士が少なく、対応が困難となることも予想される。新たな保育士の確保等の検討が必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
58	1-1-1(3)	20	学01-02	文京eラーニング	外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。	【平成18年度～】 ・3番組新規配信 累計36番組配信 アクセス数 9,542件	✓	-	✓	-	・仕事等で講演会に参加できなかった方に場所・時間を問わず講義内容を視聴していただく機会を提供した。 ・使用した資料等が著作権の関係で配信できない部分がある。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
59	1-1-1(3)	20	学01-02	夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開講します。	・文京アカデミー講座 平日夜間 3講座 土曜日 13講座 ・外国人おもてなし英会話講座 平日夜間 1講座 土曜日 1講座	✓	-	-	-	・需要の多い土曜日に講座を開講し、仕事等で平日日中に講座受講が困難な層に受講の機会を提供した。 ・講座内容や平日昼間の講座とのバランスを考慮して講座を開講し、新たな受講者層の拡大を図る必要がある。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
60	1-1-1(3) 2-3-1(1)	20		学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。(余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離)	【学務課】30年2月現在実績 小学校 5690件 中学校 4519件	✓	-	-	-	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。一方で、利用団体が固定されている傾向にあるため、利用団体の拡大が課題である。	スポーツ振興課 学務課	スポーツ振興課 施設等担当・内線2594学務課施設係・内線3535
61	1-1-1(3)	20	学02-01	生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。	【平成28年度～】 ・生涯学習司による相談受付を実施 週3日、1日3時間 相談件数211件 *区民プロデュース講座企画相談・受付も実施(2～3月) 土曜窓口開設、平日夜間時間延長	✓	-	✓	-	・区民プロデュース講座の企画相談を実施し、相談者から好評を得た。 ・相談窓口の周知及び、相談に必要な学習に関する情報の収集が課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
62	1-1-1(3)			学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供する。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシの配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 さらに周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582
63	1-1-1(3)			大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供する。また、高校の公開講座の情報も収集する。	大学の公開講座・講演会の予定を指定管理者である(公財)文京アカデミーの広報紙「Square」ポスターの掲示及びチラシ配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	地域アカデミーや図書館で掲示することで区民に広く周知することができる。 さらに周知できる方法を検討する必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581 (公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
64	1-1-1(3)			文京アカデミー講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	・文京アカデミー講座案内パンフレット 3回発行(前期・後期・後期Ⅱ 各4000部) ・夏休み子どもアカデミー講座パンフレット 1回発行(6,000部) ・財団広報紙(100,000部)、広報紙音声版CD、区報、HP等各種メディアを活用した講座案内及び申込受付を実施	✓	-	-	-	・様々なツールを用いて周知し、効果的に財団事業をPRできた。 ・HP掲載により、インターネットからの申し込みが増加している。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
65	1-1-1(3)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	各種障害者対象講座の開催(料理、フラワーアレンジメント、お点前、陶芸等)	✓	-	-	-	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係(基幹)・内線2792
66	1-1-1(3)		子06-01	保育施策	事業所内保育所である「順天堂もともち保育所」において、区民枠として30名を保育している。また、旧元町小学校で運営している順天堂病後児ルーム「みつばち」に、病後児保育事業を委託している。	病後児保育事業延べ利用者数 1,008人	-	-	✓	✓	病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 一方、利用予約により、定員が満員になるが、保護者の勤務予定や子どもの体調等の変化により、直前のキャンセルが多数あるため、結果的に空きが出る状況になっている。	子育て支援課	幼児保育課民間施設係・内線7052 子育て支援課子育て支援推進担当・内7012
67	1-1-1(3)		子04-04 子04-07 子05-02	保育サービスの充実	多様化する保育需要に対応するため保育サービスの充実に努める。	延長保育 62園(全園) 0歳児保育 48園 障害児保育 全園 年末保育 3園 緊急一時保育 17園 リフレッシュ時保育 17園 一時保育 3カ所 認証保育所 3カ所 グループ保育室 1カ所 地域子育てステーション 19園 臨時保育所 1カ所	✓	✓	✓	✓	私立認可保育所の開設により、延長保育、0歳児保育、障害児保育の充実を図った。 今後も、私立認可保育園や小規模保育所等の開設により、更なる充実を図っていく。	幼児保育課	幼児保育課幼児保育係・内線7051

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
68	1-1-(3)			お茶の水女子大学認定こども園(仮称)の開設準備	区とお茶の水女子大学は、平成28年4月に認可保育所に幼稚園機能を備えた区立の保育所型認定こども園を大学の敷地内に開設する予定である。当該認定こども園の運営については、区が大学に業務全般を委託して実施するものであり、現在、開設に向けての協議を行っているところである。 ※本計画に関する共同記者会見を9月29日に実施	開園から2年目を迎え全年齢0～5歳児までの93名(H30.3.1現在)で園運営を実施した。育児相談等の地域子育て支援事業のほか、区内保育士の研修受け入れや、区立中学生の職場体験などの地域連携交流も積極的に実施した。 2月には、1年間の成果を発表する「第2回お茶大こども園フォーラム」を開催した。	✓	✓	✓	✓	研究機関の視察やマスコミの取材依頼等も多く、注目の高さがうかがわれた。異年齢児との交流や大方の読み聞かせボランティア受け入れ等、当園ならではの活動も定着してきている。今後は大学の知見とこども園の実践の成果を、区内の幼児教育・保育施設へ還元していくことが課題である。	幼児保育課	保育所指導・私立幼稚園係・内線7065
69	1-1-(3)			講座等での保育室の設置	子育て中の男女が積極的に参加できるよう一時保育について配慮する。	【ダイバーシティ推進担当】 ・女性再就職セミナー 1回(利用者4名) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会1回(利用者3名) ・男女平等センター講演会 1回(利用者6名) ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回 ・プラスワンセミナー 6回(利用者計4名) ・区政を知る懇談会 2回 ・利用者懇談会 2回 ・センターまつり講演会 1回 ・登録団体企画助成事業1回	✓	-	-	-	・子育て世帯の家族が、そろってイベントに参加する姿を多く見ることができた。 ・広く区民の方の参加を募る事業にあっては、原則として保育の受け入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
70	1-1-(3)			講座等での手話通訳者の設置	障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置する。	男女平等センター事業 ・男女共同参画週間記念講演会 1回 ・男女平等センター講演会 1回 ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回 ・プラスワンセミナー 6回(利用者計1名) ・区政を知る懇談会 2回 ・利用者懇談会 2回 ・男女平等センターまつり講演会 1回(利用者2名) ・登録団体企画助成事業1回	✓	-	-	-	・障害のある方にもイベントに参加してもらうことができた。 ・手話通訳付の講座等については、聴覚障害のある方にも気軽に講座等へ参加できるように周知を工夫する。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
71	1-1-(3)			特別保育(障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置)	文京区立幼稚園において、支援が必要な幼児が集団の中で生活することを通して、幼稚園教育の機能や特性を活かしながら、健常児とともにその幼児の発達を促していくことを目的とする。	継続30件 新規25件 合計55件	✓	✓	-	-	インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実という点では成果が見られる。継続した取り組みをしていく。	教育指導課	教育指導課内線3541
72	1-1-(2) 1-1-(3) No.37再掲	19		「文の京」施設予約ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性の向上を図ります。	平成30年3月末現在、インターネット施設システムの利用者は6,763名。	✓	✓	✓	-	機能改修により、区民の利便性の向上、事務処理の効率化ができた。 利用者・管理者からの要望に応えていくことに加え、管理者同士の連携を図る必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581、2582
1 生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (4)地域の学習拠点としての図書館づくり											1-1-(4)		
73	1-1-(4)	20		地域資料の充実	区史や古地図のような貴重な資料を用いた地域に関する調査・研究に資するため、引き続き資料を購入するとともに、ホームページでも閲覧できるデジタル化の取組を充実させます。	資料の収集を積極的に行うとともに、保存と提供に資するため、古地図等のデジタル化を実施した。	✓	-	-	-	・デジタル化により、貴重な資料を誰でも気軽に閲覧することが可能となった。 ・行政資料を紙で発行しない部署が増加しており、収集と保存のあり方を検討する必要がある。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
74	1-1-(4)	20		図書館サービスの充実	知識や情報を提供するとともに、利用者サービスを向上させ、区民の読書活動の推進を図ります。	資料の収集と保存するとともに、レファレンスに対応している。各種行事や資料の特集展示を実施している。区民へのスムーズな資料提供のため、区民優先制度を導入した。	✓	-	-	-	・中央館を中心に選書を行い、幅広い資料の収集に取り組み、高度なレファレンスにも対応している。 ・施設が老朽化している館については、快適性の向上を図る必要がある。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
75	1-1-(4)			図書館の運営	平成22年4月より真砂中央図書館を除く7館3室が指定管理者制度の導入による図書館運営となり利用者サービスの向上を図る。	【平成27年度～】第2期指定管理者による運営。 開館日の拡大及び開館時間の延長を継続して実施するとともに、多彩な行事の実施等、図書館サービスの拡充に取り組んでいる。	✓	-	-	-	・行事や資料の展示等において企画力を発揮するとともに、広報誌の発行等においても効果をあげている。 ・指定期間が長期化することにより、安定したサービスができる反面、土気の低下を招かないよう図書館間の連携を強化する必要がある。	真砂中央図書館	計画担当・内線3625

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
76	1-1-(4)			保護者のための学習機会の提供	家庭教育への理解を深め、家庭教育を一層充実するために保護者のための学習機会を提供する。	ライブラリーパートナー研修 5月18日・23日 参加者34名 本好きの子どもに育てるレシピ 6月3日～24日 参加者74名 小学校での読み聞かせボランティア養成講座(4回連続) 6月6日～7月4日 参加者22名 調べる学習を楽しもう お父さん・お母さんの巻 7月1日 参加者59名 子育て中こそ図書館を楽しもうⅢ 11月12日 参加者45名 大人のためのStorytime 11月13日 参加者25名 子どもと読書の講演会 11月19日 参加者96名	✓	✓	✓	—	・読み聞かせの必要性を説くとともに、技術の向上を図るため、講座や講演会を実施。家庭や学校等での読み聞かせの実践につなげた。 ・読書を習慣づけ、図書館の利用促進を図るため、より多様な事業を展開することが求められる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
77	1-1-(4)			親と子がふれあうイベント等の実施	親と子が共に楽しみ、ふれあいを深める行事を実施する。	子ども読書の日・春・夏・クリスマス子ども会(人形劇等) 36回実施 参加者3,570名 子ども映画会 23回実施 参加者1,407名	✓	—	—	—	・良質の文化の提供と図書館利用の促進が図られる。 ・乳幼児サービスの取組が奏功し、幼児の参加が増加しているが、小学生以上の参加が減少している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
78	1-1-(4)			親子のふれあいを深める活動の支援	乳児期の早期から絵本を介して親子のふれあいを深め、親子の健全な関わりを育む子育て支援の一助とする。	【平成14年度～】ブックスタート(4か月児健診時実施) 2,031名 【平成24年度～】フォローアップ事業(1歳6か月児対象) 1,578名 乳幼児向け読み聞かせ行事 228回実施 参加者6,111名 育児関連図書、絵本の選び方や読み聞かせに関する図書の収集及び提供。	✓	—	—	—	・ブックスタートは対象者の97%以上に実施しており、その後の図書館利用に結びついている。 ・家庭での読み聞かせの習慣を定着させるため、フォローアップ事業の強化が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
79	1-1-(4)			児童・生徒を対象とした事業の充実	学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、児童・生徒を対象とした事業を提供する。	おはなし会 357回実施 参加者4,906名 ビブリオバトル小・中学生大会 10月15日 参加者37名 調べ学習関連事業 7回実施 参加者148名 実験・発見・科学の本～エネルギー編～ 7月26日 参加者24名 子ども能楽講座 参加者4名 小学生のための宇宙教室 8月9日 参加者32名 子どもフラワーアレンジメント教室 2回実施 参加者50名 工作会 10回実施 参加者396名 カルタ会 7回実施 参加者243名	✓	—	—	—	・多彩な事業を実施することで読書への動機付けとなる。 ・10代の読書離れ、図書館離れを改善するため、中高生向け行事の充実が求められる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
80	1-1-(4)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実する。	資料の収集・提供、季節や時節の話題をテーマにした特集展示などの実施。 講演会・講座・読書会・朗読会等 86回実施 参加者2,824名	✓	—	—	—	指定管理者の自主事業を含め、多種多様な特集展示、行事を実施している。 ・館ごとの特色を活かし、区民の学習意欲を高める企画を一層充実させる。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
81	1-1-(4)			利用者開放用インターネット端末利用サービス(図書館の整備)	平成18年度～平成20年度において、区立図書館全館に利用者開放用インターネット端末を設置した。 利用者が図書館資料の検索を始めとして多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるインターネット端末利用サービスを実施している。	全館で19台設置。パソコンの利用は無料。また、真砂中央と小石川では、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、オンラインデータベース(官報情報検索サービス、日経テレコン21)の閲覧が可能。情報プリントアウトは有料。	✓	—	—	—	インターネット端末の設置及び各種データベースの導入により、利用者の知る権利を保障し、多様な要求に応えることが可能となった。	真砂中央図書館	管理係・内線3625
82	1-1-(4)			図書館ネットワークの充実	区内図書館相互、都立図書館や国会図書館との各種ネットワークの強化を図る。	第二ブロック(台東・北・荒川)を中心に、他自治体や国会との相互協力を実施。 国会図書館からの歴史的音源配信サービス、デジタル化資料送信サービスを実施。 区民優先制度の導入に伴い、区民のみ利用可とした。	✓	—	—	—	相互協力により、幅広い資料提供が可能となった。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
83	1-1-(4)			IT図書館システムの運営(図書館オンラインシステムの運営)	図書館システムを更新して利用者サービスを拡充するとともに、業務の効率化を図るものである。	インターネットによる利用者サービスを提供。資料検索、予約、レファレンスのほか、貸出延長や予約情報変更手続きが可能。また、おすめリストや新着資料案内メール、返却期限日お知らせメールサービスも提供している。ホームページは、パソコン用だけでなく、携帯電話用、スマートフォン用のページも開設しているほか、視覚等障害者のための点字・録音図書専用の検索・予約ページも提供している。	✓	—	—	—	・利用者からの要望に応えるため機能を追加し、充実を図っていく。 ・ホームページを活用しての情報発信の充実が求められる。	真砂中央図書館	管理係・内線3625
84	1-1-(4)			図書館運営の区民参画推進	区内の多様な人材を受け入れることにより図書館サービスの充実を図るとともに、図書館運営に区民の参画を促進することにより地域に密着した図書館運営を目指す。	【平成14年度～】図書館ボランティア(ライブラリーパートナー)登録者 個人57人、団体11団体 おはなし会、布の絵本の製作、資料の装備・修理等を実施。 ライブラリーパートナーを対象に読み聞かせ等の研修を実施。	✓	✓	✓	—	・区民に図書館運営の一端を担ってもらうことで、より多様な事業を行うとともに、区民にとって身近で親しみやすい環境をつくる。 ・研修を実施し、技術の向上を図る。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
85	1-1-(4) 1-3-(2)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供。 特集展示「花…よりだんご?～江戸東京物見遊山」「文京の絵画～ゆかりの画家と描かれた文京区」	✓	✓	✓	—	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
86	1-1-(4) 1-3-(2)			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。	✓	-	-	-	・「子ども読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子ども読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。 ・「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
87	1-1-(4)			文の京デジタル文庫の公開	区史や古地図のような貴重な資料の長期保存と後年の複製のために、地域資料のデジタル化を行った。	【平成24年度～】 「文京の統計」等、行政資料19点 「東京都区分詳細図」等、地図22点をデジタル化	✓	-	-	-	・古地図等の紙資料の劣化が進行する前にデジタル化することにより、長く閲覧に供することが可能となる。 ・行政資料の保存と公開に関する方針策定が課題である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
88	1-1-(4)			ひなぎくおはなし会	日本女子大学児童文学研究会に属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日：第4土曜日 目白台図書館にて開催	12回実施 参加者110名	✓	-	✓	-	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
89	1-1-(4)			えほんのじかん (大学生による読み聞かせ)	しいのみこどもかいに属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日：第4土曜日 千石図書館にて開催	11回実施 参加者197名	✓	-	✓	-	学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
90	1-1-(4)			文化講座	大学教授による講座(千石図書館)	「世界の多言語な地域社会」8月20日 参加者26名	✓	-	✓	-	指定管理者によって実施している事業で、大学教授の他、地域の施設の学芸員や医師等にも依頼しており、利用者からも好評である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
91	1-1-(2) 1-1-(4) 1-3-(2) No.35再掲	19 24		大学連携による附属図書館の区民開放	大学の附属図書館を区民に開放していただくことで、区民の学習活動を支援します。	8館で区民利用が可能。 ・東洋大学附属図書館白山図書館※2 ・文京学院大学本郷図書館※2 ・日本女子大学図書館(目白キャンパス)※1※2 ・お茶の水女子大学附属図書館※1※2 ・跡見学園女子大学茗荷谷図書館※1※2 ・拓殖大学茗荷谷図書館 ・筑波大学大塚図書館 ・真静学園短期大学附属図書館 ※1は女性区民に開放 ※2は区立図書館で申請受付	✓	-	✓	-	・公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	真砂中央図書館 計画担当・内線3625
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (1)主体的な活動を支える仕組みづくり											1-2-(1)		
92	1-2-(1) 1-3-(2) 2-4-(1) 3-2-(2)	21		社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	文化団体、30.3.31現在 606団体 平成29年度新規登録 43団体 スポーツ団体、30.3.31現在 503団体	✓	✓	✓	✓	施設の優先利用や利用料金減免により活動の支援となっている。 更新期間が5年間と長いので、登録方法を見直す必要がある。	アカデミー推進課 スポーツ振興課	アカデミー推進係・内線2581、 2582 スポーツ振興課 スポーツ振興係・内線2592
93	1-2-(1) 3-2-(2)	21		文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	代表者会議6回実施、公開講座「夏目漱石とその時代」138名出席。合同学習会「文教の歴史を訪ねて・日本薬科大学」57名出席。バス見学会「波の伊八の彫刻を訪ねて」73名参加。アカデミー委託講座企画「江戸期・女たちの旅」。文京アカデミー生涯学習サークルに各サークルで参加及び連絡会としてPR活動。年度当初会員37団体。	✓	✓	✓	✓	夏目漱石の講座に関しては、昨年のフェルメール絵画の紹介と同様に人気が高く、当日の参加者からも好評であった。毎年の企画を会員の代表者がしてくれ、区の事務負担が少なく実施出来るのは有り難い。 課題としては、会員の高齢化とサークル数が増えないことだが、熱心に継続しているのでもまだ大丈夫だと感じる。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
94	1-2-(1) 1-2-(2) 1-2-(3) 1-3-(3)	21	学03-01	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	・文京アカデミー講座(区民プロデュース講座) 15講座 (採用数14件 実施数14件 応募数52件) ※第2回(後期)選定の講座は次年度に実施	✓	-	-	✓	・地域の人材を活かした講座を提供することができた。 ・アカデミー講座として実施するための支援体制を整えること、そのための人材を育成することが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
95	1-2-(1)			キャリアアップ講座の実施	個々の職員の生涯学習に対する認識を高めるために、自己啓発事業を実施する。	キャリアアップ講座受講 3件 指定講座 2件 指定外講座 1件	✓	✓	-	-	・29年度から指定外講座も助成対象とした。 ・受講者を増やすことが課題である。	職員課	職員育成担当・内線2237

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
96	1-2-(1)			男女平等センター資料コーナーの充実	インターネット接続パソコンの活用及び図書館や関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供する。	蔵書 図書6,924冊、新聞3紙、雑誌13誌、ビデオ・DVD等176本	✓	-	-	-	・図書・資料コーナーを有している国立女性教育会館、東京ウィメンズプラザのほか日本女性会議、内閣府主催男女共同参画推進会議との連携や情報収集に基づき、男女平等参画に関する資料等の充実を図っている。 ・IN接続PCについては、携帯端末の普及により現在設置はない。平成29年度は、59冊の図書購入を行った。 ・区外在住の所蔵図書閲覧利用者から貸出しの要望等があり、男女平等参画及び女性関連図書の所蔵に関心が寄せられている様子が伺える。平成29年度は、借り出しに必要な利用者登録では18名の新たな登録があった。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
97	1-2-(1)			ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネーターを行う。	ぼらんていあニュースの発行(隔月) 3,500部 「社会福祉協議会ホームページ」や「どっとファミコム」による情報提供 ボランティアコーディネーター	-	✓	✓	-	全戸配布する「文社協だより」にボランティア情報の掲載を29年度から始め、ボランティア団体の情報を発信した。	福祉政策課	社会福祉協議会文京ボランティア支援センター・内線4321
98	1-2-(1)			ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行う。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	ボランティア保険の加入受付5,241人	✓	-	-	-	引き続き、ボランティア活動室の貸し出し等を行い、活動しやすい環境整備に努めた。	福祉政策課	社会福祉協議会文京ボランティア支援センター・内線4321
99	1-1-(1) 1-2-(1) No.25再掲	92	環02-02	文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度～】平成29年12月6日シビックホール会議室で実施。定員40名、参加者35名で、参加者の内リサイクルイン文京の会員が11名。	✓	✓	✓	-	・備蓄食品を活用する「ローリングストック」のポイント紹介を通して、食品ロス削減の推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
100	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピックこども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (2)活動成果披露の場の充実											1-2-2(2)		
101	1-2-2(2) 1-3-1(1)	22	学03-01	生涯学習フェア	文京アカデミー講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくるとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。	【平成28年度～】 ・文京アカデミー生涯学習フェア(2/14～15) 参加団体 発表29団体、展示26団体 来場者 954人	✓	-	✓	✓	・生涯学習活動に取り組むきっかけ作りと、区内で活動しているサークル等の発表・PRの場を設けることができた。 ・アカデミー講座受講生の作品を展示することにより、来場者に講座への関心を喚起することができた。 ・区民・サークル同士の交流の機会を充実させることが課題である。 ・参加団体の固定化が見られるため、PRを強化し参加団体の増加を図ることが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
102	1-2-2(2) 1-3-1(1)			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 平成29年11月25日～26日実施 参加人数(二日間総合計):6,420人	✓	-	✓	-	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
103	1-2-2(2) 1-3-1(1)			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒に「敬老の日」を祝う。内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数120人[出演者36名(関係者含)、シニア762人、リアソン22人]	✓	-	-	-	シニアの方の参加が60名以上になった。多世代間で祝福(交流)ができるよう、出演団体に小学校の父親の会を招き、そのご家族の参加も図った。その結果、シニア以外の方々の参加が30名以上。また、障害者施設関係者も20名以上の参加になった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
104	1-2-2(2) 1-3-1(1)			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	平成29年11月11日(土)～12日(日) 活動発表団体:47団体。(うち地域福祉関係:14団体) 協力一般団体:16団体 参加ボランティア:成人91人、大学生47人、高校生3人、手話通訳20人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,969人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多種に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
105	1-2-2(2) 1-3-1(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	平成29年12月2日(土)～4日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 3,205人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場を作ることができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
106	1-2-2(2) 1-3-1(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっぽ祭り 大塚福祉作業所 平成29年11月4日(土)開催 小石川福祉作業所は改修工事のため、休止	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者や地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
107	1-2-2(2) 1-3-1(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通して地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り 平成29年11月25日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者や地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
108	1-2-2(2)		教02-02	東京大学総合研究博物館スクール・モパイル・ミュージアム(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施する。	年間2テーマの展示を行い、月1回程度トークイベントを実施した。小中学生2597名、大人2754名の来場があった。	✓	-	✓	-	最先端の科学技術研究の成果を子ども達に還元することができた。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
109	1-2-2(1) 1-2-2(2) 1-2-2(3) 1-3-3(3) No.94再掲	21	学03-01	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	・文京アカデミー講座(区民プロデュース講座) 15講座 (採用数14件 実施数14件 応募数52件) ※第2回(後期)選定の講座は次年度に実施	✓	-	-	✓	・地域の人材を活かした講座を提供することができた。 ・アカデミー講座として実施するための支援体制を整えること、そのための人材を育成することが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
110	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
1生涯学習 2.一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (3)人材育成・活用の推進											1-2-(3)		
111	1-2-(3)	22	学03-02	区民プロデュース講座の企画支援	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施します。	・企画書の書き方をわかりやすく解説した記入例を配布 ・生涯学習相談窓口で生涯学習司による企画相談を実施	-	✓	-	-	・統一様式での提出により、企画内容が分かりやすくなった。 ・生涯学習相談窓口で企画相談を実施したことにより、企画内容が明確になった。 ・企画の傾向に偏りが見られるため、より多くの人材の発掘が課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
112	1-2-(3)	22	学02-02	人材育成のための講座	区や公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミーサポーター」の3つの養成講座を実施します。	【平成18年度～】 ・文の京地域文化インタープリター養成講座 1講座(10～2月) 受講者数24人、認定者数21人 ・文の京生涯学習司養成講座(29年度休止(隔年実施)) ・文京アカデミーサポーター養成講座 1講座(6～7月) 受講者数15人、修了・登録者数15人 ・文京アカデミー生涯学習支援者連絡会 2回開催	-	✓	✓	✓	・地域の人材の掘り起こしに効果があった。 ・養成講座受講の動機や目的に個人差があるため、それぞれの意向に応じた対応が課題である。 ・講座受講後に、各支援団体において継続した活動を行う方が減少している。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
113	1-2-(3)	22	学03-02	各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業(企画展等)を展開していきます。	・文京アカデミー講座選定委員会(学識経験者1人、区民委員11人) 全体会1回 講座選定委員会8回 正副委員長会1回 ・学習推進委員会・生涯学習支援者企画講座 14講座 ・文京アカデミー生涯学習フェアの運営 ・特別公開講座 3講座 インタープリターの会協力 3講座	-	✓	✓	✓	・アカデミー講座の選定及び実施、イベントや講演会の開催を、生涯学習支援者の協力を得て実施した。 ・今後も活動の場を広げていくことが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
114	1-2-(3)		学03-02	学習支援者スキルアップ講座	財団と協働して事業を行う「文京アカデミーサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。	・スキルアップ講座 3講座(受講者63人) (うち生涯学習司の会協力 1講座)	-	✓	✓	-	・生涯学習支援者の要望を取り入れた講座を実施した。 ・より支援者が興味あるテーマを取り上げるなど、受講者の増加を図ることが課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
115	1-2-(3) 2-3-(3) 3-1-(3) 新規追加	160	地04-01	「文京バックアップ」～大学生ボランティアのススメ～	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、区内在住・在学の大学生等に対してボランティア活動への積極的な参加を促すため、O2O(オンライン・オフライン)の手法を活用したWEBサイトを開設・運営する。	・平成30年3月19日(月)に文京バックアップパースWEBサイトを開設した。 ・区報・区ホームページ・区SNSにてサイト開設についての周知を行った。 ・区内19大学に向けて、チラシを配布した。	✓	✓	✓	-	効果的な運用に向けて、WEBサイトの更なる周知を図る必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
116	1-2-(3)			大学の人材の審議会での活用	大学の人材を、各種審議会等の委員として活用する。	アカデミー推進協議会委員委嘱(3名) 文京区立森鷗外記念館運営協議会委員委嘱(3名) 文京区立森鷗外記念館資料収集等検討委員会委員委嘱(2名)	✓	✓	✓	✓	学識経験者の知識により客観的、総合的評価検討ができる。 スケジュール等から会議の回数、時間帯が制限されてしまう。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581 森鷗外記念館

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
117	1-2-(3)			大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	・大学プロデュース講座(文京アカデミア講座) 12大学 32講座 ・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会) 2大学 2講座 ・文の京・最先端生命科学講座 1大学 3講座 ・夏休み子どもアカデミア講座 6大学 7講座	✓	-	✓	-	・区内大学と連携し、大学の人材やキャンパスを活用した講座等を提供することができた。 ・区内にある21の大学について、各大学の強みを活かした分野でさらに協力いただくことが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
118	1-2-(3)			職員の育成	文京区職員育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが地域行政のプロとして、地域課題の解決に向けて自ら考え行動できるよう、職員の育成に取り組む。	各種職員研修の実施 新規採用職員育成ローテーション 等	-	✓	-	-	・引き続き職員の育成に取り組む。	職員課	職員育成担当・内線2237
119	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	文京区登録手話通訳者27名に対し、5月・7月・9月・11月・1月・3月の計6回、専門研修を実施。	-	-	✓	-	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
120	1-2-(3)		子03-02	子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を創設する。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動する。 今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施する。	○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目: 貞静学園短期大学、3・4日目: 全国保育サービス協会) ○アドバンスサポーター認定研修 研修実施回数 1日×1回(子育てひろば全国連絡協議会)	-	✓	✓	✓	スタンダードサポーター認定研修では、計44名をスタンダードサポーターとして認定した。 また、アドバンスサポーター認定研修では、計27名をアドバンスサポーターとして認定した。 本研修の更なる周知による受講者の確保とともに、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援拠点事業と連携し、認定サポーターの活躍の機会を支援する。	子育て支援課	子育て支援推進担当・内線7012
121	1-2-(3)		環02-02	環境ライフ講座	環境保全について、日常生活と身近な視点に立った講座を実施し、地域における環境保全意識啓発活動等のリーダーとして取り組む人材を育成する。	講座期間: 平成29年9月～平成29年12月 講座内容: 「みどりからはじめる環境」をテーマに学習 回数: 全6回(うち、1回は環境イベントへの参加) 受講生: 10人(うち、修了生は16人)	-	✓	-	-	・区内の庭園見学や身近な体験談など環境について学び、受講者で協力して、環境イベントへの準備、発表を経験することで、環境保全意識啓発活動等に取り組む知識となった。 ・過去の受講生の受講が多い。	環境政策課	地域環境係・内線3131
122	1-2-(3)	94	環02-02	文京ecoカレッジリサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減量し資源循環型社会の構築を進めるためには、区民一人ひとりの日々の実践が重要である。「文京エコカレッジ」は、地域でのリサイクル推進活動および区のリサイクル事業への区民への参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成する。講座は、文京学院大学と協働で実施する。	【平成21年度～】29年5～6月の水曜日計5回開講した。定員15名、応募者13名、参加者11名で、リサイクル推進サポーター登録者6名。	✓	✓	✓	-	・講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い方が集まった。今後は新規サポーターだけでなく既存のリサイクル推進サポーターにも一歩進んだ3R推進活動に取り組んでいけるよう個々のスキルアップも必要。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
123	1-2-(3)			PTA育成(PTA合同研修会: 広報研修会、合同講演会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、広報研修会、合同研修会を開催する。	【広報研修会実施日(参加人数)】 4月28日(73名) 【PTA合同講演会実施日(参加人数)】 9月27日(88名)	-	✓	✓	✓	【PTA合同講演会】 ・参加者数が昨年と同程度のため、講師や講演テーマをPTAのニーズにあったものにし、さらに多くの保護者に参加してもらう必要がある。 【広報研修会】 ・PTA広報紙作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評である。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
124	1-2-(3)			PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成する。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図る。	①小学校PTA岩井臨海学校施設見学会 ②中学校PTAスポーツフェスティバル ③小学校PTAバレーボール大会 ④小学校PTA卓球大会 ⑤小学校PTAバスケットボール大会	-	✓	✓	-	普段関わる事の少ないPTA会員同士が交流するよい機会となっている。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
125	1-2-(3)			生涯学習に関する教員研修の実施	生涯学習の基礎づくりの場としての学校教育を充実するため、教員に対する生涯学習の研修を実施する。	進路指導担当教員に対して研修会を実施	-	✓	-	-	進路指導を充実するため、教員に対する生涯学習の研修を今後も継続していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
126	1-2-(3)			大学との連携による学校活動支援事業(大学等との連携により、学生等を活用した学校活動支援事業)	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助員を派遣して、小・中学生の学力向上等を支援する。	小・中学校25校で実施、大学生述べ177人派遣	✓	✓	✓	-	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助員を派遣し支援したことで、学力の向上に結び付いている。今後も継続した取り組みで、学力向上に努めていく。	教育指導課	教育指導課内線3541

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
127	1-2-(3)			バリアフリーパートナー(大学等との連携により、学生等を活用した学校活動支援事業)	バリアフリーパートナーとして、区内大学の学生・区民・ボランティア等と協働し、特別な支援が必要な幼児・児童・生徒をサポートする。	18小学校、2中学校、9幼稚園	✓	✓	✓	-	バリアフリーパートナーし、特別な支援が必要な幼児・児童・生徒をサポートすることで、安心・安全な学校生活を送ることができている。引き続き、支援を継続していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
128	1-2-(3)			総合的な学習の時間(地域の人材の学校での活用)	生活科・総合的な学習の時間の充実を図るため、地域の人材を生かした区民講師を招聘する。	各小学校・中学校で実施	-	✓	-	✓	地域の人材を生かし、生活科・総合的な学習の時間の充実が図られている。今後も継続して、区民講師を招聘していく。	教育指導課	教育指導課内線3541
129	1-2-(3)			大学との連携による学習指導補助員配置事業	学生ボランティアを学習指導補助員として区立小・中学校へ派遣する。	42大学 跡見学園女子大学、お茶の水女子大学、中央大学など	✓	✓	✓	-	学生ボランティアを学習指導補助員として区立小・中学校へ派遣することで、個に応じた指導が充実した。次年度も継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541
130	1-2-(3)			学生による授業のインターンシップ	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をする。	お茶の水女子大学	-	✓	✓	-	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をすることで、個に応じた指導が充実した。継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541
131	1-2-(3)			特別支援教育相談委員会	就学就園にあたって、相談のあった幼児・児童・生徒の状況を審議するため、専門委員を委嘱している。	筑波大学	✓	✓	-	-	就学就園にあたって、専門委員を委嘱することで、相談のあった幼児・児童・生徒の状況を審議することができた。今後も継続した取り組みを行う。	教育指導課	教育指導課内線3541
132	1-2-(3)			往還型教育実習	教育学科の学生が区立小学校において通年(1年生秋から4年生まで)実習を行う。	東洋大学	-	✓	✓	-	教育学科の学生が区立小学校において通年(1年生秋から4年生まで)実習を行うことで、学習指導の充実が図られた。継続して取り組んでいく。	教育指導課	教育指導課内線3541
133	1-2-(3)		教02-02	大学連携協働ヘルプデスク(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、区内大学等の高度な専門性や多様な人材を活用し、科学教育事業や教員研修・研究事業等の拡充を図るとともに、教員等を希望する学生のキャリアアップを支援します。	東京大学による個別学習相談に30件の申込みがあり、認知カウンセリングによる効果的な学習方法を学ぶことができた。	-	✓	✓	-	個別学習相談を実施することにより、生徒が効果的な学習方法を自発的に使うことができた。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
134	1-2-(3)		教10-01	教員研修	区内大学の教授等を講師として招き、教員の指導力向上を図るため、研修会を開催する。 参加対象:区内幼稚園、小・中学校教員	地域大学や学識経験者等を講師とし全30講座を開催し、幼稚園・小中学校の教員の資質向上を図った。	-	✓	✓	-	大学等の専門知識を活用し充実した研修を実施できた。学校のニーズによりマッチした研修に改善することが課題である。	教育センター	学校支援係・内線3550
135	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	夏のボランティア体験教室 参加者77人 手話講習会 修了者165人 文京ささえ隊ボランティア養成講座 修了者14人	-	✓	✓	-	29年度から手話講習会を文京区と共催にて実施することになった。また、新規事業として、文京ささえ隊ボランティア養成講座を実施し、あらたな分野へと広げた。	福祉政策課	社会福祉協議会文京ボランティア支援センター・内線4321
136	1-2-(3)			障害者パソコン支援ボランティア養成講座	障害者の社会参加を支援する一助として、障害者のパソコン使用を支援するボランティア養成講座を開催	事業休止	-	✓	✓	-	29年度は事業を休止した。	福祉政策課	社会福祉協議会文京ボランティア支援センター・内線4321
137	1-2-(3)			傾聴ボランティア講習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア活動を行うことを目的としたボランティア養成講座を開催	修了者26人	-	✓	✓	-	28年度よりも修了者が増え、充実した講座となった。	福祉政策課	社会福祉協議会文京ボランティア支援センター・内線4321
138	1-2-(1) 1-2-(2) 1-2-(3) 1-3-(3) No.94再掲	21	学03-01	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	・文京アカデミー講座(区民プロデュース講座) 15講座 (採用数14件 実施数14件 応募数52件) ※第2回(後期)選定の講座は次年度に実施	✓	-	-	✓	・地域の人材を活かした講座を提供することができた。 ・アカデミー講座として実施するための支援体制を整えること、そのための人材を育成することが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (1)学びを通じた交流・仲間づくりの推進											1-3-(1)		
139	1-3-(1)			サークル活動の広報	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができます。	財団文京アカデミー、アカデミー文京、地域アカデミー、行政情報センター、シルバーセンター、区民センター、学務課に名簿配架、区HPIに掲載	✓	✓	✓	✓	名簿を閲覧できるので、自分の求める団体を探すことができる。 冊子のため掲載情報が限られてしまう。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581、2582
140	1-3-(1) 1-3-(2) 1-3-(3)		地01-04	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	礒川・大原・音羽・湯島・向丘・汐見・駒込地域活動センターで、カレット教室、健康と吹き矢教室、折り紙教室、編み物教室、パラリンピック種目ポッチャ体験講座などの各種講座を実施しました。	-	✓	✓	✓	ふれあいサロンの目的である地域の特色を生かした事業内容、各地域での人材発掘・育成をより一層促進していく必要がある。また、今後は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みも検討する必要がある。	区民課	庶務係・内線2403

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
141	1-3-(1)			宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結している。 区民と魚沼市民との交流や体験の場として、やまびこ荘の運営を業師スキー場組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供している。	これまでの協定宿泊施設(7施設)に加え、新たに魚沼市内の6施設との協定を締結し、27年度の全6施設から13施設へ大幅増となった。 やまびこ荘については、課題であった空調機器の改修を行い、より安定した施設運営を行えるようになった。 山村体験交流事業については、魚沼市との相互交流協定の趣旨を踏まえ、魚沼市観光協会等の関係団体との協議調整を行い、新たに観光協会主催の交流事業を開始した。	-	✓	✓	✓	山村体験交流事業を、これまでの「やまびこ荘主催」とあわせ、「魚沼市観光協会主催」を取り入れた。新たに協定を締結した魚沼市内の宿泊施設を利用することで、より多くの文京区民に魚沼市の自然体験に参加してもらう目的だったが、初年度ということもあり、思うようには参加者の増加に結びつかなかった。今後はやまびこ荘の事業と共存を保ちながら、さらに発展させていく必要がある。	区民課	庶務係・内線2403
142	1-3-(1) 1-3-(2)			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるバザー等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課	地域振興係・内線2404
143	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助28団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課	地域振興係・内線2404
144	1-3-(1)			各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行う。	消費者グループ活動助成 10名以上の消費者グループ活動の講師への助成	✓	✓	✓	✓	消費者団体の自主的な活動を支援できた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
145	1-3-(1)		高福03-05	文京区家族介護支援事業	区内に住所を有する、認知症の高齢者その他在宅の介護が必要な高齢者を現に介護する方等を対象に、認知症家族交流会、介護教室等を社会福祉法人等に委託して実施する。主な事業内容は介護技術・方法に関する指導、介護保険及び保健福祉に係るサービスの情報提供、介護者同士の交流等である。また、認知症の方やその家族だけではなく、地域の方、介護保険の事業者や専門職の方など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを社会福祉法人等に委託して実施する。	各高齢者あんしん相談センターにおいて事業実施 家族交流会(年8回) 介護者教室(年8回) 認知症カフェぶんこ(年49回)	-	-	✓	-	・認知症家族交流会、介護者教室…講演会等の事業に連続させて開催するなど、集客や参加のしやすさ、情報の得やすさに留意しながら事業を実施した。引き続き、参加者に必要とされる情報が届くよう周知に努めていく。 ・認知症カフェ…圏域毎に工夫を凝らし開催している。住民主体のカフェの後方支援も継続しており、今後とも地域に根付いた認知症カフェが増えていくことが望ましい。	高齢福祉課	高齢福祉課 認知症・地域包括ケア係 (2707～2709)
146	1-3-(1)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	平成29年12月2日(土)～4日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 3,205人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
147	1-3-(1)		青02-01	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の社会参加を推進し、青少年の自立を促進することを目的とする。	【平成14年度～】 4事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供する各種事業が実施された。 様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課	青少年係・内線7033
148	1-3-(1)			さまざまな交流の機会の提供	男女平等参画のための相互交流の機会を提供する。	・男女平等センターまつり(10月28～29日 来場者数延1,611人) ・利用者懇談会 2回(①6月15日 参加者27人 ②11月14日 参加者42人) ・団体活動報告会1回(2月24日 参加者30人)	✓	✓	✓	✓	・日頃センターで活動している団体の活動発表や、講演会及びコンサートを行うことでセンター利用者間の交流ができた。 ・子育て中の方向けのイベントも行き、年代の若い参加者が増えた。 ・日頃センターを利用している団体等を対象とした利用者懇談会で様々な意見や課題を聞き、改善・向上に活かすとともに認識の共有が図れた。また、活動報告会や講演会、センターまつりの活動発表などでは、利用者間の交流や情報交換ができた。 ・今後も継続して、多くの方のセンター利用を促し、情報の共有・交換を活発にすることでセンターの質の向上を目指していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
149	1-3-(1)			湯遊入浴デー	毎月第2日曜日及び第4日曜日を「湯遊入浴デー」として、区内在住者を対象に、区内実施浴場を100円(小学生以下は無料)で利用できる入浴デーを実施し、異世代交流の場を提供する。また、特別湯として、敬老の湯(9月の第4日曜日)・初春の湯(1月の第2日曜日)を実施している。	年間入浴者実績数:40,803人(平成30年3月末時点での実績)	-	✓	✓	-	・100円での入浴が可能なことにより、通常の営業日より入浴者が多い。 ・通常の営業日より入浴客が多いために、脱衣所が混雑し、入浴客の回転率が悪くなるという課題が浮き彫りとなった。	生活衛生課	管理計画係・内線2812

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
150	1-3-1			出会いの湯	公衆浴場が自ら計画、イベント等を企画し、特別湯等を実施する。地域住民に積極的に参加してもらうことにより、高齢者、若者、親、子の交流の場としての公衆浴場の有効活用と活性化が図られる。	区内6浴場(文京浴場組合加盟店)で年12回実施	-	✓	✓	-	・三月の毎週土曜と第3水曜に「文京の湯 三月のタオル祭」を実施し、文京浴場組合の加盟している6浴場で行った。先着300名に各浴場のイラストが描かれたタオルを配付した。「文京の湯 三月のタオル祭」は好評であったが、入浴者数が増加したため、入浴客の回転率が悪くなり、経営者自身の負担が増えようことが課題。	生活衛生課	管理計画係・内線2812
151	1-3-1			健康づくり自主グループ等の育成	健康づくり自主グループの活動に対し助言を行い、活動を支援する。	栄養関係健康づくり自主グループへの支援・助言	✓	✓	✓	✓	食事や栄養等の情報提供により、区民の健康づくりや保健衛生事業のサポートを行うことができた。会員確保が課題。	保健サービスセンター	健康相談係・内線2844
152	1-3-1	97	環02-04	ステージ・エコ イン 区民ひろば	リサイクル事業のひとつとして、年6~7回区民ひろばでフリーマーケットを開催し、ゲスト団体のブースを併せて展開している。	【平成20年度~】4、8、9、12、2月に区民ひろばで、5月に教育の森公園でフリーマーケットを行った。来場者数は区民ひろばが各約千名、教育の森公園が約7千名。	-	✓	✓	-	出店者が固定化してきたため、年度途中より新規の方を優先して出店していただいた。結果フリーマーケットが活気づいた。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
153	1-3-1			ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活性化するように働きかける。	来場者1,200人	-	-	✓	-	ボランティア活動まつりと名称を変え、子育て世代をターゲットとした内容にし、新たな層が参加するきっかけづくりとした。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター・内線4321
154	1-2-2 1-3-1 No.101再掲	22	学03-02	生涯学習フェア	文京アカデミア講座や区内大学生生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくる。また、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。	【平成28年度~】 ・文京アカデミア生涯学習フェア(2/14~15) 参加団体 発表29団体、展示26団体 来場者 954人	✓	-	✓	✓	・生涯学習活動に取り組むきっかけ作りと、区内で活動しているサークル等の発表・PRの場を設けることができた。 ・アカデミア講座受講生の作品を展示することにより、来場者に講座への関心を喚起することができた。 ・区民・サークル同士の交流の機会を充実させることが課題である。 ・参加団体の固定化が見られるため、PRを強化し参加団体の増加を図ることが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
155	1-2-2 1-3-1 No.102再掲			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。	いきいきシニアの集い 平成29年11月25日~26日実施 参加人数(二日間総合計):6,420人	✓	-	✓	-	2日間の開催で延べ来場者数は6千人を超え、活況を呈した。作品展示や手芸等の実演コーナーを通して高齢者やその子世代、学生ボランティア等との世代間交流が促進され、高齢者の生きがい向上を図ることができた。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
156	1-2-2 1-3-1 No.103再掲			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒に「敬老の日」を祝う。内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。	「敬老会」参加 延べ人数120人[出演者36名(関係者含)、シニア76人、リアン22人]	✓	-	-	-	シニアの方の参加が60名以上になった。多世代間で祝福(交流)ができるよう、出演団体に小学校の父親の会を招き、そのご家族の参加も図った。その結果、シニア以外の方々の参加が30名以上。また、障害者施設関係者も20名以上の参加になった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
157	1-2-2 1-3-1 No.104再掲			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。	平成29年11月11日(土)~12日(日) 活動発表団体:47団体。(うち地域福祉関係:14団体) 協力一般団体:16団体 参加ボランティア:成人91人、大学生47人、高校生3人、手話通訳20人 イベント等参加人数(二日間総合計):3,969人	✓	-	✓	-	4千人近くの来場があり盛況であった。多種に渡ったワークショップやイベントを用意することで、多世代間(地域)交流が促進された。また、所属する町会からのボランティアだったり、消防や警察、地域の大学やお店の(ワークショップ)協力もあり、共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
158	1-2-2 1-3-1 No.105再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。	平成29年12月2日(土)~4日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 3,205人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課	障害者在宅 サービス係・内線2754
159	1-2-2 1-3-1 No.106再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。	福祉作業所一歩いっぽ祭り 大塚福祉作業所 平成29年11月4日(土)開催 小石川福祉作業所は改修工事のため、休止	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
160	1-2-2 1-3-1 No.107再掲			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。	本郷福祉センターほんわか祭り 平成29年11月25日(土)開催	-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
161	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カントウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (2)地域で支える学習環境の充実											1-3-(2)		
162	1-3-(2) 4-3-(1)			文京博覧会(ぶんぱく)2015	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介	H29.11.17～18開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースピック、アートサロン、スピックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、日本医科大学、東洋学園大学、日本薬科大学 来場者数:11,124人	✓	-	✓	-	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行った。 区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要がある。	経済課	産業振興係・内線:2453
163	1-3-(2)			登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図る。	消費者団体登録数/7団体 文京区消費者団体連絡会6回 消費生活見学会2回 消費生活展1回	✓	-	✓	✓	消費者団体と定期的に会合を行い、消費者被害防止等に関する情報共有ができ、活動の促進が図られた。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
164	1-3-(2)			障害者施設の学園祭への参加	大学連携会議で提案したものが具体化し、障害者施設自主製品の委託販売を実施。今年度は5施設が出店(障害当事者も参加)。	貞静学園短期大学 12月9日(土)・10日(日)学園祭にハートフル工房外部出店	-	-	✓	-	障害者施設自主製品の委託販売を実施することができた。	障害福祉課	障害福祉係・内線2752
165	1-3-(2)			文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行っている。学生は障害者と接する学びの機会となっている。	跡見学園女子大学山下ゼミとの協働プロジェクトとして、文の京ハートフル工房の商品ポップ作成及び商品カタログ発行。 【商品ポップ】 施設と学生の打ち合わせ:12月8日(金) ハートフル工房でポップ初披露:1月25日(木) 【商品カタログ】 カタログ内容の確認・修正:4月～6月 カタログデータ完成:6月19日(月) カタログ発行:7月	-	-	✓	-	区内大学生との協働として、販売会内でのイベント企画等を行うことができた。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課	障害福祉係・内線2752
166	1-3-(2)		青02-01	文京区青年育成事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青年を育成する活動に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図ることを目的とする。	【平成20年度～】 2事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青年自らが企画・実施し、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図る各種事業が実施された。 様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課	青少年係・内線7033
167	1-3-(2)		青01-01	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開している。	・広報啓発用植物の種8,800個を作製し、区立小学校全児童へ配付 ・文京区青少年健全育成会が実施する家族のふれあい促進事業に対し、補助金を交付 ・文京区「家庭の日」に合わせ、11月12日(日)に文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」を実施	-	-	✓	-	広報啓発用植物の種の配付及び「文の京こどもまつり」等の事業を通して、家庭の意義を見直す機会を創出するとともに、家族のふれあいの場を提供し、啓発の充実を図った。 事業等の継続実施による意識啓発が重要であり、事業の性質として、短期的な効果が測れない点が課題である。	児童青少年課	青少年係・内線7033

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
168	1-3-2		青01-01	文京区青少年健全育成会活動支援(平成27年4月より、文京区青少年健全育成会へ変更)	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援する。	・事業補助 ・会長会 年3回 ・地区連絡会 年2回 ・委員研修会 年1回	-	-	✓	-	地域の特性を活かして実施する事業に対して補助を行うとともに、地区連絡会等の開催を通して情報交換を行い、活動の充実を図った。地域団体、PTAなど幅広い年代が連携して事業を実施することにより、多様なつながりが生まれ、地域の交流が促進された。	児童青少年課	青少年係・内線7033
169	1-3-2			PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担する。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校(園) 【29年度実績:36校園】	-	-	✓	-	PTA、児童生徒及び地域住民が交流するよい機会となっている。	教育総務課	教育総務課地域教育支援担当・内線3607
170	1-3-2			学校支援地域本部事業	地域の教育力の活性化を図り、子どもたちの「生きる力」「確かな学力」を育むため、地域全体が学校教育を支援する体制を整備し、推進する。また、本事業は、地域住民等の学習成果を活用する機会にもなっている。	平成20年度より開始。現在区立小学校15校、中学校6校に設置。各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っている。平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は8校で実施している。	✓	-	✓	-	・学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけになっている。 ・地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要である。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
171	1-3-2			青少年委員による学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進する。	6事業を青少年委員会へ委託した。 ・五者合同研修会(7月実施。講師:株式会社朝日学生新聞社 代表取締役 社長 脇阪嘉明) ・中学生サミット(7月・12月実施。区立中学校各2名、幹事校のみ5名参加) ・グリーンウォーク(7月・2月実施。会場校:第六中・根津小、延参加者203名) ・小学生向け事業(12月実施、会場校:湯島小、参加者96名) ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのつどい「文の恩返し」(1月実施。参加者119名)	✓	✓	✓	-	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募がある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
172	1-1-1 1-3-2 No.30再掲			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	地域の様々な催しに学校が積極的に参加することで、地域と学校の連携を図られている。	教育指導課	教育指導課内線3541
173	1-1-2 1-1-4 1-3-2 No.35再掲	19 24		大学連携による附属図書館の区民開放	大学の附属図書館を区民に開放していただくことで、区民の学習活動を支援します。	8館で区民利用が可能。 ・東洋大学附属図書館白山図書館※2 ・文京学院大学本郷図書館※2 ・日本女子大学図書館(目白キャンパス)※1※2 ・お茶の水女子大学附属図書館※1※2 ・跡見学園女子大学茗荷谷図書館※1※2 ・拓殖大学茗荷谷図書館 ・筑波大学大塚図書館 ・真静学園短期大学附属図書館 ※は女性区民に開放 ※2は区立図書館で申請受付	✓	-	✓	-	・公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	真砂中央図書館計画担当・内線3625
174	1-1-2 1-3-2 No.42再掲			産学官が連携するための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施した。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必要がある。	経済課	産業振興係・内線2452
175	1-1-4 1-3-2 No.85再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供。 特集展示「花…よりだんご?～江戸東京物見遊山」「文京の絵画～ゆかりの画家と描かれた文京区」	✓	✓	✓	-	地域への関心の高まりによって、レファレンスや展示資料の利用が増加している。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
176	1-1-4 1-3-2 No.86再掲			図書館ホームページの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。	✓	-	-	-	・「子ども読書の部屋」は、図書館からの情報発信だけでなく、子ども読書に係わる取組をする人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分には活用されていない。 ・「YA10代のためのページ」は、中高生向けの内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・内線3624
177	1-2-1 1-3-2 2-4-1 3-2-2 No.92再掲	21		社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	文化団体、30.3.31現在 606団体 平成29年度新規登録 43団体 スポーツ団体、30.3.31現在 503団体	✓	✓	✓	✓	施設の優先利用や利用料金減免により活動の支援となっている。 更新期間が5年間と長いので、登録方法を見直す必要がある。	アカデミー推進課 スポーツ振興課	アカデミー推進係・内線2581、2582 スポーツ振興課 スポーツ振興係・内線2592
178	1-3-1 1-3-2 1-3-3 No.140再掲	23	地01-04	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	礒川・大原・音羽・湯島・向丘・汐見・駒込地域活動センターで、カーレット教室、健康と吹き矢教室、折り紙教室、編み物教室、パラリンピック種目ロボット体験講座などの各種講座を実施しました。	-	✓	✓	✓	ふれあいサロンの目的である地域の特色を生かした事業内容、各地域での人材発掘・育成をより一層促進していく必要がある。また、今後は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みも検討する必要がある。	区民課	庶務係・内線2403
179	1-3-1 1-3-2 No.142再掲			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるバザー等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施している。	区民課	地域振興係・内線2404

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
180	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1) No.143再掲			地域に関する学習 機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習 機会を提供する。	地域広報紙発行補助28団体				町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の 様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課	地域振興係・内 線2404
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (3)学び合いとまちづくりにつながる学習の促進												
181	1-3-(3)	24		文京お届け講座	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、 区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として 職務に関する話をすることで、職員の意識改革 と住民との協働関係の醸成を図ります。	実施講座数14 受講人数1,304人				・区職員が講師のため身近で実用的である。 ・75講座に対し14件の依頼と少ないので、もっと活用 してほしい。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2582
182	1-3-(3) 3-3-(1)	24	学01-02	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講 座の中で地域に関する講座を実施し、文京区 の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるた めの学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 4講座 (受講者126人 定員105人 応募者203人) ・文京いきいきアカデミア講座 18講座 (受講者63人 定員60人 応募者82人)			・生涯学習支援者の協力もあり、地域に関する講座 を提供できた。 ・地域学講座のテーマについてリサーチが必要である。 ・地域学を講義できる講師の発掘が必要である。	アカデミー推進 課	(公財)文京アカ デミー庶務係・内 線4004	
183	1-3-(3)			災害時における相 互協力に関する協 定書	発災時における避難場所の提供等	6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、筑波大学、東洋大学、三室戸学園、 文京学院大学 ※文京学院大学では、外国人向けの帰宅困難者一時滞在施設の受 付訓練を実施した。				避難所の以外の区有施設を二次的な避難所として 開設した後に、避難所に収容しきれない避難者を受け 入れてもらう施設としての役割などを協定で締結し ている。 避難所開設委員の確保や避難物資の輸送が課題と 認識している。	防災課	計画担当 内線 2543・2544
184	1-3-(3)			防災訓練	協定締結に基づき、東洋大学・地元町会・区とで 防災訓練を実施。	東洋大学国際学部留学生に対して、防災教室として起震車を活用 した地震体験を実施した。参加者約50名であった。 また同じく協定締結先である文京学院大学の留学生に対しても防災 教室として起震車を活用した地震体験、煙体験ハウスを実施した。				・防災教室を実施し、昨年度に引き続き協定締結先 との連携の強化を図った。 ・今後も協定締結先と平常時からの協力関係をさら に構築することが必要であり、地元町会との連携を 図ることが課題である。	防災課	訓練担当 内線： 2548・2554
185	1-3-(3)			災害時における母 子救護所の提供に 関する協定書	発災時において、妊産婦・乳児救護所としての 施設提供等	5大学(跡見学園女子大学、順天堂大学、貞静学園短期大学、東洋学 園大学、日本女子大学) ※跡見学園女子大学では、区と協力し、妊産婦・乳児救護所開設訓 練を行った。 ※日本女子大学と救護所開設マニュアルの作成について協議した。				災害弱者といわれる妊婦や乳児を抱える母親が安 心して避難できる避難所として1次避難所として開設 する。	防災課	計画担当 内線 2543・2544
186	1-3-(3)			新成人を祝い、成人 としての自覚を促す 式典の開催	区内の新成人を含めた「はたちのつどいを考える 会」によりアトラクション等を選定し、新成人た めの式典を開催する。	H30.1.8実施 新成人対象者1,939人 参加者1,166人				「はたちのつどいを考える会」を5回実施し、新成人が 中心となり式典の内容検討を進めた。	区民課	地域振興係・内 線2404
187	1-3-(3) 4-2-(4)			商店会との連携	商店会イベントの運営にインターンシップの一環 で学生が参加	H29.11.12 第20回追分通り商業会まつり 文京学院大学 350人				商店街街区の来場者が多かったため、日常の会話 や顔なじみへの進展・活性化が図れた。	経済課	産業振興係・内 線:2452
188	1-3-(3)		産05-02	とびだせ！消費者 きょういく	区内各施設へ消費生活センターが出向き、若者 や高齢者の消費者被害防止のための講義や相 談を受け付ける。	クールアースフェア1回 区民ひろば5回 計6回				高齢者や若年者の消費者被害防止を呼びかけるこ とができた。	経済課(消費生 活センター)	消費生活セン ター内2460
189	1-3-(3)			団体への講師派遣 制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体 等が合同で講習会等を行う場合に講師を派遣す る。	○子育てひろば西片「トイレトレーニング」(6月、47組) ○こまびよのおうち「生活リズム」(9月、12組)				子育てに関する知識の提供や、地域資源の周知等 について共有を行った。	保健サービスセ ンター	保健指導係・内 線2855 本郷支 所・内線2850
190	1-3-(3)	99		文京エコ・リサイクル フェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を 目指すため3R推進月間に合わせて、リサイク ル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民と の交流を図る。	教育の森公園改修工事のため実施せず				該当なし	リサイクル清掃 課	リサイクル推進 係・内線2191
191	1-3-(3)			ふれあい給食・ふれ あい会(学校行事へ の住民参加)	地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニ ケーションを図る(小・中学校でのふれあい給 食) 地域の人やお年寄りとの交流会を開く(幼稚園 でのふれあい会)	各幼稚園・小学校・中学校で実施				小・中学校でのふれあい給食では、地域の人やお年 寄りを給食に招待しコミュニケーションを図ることにつ ながっている。 幼稚園のふれあい会では、地域の人やお年寄りの 交流につながった。	教育指導課	教育指導課 内線3541
192	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3)			社会科副読本の作 成及び購入(地域に ついての学習の推 進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科 副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたした ちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購 入する。	ふるさと学習副読本の作成「わがまち文京」「わたしたちの文京区」 の作成 「わたしたちの東京都」購入				地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと 学習副読本を作成することができた。	教育指導課	教育指導課 内線3541

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
193	1-2-(1) 1-2-(2) 1-2-(3) 1-3-(3) No.94再掲	21	学03-01	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	・文京アカデミー講座(区民プロデュース講座) 15講座 (採用数14件 実施数14件 応募数52件) ※第2回(後期)選定の講座は次年度に実施	✓	-	-	✓	・地域の人材を活かした講座を提供することができた。 ・アカデミー講座として実施するための支援体制を整えること、そのための人材を育成することが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
194	1-3-(1) 1-3-(2) 1-3-(3) No.140再掲	23	地01-04	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	礒川・大原・音羽・湯島・向丘・汐見・駒込地域活動センターで、カーレット教室、健康と吹き矢教室、折り紙教室、編み物教室、パラリンピック種目ポッチャ体験講座などの各種講座を実施しました。	-	✓	✓	✓	ふれあいサロンの目的である地域の特色を生かした事業内容、各地域での人材発掘・育成をより一層促進していく必要がある。また、今後は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みも検討する必要がある。	区民課	庶務係・内線2403
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (1)スポーツの楽しさを知る機会の創出										2-1-1(1)			
195	2-1-(1) 2-2-(1)	28		初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	平成28年度より、初心者向けスポーツ教室を指定事業として位置づけ、全2教室を実施しました。 29年6～7月：初心者アーチェリー教室、30年1～2月：初心者合気道教室	✓	-	-	-	初心者向けの教室を実施することにより、普段体験することができない競技を区民の方に経験してもらうことができた。 30年度はスポーツセンターのリニューアルオープンに伴い、人気の高い初心者弓道教室を再開する予定である。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
196	2-1-(1)	28		小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、スキー、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	ジュニアスキー教室(平成14年度より実施) 平成29年12月23日、51名参加(212名応募) ジュニアローラースポーツ教室(平成26年度より実施) 平成30年3月29日、30日(1日目:42名 2日目:41名参加)(255名応募)	-	✓	✓	-	主に小学生向けの教室を実施した。 特にジュニアローラースポーツ教室は毎年抽選倍率が高いので、実施日を増やせるかどうか委託先と検討する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
197	2-1-(1) 2-2-(2) 2-4-(2)	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。	親子はぜ釣り教室(平成23年度より毎年実施) 平成29年7月22日、64名参加(412名応募) 親子ボウリング教室(平成21年度より毎年実施) 平成29年9月2日、9日、16日、延べ68名参加(74名応募)	-	✓	✓	-	親子のスポーツ活動を通じ、スポーツに親しみをもつきっかけをつくる。申込み者が多いので、より多くの方が参加出来るよう、事業内容を精査する。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594 スポーツ振興係・内線2592
198	2-1-(1)	28		体育の日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催します。	平成27年度より指定事業として実施し、29年度が3回目の開催となりました。 ロンドンオリンピック競泳メダリストや東京オリンピック体操メダリストを講師に招聘した教室の外、各スポーツ施設を無料開放して各種教室を実施しました。	✓	-	-	-	施設の無料開放を行うことにより、広く区民に対してスポーツ施設の利用を促すことができた。 今後も事業を通じて施設の利用促進、スポーツ振興につなげていく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
199	2-1-(1)			健康教育	区民の健康の保持・増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催する。	○精神保健講演会 2回 ○健康づくり講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 7回 ○健康スキルアップ教室 8コース ○ウォーキング教室 48回開催	✓	-	✓	-	こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施した。約8割の参加者が教室前後で動機が高まっていた。	保健サービスセンター	保健指導係・内線2855 本郷支所・内線2850
200	2-1-(1)			オリンピック・パラリンピック教育推進事業 一日校長先生	小・中学校において、一日校長先生(こころのプロジェクト夢の教室事業)を実施する。平成27年度から平成29年度まで、1か年に小・中学校10校ずつ、3か年で全30校にて実施する。	小学校・中学校の10校において実施	-	✓	-	-	小・中学校において、一日校長先生を実施することで、子どもたちが将来の夢をもつことにつながっている。	教育指導課	教育指導係 内線3541

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
201	2-1-(1) 2-1-(3) 2-2-(3) 新規追加	201	ス03-02	東京2020大会 カウントダウンプログラム	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・7月22～23日に、オリンピック開催3年前記念イベントを開催し、東京大会の追加種目となった「サーフィン」を紹介しました。 ・8月24～25日に、パラリンピック開催3年前を記念し、UNWomen日本事務所と日本サッカー協会と連携し、「女性とスポーツ」の企画展を開催しました。 ・10月28日～11月2日まで、オリンピック1000日前記念イベントとして、日本オリンピックの父アジア初のIOC委員嘉納治五郎生誕記念シンポジウムや企画展を開催しました。また、車いすフェンシングの講演会や体験会、バラスポーツ体験(卓球、車いすレーサー、ボッチャ)などを実施しました。 ・11月22日にパラリンピック1000日前(11月29日)に向けた、競技種目紹介などを行いスポーツを通じたダイバーシティの推進を行いました。 ・11月29日にパラリンピック1000日前を記念し、「ぶんきょうくハラスポーツめぐりえ」の贈呈式を区立目白台保育園で行いました。(区立幼稚園、保育園、小学校にも全校配付) ・2月17～18日にオリンピック888日前を記念し、梅まつりにおいてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。また、当日開催されていた平昌オリンピックの試合状況などを来場者にお知らせしました。 ・3月9日にパラリンピック900日前を記念し、介護予防展においてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。 ・その他、区内五大祭りや区主催のイベント会場において競技紹介や競技体験会などを実施しました。 	✓	✓	✓	✓	スポーツだけでなく、他の視点(子育て、ジェンダー、虐待防止、動物衛生、介護 など)からも、企画事業を行うことで、ご来場いただく皆様からの事業の発展性について好評を得ることができた。また、他の所管との連携を深めることができた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
202	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピックこども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	<ul style="list-style-type: none"> ・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ボッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」など 	✓	✓	✓	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。 	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (2)スポーツ観戦の場と機会の拡充											2-1-(2)		
203	2-1-(2)	29		スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	<ul style="list-style-type: none"> ・B.LEAGUE 2016-17 FINALパブリックビューイング 5月27日実施。動員数:50人 ・アジア最終予選 - ROAD TO RUSSIAパブリックビューイング 8月31日実施。動員数:290人 ・B.LEAGUE ALL-STAR 2018パブリックビューイング 1月14日実施。動員数:120人 ・平昌2018オリンピック競技大会パブリックビューイング 2月14日(水)～23日(金)で実施。 ※17日(土)・18日(日)を除く。延べ動員数:660人 ・平昌2018パラリンピック競技大会パブリックビューイング 3月12日(月)～16日(金) で実施。延べ動員数:300人 	-	✓	✓	-	パブリックビューイングを開催し、大勢で観て応援することで、スポーツをより身近に感じる機会を提供した。特に、平昌2018パラリンピック競技大会パブリックビューイングでは、まだまだあまり知られていない冬季のバラスポーツを知ってもらいきっかけづくりとなった。引き続き知名度の低い競技については、知名度を上げるための積極的な広報活動が求められる。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
204	2-1-(2) 2-1-(3)	29	ス03-01	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	ボール投げ&走り方教室(平成25年度より実施) 平成29年4月9日・16日の2日間で実施。親子1年生の部:述べ77組154名参加(応募238組476名) 親子2、3年生の部:述べ67組134名参加(応募158組316名) 読売巨人軍×文京区 スペシャルイベント(平成22年度より実施) 平成29年9月10日53組172名参加(応募77組267名)	-	✓	✓	✓	小学生の運動能力向上に寄与することを目的とし、「投げる・走る」の基本を身につけるための技術指導をジャイアンツアカデミー講師陣により実施した。また、区民限定イベントの開催により、親子の触れ合いの場を提供する。いずれも人気が高く抽選で落選する申込者が多いので、より多くの方に参加してもらうための工夫が必要である。(前年度参加者は外す、参加者増の検討など)	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
205	2-1-(2)	29	ス03-01	文京LBレディーズ支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディーズ」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	・区立スポーツ施設(小石川運動場、江戸川橋体育館)、東京大学グラウンド等で週3日程度のトレーニングを実施。 ・区が日本サッカー協会(JFA)に依頼し、毎月1回程度、指導者を派遣。	-	✓	✓	✓	月1回の指導者派遣については平成29年度で終了。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
206	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通して、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (3)プロスポーツ等団体との連携・協力											2-1-(3)		
207	2-1-(3)	30	ス03-01	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	日本サッカー協会との協働事業は平成22年度より実施。平成28年度に引き続き「手倉森誠氏のジュニアサッカー教室」を開催。小学4・5年生39名参加(定員60名/応募48名)	-	✓	✓	-	日本サッカー協会との協働事業により、地域社会におけるスポーツ発展に貢献することができた。引き続き青少年の健全育成に寄与する事業を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
208	2-1-(3)	30		講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツに触れる機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。	・1000日前カウントダウンイベントを講道館との共催事業を開催しました。日本オリンピックの父、嘉納治五郎師範の生誕日である同日を記念し、1964年東京大会から2020年開催の東京大会に向けた大切な機会として、柔道を中心にシンポジウムを開催しました。 ・バラスポーツと柔道への理解として、職員研修「視覚障害者柔道体験会」を実施しました。視覚障害者柔道やパラリンピックの歴史、講道館が進める柔道の普及としての取り組みを体験を通じて実施しました。	✓	-	-	-	柔道という視点と、区内関係団体との連携を、東京大会開催に向けて取り進むことができた。また、2020年に向けた今後の事業展開についても連携を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
209	2-1-(3)	30	ス03-01	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	文京区に本社をおくプロバスケットボール団体アルバルク東京と相互協力協定を締結した。また、新たな協働先としてトヨタ自動車運動部と協力しスポーツ体験教室等を実施した。	-	✓	✓	-	チームの選手やコーチによる各種教室や、部活動等へのコーチの派遣等を行い、スポーツに親しむことや、競技レベル向上のきっかけを作っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
210	2-1-(2) 2-1-(3) No.204再掲	29	ス03-01	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	ボール投げ&走り方教室(平成25年度より実施) 平成29年4月9日・16日の2日間で実施。親子1年生の部:述べ77組154名参加(応募238組476名) 親子2、3年生の部:述べ67組134名参加(応募158組316名) 読売巨人軍×文京区 スペシャルイベント(平成22年度より実施) 平成29年9月10日53組172名参加(応募77組267名)	-	✓	✓	✓	小学生の運動能力向上に寄与することを目的とし、「投げる・走る」の基本を身につけるための技術指導をジャイアンツアカデミー講師陣により実施した。また、区民限定イベントの開催により、親子の触れ合いの場を提供する。いずれも人気が高く抽選で落選する申込者が多いので、より多くの方に参加してもらうための工夫が必要である。(前年度参加者は外す、参加者増の検討など)	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
211	2-1-(1) 2-1-(3) 2-2-(3) 新規追加 No.201再掲	201	ス03-02	東京2020大会 カウントダウンプログラム	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図ります。	・7月22～23日に、オリンピック開催3年前記念イベントを開催し、東京大会の追加種目となった「サーフィン」を紹介しました。 ・8月24～25日に、パラリンピック開催3年前を記念し、UNWomen日本事務所と日本サッカー協会と連携し、「女性とスポーツ」の企画展を開催しました。 ・10月28日～11月2日まで、オリンピック1000日前記念イベントとして、日本オリンピックの父アジア初のIOC委員嘉納治五郎生誕記念シンポジウムや企画展を開催しました。また、車いすフェンシングの講演会や体験会、バラスポーツ体験(卓球、車いすレーサー、ボッチャ)などを実施しました。 ・11月22日にパラリンピック1000日前(11月29日)に向けた、競技種目紹介などを行いスポーツを通じたダイバーシティの推進を行いました。 ・11月29日にパラリンピック1000日前を記念し、「ぶんきょうくバラスポーツめぐりえ」の贈呈式を区立目白台保育園で行いました。(区立幼稚園、保育園、小学校にも全校配付) ・2月17～18日にオリンピック888日前を記念し、梅まつりにおいてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。また、当日開催されていた平昌オリンピックの試合状況などを来場者にお知らせしました。 ・3月9日にパラリンピック900日前を記念し、介護予防展においてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。 ・その他、区内五大祭りや区主催のイベント会場において競技紹介や競技体験会などを実施しました。	✓	✓	✓	✓	スポーツだけでなく、他の視点(子育て、ジェンダー、虐待防止、動物衛生、介護 など)からも、企画事業を行うことで、ご来場いただく皆様からの事業の発展性について好評を得ることができた。また、他の所管との連携を深めることができた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
212	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ボッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020アウトタウ1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (1)スポーツを楽しむ人を増やす						2-2-(1)							
213	2-2-(1)	31		地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	親子スポーツ教室委託2団体 小中学生スポーツ教室委託2団体 区民大会委託33団体	-	✓	✓	-	引き続き、地域スポーツ団体に事業の開催を委託し、団体の育成を行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
214	2-2-(1) 2-3-(1) 2-4-(1) 2-4-(2)	31	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	平成29年度は、区立小・中学校18校にて延べ1,523日実施、延べ32,242人が参加しました。	✓	✓	✓	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。今後は、実施場所や種目の拡大について検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
215	2-2-(1)	31		個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。	左記のスポーツについて、それぞれスポーツセンター、総合体育館、江戸川橋体育館において一般開放および個人利用者向けの指導を行いました。 また、スポーツセンター休館後は、スポーツセンターのみで実施していたバレーボール及び弓道を総合体育館へ移行し、実施しました。	✓	-	-	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
216	2-2-(1)	31		各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会場の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	区立スポーツ施設において、成人向けの教室として元氣ニコニコ体操教室やアクアエクササイズ教室を、小・中学生向けの教室としてチャレンジスポーツ教室塾等を指定事業として実施しました。	-	✓	-	-	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会場の場を提供した。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
217	2-2-(1)	31		文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰します。	文京区表彰要綱に基づく顕彰 3件4表彰	-	✓	-	-	引き続きスポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
218	2-2-(1)	31		一般向けスポーツ教室	幅広い年齢層の区民の健康・体づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーション教室を開催します。	区立スポーツ施設において、成人向けの教室として元氣ニコニコ体操教室やアクアエクササイズ教室を、小・中学生向けの教室としてチャレンジスポーツ教室塾等を指定事業として実施しました。	✓	-	-	-	幅広い年齢層を対象として、様々な事業を開催することができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
219	2-2-(1)			オリンピック・パラリンピック気運醸成補助金	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた事業等の運営に要する経費を補助することにより、もって東京2020大会の気運を醸成するとともに、区内の生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流等の振興及びレガシーの創出に寄与することを目的としています。	【平成28年度】 件数：1件 補助金額計：133,000円 【平成29年度】 件数：4件 補助金額計：800,000円	✓	✓	✓	✓	・補助率10分の10と改定し活用しやすくなった効果から、件数が増加した。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成に利用できるなど、PRを定期的に行うことを通じて、認知度を向上させ活用の促進を図ることが課題となっている。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2571
220	2-2-(1)			①介護予防講演会 ②介護予防展 ③介護予防出前講座	高齢者を対象に介護予防普及啓発事業を実施する。	実施回数、参加者数 ①年3回(6月、11月、2月)、398人 ②年1回(3月)、1,163人 ③年3回(依頼により実施)、83人	✓	-	-	-	・講演会では、足のケア・口腔機能向上・認知症予防をテーマとし、多くの区民に介護予防の必要性を啓発することができた。今後も高齢者が関心のあるテーマを取り上げ聴講者の行動変容につなげ、介護予防に取り組むきっかけとしていく。	健康推進課	介護予防係・内線3350
221	2-2-(1) 2-3-(4)		教03-01	健康・体力増進事業	大学等と連携し、区立幼稚園・小学校における運動能力調査結果に基づき、指導員等を派遣する。また、健康トレーナーによる巡回相談や健康教室の開催、がん教育に関する授業及び講演会を行う。	健康トレーナーを全20校の小学校へ派遣し健康相談を行った。大学と連携し幼稚園10園で体力テストを実施し活用した。小中16校へ医師や教授等を派遣しがん教育を実施した。がん教育シンポジウムを実施し、80名の来場があった。	-	✓	✓	-	健康トレーナーや体力向上アドバイザーの派遣により、各幼稚園・小中学校の健康課題が改善されている。保護者へも啓発していくことが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
222	2-1-(1) 2-2-(1) No.195再掲	28		初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	平成28年度より、初心者向けスポーツ教室を指定事業として位置づけ、全2教室を実施しました。 29年6～7月：初心者アーチェリー教室、30年1～2月：初心者合気道教室	✓	-	-	-	初心者向けの教室を実施することにより、普段体験することができにくい競技を区民の方に経験してもらうことができた。 30年度はスポーツセンターのリニューアルオープンに伴い、人気の高い初心者弓道教室を再開する予定である。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
223	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間：5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、隅外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「水泳 木村敬一選手講演会」など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (2)多様なニーズに対応するプログラムの提供											2-2-(2)		
224	2-2-(2) 2-2-(3)	32		アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	ファミリーハイキング教室(平成15年度より毎年実施) 平成28年5月28日、61名参加(122名応募)	-	✓	✓	-	東京近郊でのハイキング等を通じてスポーツをするきっかけづくりをする。民間業者が実施している内容と違いを作るように工夫する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
225	2-2-(2)	32		ジュニア・アスリート育成事業	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働により、ジュニア選手を発掘・育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図ります。	本事業は平成26年度より順天堂大学の協力を得て実施している。優秀な選手を発掘・育成し、将来、アスリートとなるために必要な能力を身に付けるための支援を行った。 実技講習会は23回実施。他にも、食育や傷害予防に関する講座、食育講座等を開催。	-	✓	✓	✓	スポーツ団体や大学等が持つ専門的な知識による指導により、総合的な支援を行い優秀な選手の発掘・育成・強化をおこなった。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
226	2-2-(2) 2-2-(3) 2-4-(2)	32		ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	ニュースポーツ教室13回実施 みんなで楽しくニュースポーツ教室(平成18年度より毎年実施) 種目 ドッチビー 平成30年3月4日	-	✓	✓	-	ニュースポーツを通して障害の有無や年齢に関わらずスポーツを楽しむ事が出来る。競技の認知度を上げてくため、広報活動を広く行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
227	2-2-(2)	32		シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	60歳以上の方を対象として、高齢者水泳+健康体操教室、シニア健康体操教室、高齢者水中ウォーキング教室を実施した。	✓	-	-	-	シニア世代がスポーツに親しめる環境づくりを行うことができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
228	2-2-(2)	32		着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	平成29年7月1日に総合体育館にて実施しました。	✓	-	-	-	水中での身の守り方について、学んでもらうことができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
229	2-2-(2) 2-2-(4)			スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供する。	心身障害者・児通所施設合同運動会 10月7日(土) 荒天のため中止 区内9施設 参加者予定数 約700人 参加予定大学=貞静学園短期大学	-	-	✓	-	平成27年度から若さみなぎる貞静学園学生の参加により、運動会を盛り上げていたが、平成29年度は荒天のため中止となった。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
230	2-2-(2)			①運動器の機能向上プログラム事業 ②口腔機能向上プログラム事業 ③栄養改善複合型プログラム事業 ④認知症予防複合型プログラム事業 ⑤訪問型プログラム事業	平成29年4月1日現在介護認定を受けていない75歳以上84歳以下の方に「健康質問調査票(基本チェックリスト)」を送付し、調査票の回答結果から、生活機能の低下がみられる方を対象に短期集中予防サービスを実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①1,128回、296人、5,645人 ②56回、31人、217人 ③48回、30人、267人 ④36回、26人、271人 ⑤0回、0人(希望者なし)	-	-	✓	-	・基本チェックリストにより生活機能の低下が見られる方に対し、身体の状態に合わせたプログラムを短期間に集中して行うことにより機能の維持向上を図り、要介護状態となることの予防につながった。 ・前年度に比べ参加者数が減ってしまったため、より一層、対象者に対し事業の必要性を伝え参加を促す必要がある。 ・教室終了後も運動を継続することで効果が維持できるため、文の京介護予防体操や通いの場など様々な介護予防活動への参加を促していく。	健康推進課	介護予防係・内線3350
231	2-2-(2)			①文の京介護予防体操事業 ②転倒骨折予防教室 ③尿失禁予防教室 ④認知症予防教室 ⑤膝痛腰痛予防教室 ⑥複合型介護予防教室	全高齢者を対象に介護予防教室を実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①1,104回、1,129人、32,434人 ②305回、202人、2,745人 ③6回、104人、118人 ④390回、434人、4,218人 ⑤10回、217人、217人 ⑥48回、80人、819人	-	-	✓	-	・①は高齢者がいつでも気軽に運動を行えるよう区内の地域会場で、申込不要の自由参加型で通年実施している。29年度は1ヵ所新規開設し14会場となった。参加人数が増えた会場は、入替で1日2回行う二部制とし対応している。 ・②～⑥は区報で申込みとしており、毎回多くの申込みをいただいている。 ・いずれの事業も、多様なメニューを用意することで多くの区民が介護予防の取組みを行う機会となっているが、主な会場が区有施設であるため、会場確保が課題である。	健康推進課	介護予防係・内線3350
232	2-2-(2)			健康・体力づくりのための事業の充実(公害保健福祉・予防事業)	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施する。	・呼吸器健康講座→ 4回開催 126人参加 ・公害認定患者等に対する水泳奨励事業 → 区内体育施設のプールを延べ530回利用 ・ぜん息児水泳教室→ 4回開催 延べ73人参加	-	-	✓	-	・呼吸器健康講座は新規テーマの設定が好評で前年度より参加者が増加した。今後も新規参加者の増加を促すためにテーマの設定等工夫をしていく。 ・水泳奨励事業、ぜん息児水泳教室については、スポーツセンター改修の影響で、前年度より参加者が減少した。 ・ぜん息児水泳教室は、夏休み中の全4回連続での開催であったが、従来と実施期間等が変更になったことで、新規の参加者が増加した。	予防対策課	保健予防係・内線2815
233	1-1-(2) 2-2-(2) No.46再掲			からだコンディショニング事業(福祉センター-江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防ぎ、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施した。 【江戸川橋・湯島共通】 1クール12回×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 597人・湯島 565人	✓	-	✓	-	理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施した。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加につなげることができた。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
234	2-1-(1) 2-2-(2) 2-4-(2) No.197再掲	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次世代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。	子はぎょり教室(平成23年度より毎年実施) 平成29年7月22日、64名参加(412名応募) 親子ボウリング教室(平成21年度より毎年実施) 平成29年9月2日、9日、16日、延べ68名参加(74名応募)	-	✓	✓	-	親子のスポーツ活動を通じ、スポーツに親しみをもつきっかけをつくる。申込み者が多いので、より多くの方が参加出来るよう、事業内容を精査する。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594 スポーツ振興係・内線2592

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
235	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」ハラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (3)スポーツをともに楽しむ意識の醸成						2-2-(3)							
236	2-2-(3)	33	ス02-01	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	スポーツ指導者地域派遣 44件	-	✓	✓	-	スポーツ指導者地域派遣を広く周知し、地域のスポーツ活動を支援する事に努めたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
237	1-1-(2) 2-2-(3) No.45再掲			健康まち歩き	「体力アップフェア」の後継事業として、シニアプラザ事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち歩き」を一般事業化してH28年度から継続実施。学生が年度当初から企画作成した区内探訪コースを、専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生の案内で歩く。多世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向上を図る。	フレ実施 平成29年9月25日(月) 本大会 平成29年10月28日(土) 学生ボランティア20名・文高連8名・一般区民18名・大学関係者2名・大塚製菓1名・区関係者10名(講師2名、看護師1名、高齢福祉課7名) 計:59名	✓	-	-	-	健康運動士によるウォーキング講座を受講後、学生が作ったコースをおしゃべりやカフェを楽しみながら一緒に散策した。文高連会員や学生による細やかな配慮のもと、参加者の満足度も高く、心身ともに元気に過ごせる地域づくりに寄与することができた。今後より多くの方に参加していただけるよう、周知に努めていく。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
238	2-2-(2) 2-2-(3) No.223再掲	32		アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	ファミリーハイキング教室(平成15年度より毎年実施) 平成28年5月28日、61名参加(122名応募)	-	✓	✓	-	東京近郊でのハイキング等を通じてスポーツをするきっかけづくりをする。民間業者が実施している内容と違いを作るように工夫する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
239	2-2-(2) 2-2-(3) 2-4-(2) No.226再掲	32		ニューススポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニューススポーツ教室や大会を実施します。	ニューススポーツ教室13回実施 みんなで楽しくニューススポーツ教室(平成18年度より毎年実施) 種目 ドッチビー平成30年3月4日	-	✓	✓	-	ニューススポーツを通して障害の有無や年齢に関わらずスポーツを楽しむ事が出来る。競技の認知度を上げてくため、広報活動を広く行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
240	2-1-(1) 2-1-(3) 2-2-(3) 新規追加 No.201再掲	201	ス03-02	東京2020大会 カウントダウンプログラム	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・7月22～23日に、オリンピック開催3年前記念イベントを開催し、東京大会の追加種目となった「サーフィン」を紹介しました。 ・8月24～25日に、パラリンピック開催3年前を記念し、UNWomen日本事務所と日本サッカー協会と連携し、「女性とスポーツ」の企画展を開催しました。 ・10月28日～11月2日まで、オリンピック1000日前記念イベントとして、日本オリンピックの父アジア初のIOC委員嘉納治五郎生誕記念シンポジウムや企画展を開催しました。また、車いすフェンシングの講演会や体験会、バラスポーツ体験(卓球、車いすレーサー、ボッチャ)などを実施しました。 ・11月22日にパラリンピック1000日前(11月29日)に向けた、競技種目紹介などを行いスポーツを通じたダイバーシティの推進を行いました。 ・11月29日にパラリンピック1000日前を記念し、「ぶんきょうくバラスポーツめぐりえ」の贈呈式を区立目白台保育園で行いました。(区立幼稚園、保育園、小学校にも全校配付) ・2月17～18日にオリンピック888日前を記念し、梅まつりにおいてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。また、当日開催されていた平昌オリンピックの試合状況などを来場者にお知らせしました。 ・3月9日にパラリンピック900日前を記念し、介護予防展においてパラリンピック競技「ボッチャ」の体験会を実施しました。 ・その他、区内五大祭りや区主催のイベント会場において競技紹介や競技体験会などを実施しました。 	✓	✓	✓	✓	スポーツだけでなく、他の視点(子育て、ジェンダー、虐待防止、動物衛生、介護 など)からも、企画事業を行うことで、ご来場いただく皆様からの事業の発展性について好評を得ることができた。また、他の所管との連携を深めることができた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
241	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピックこども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	<ul style="list-style-type: none"> ・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学が(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ボッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウタウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」など 	✓	✓	✓	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。 	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (4)障害者スポーツの普及振興											2-2-(4)		
242	2-2-(4)	34		スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	平成29年度は43人が全11回の教室に参加し、風船バレーや大玉転がしなどのレクリエーション活動を楽しんだ。	-	-	✓	-	普段スポーツをしない参加者にとっては貴重なレクリエーション活動を行う場となっている。区内福祉施設に広く周知を行い、参加者を募っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
243	2-2-(4)	34		障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	平成29年度は、軽体操・トレーニングを9回、水泳6回、卓球3回の全18回実施し、延べ99人参加しました。	✓	-	-	-	参加者が、施設のハード面・ソフト面いずれに対しても慣れることができ、個人利用の登録に繋がった。また、施設の方も障害を持った方への対応について学ぶことができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
244	2-2-(4)	34		パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ボッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・東京青年会議所との連携により、バラスポーツ「ボッチャ」の体験会を佐藤選手を招いて実施し、障害者理解を深めました。 ・1000日前イベントでは、障害者フェンシングの藤田道宣選手を招き、実際のフェンシングを体験していただく機会を会場と共有し、障害者スポーツへの理解促進を図りました。 ・講演会(木村敬一選手を招聘し「パラ水泳について」)や研修会(石井亜弧選手、初瀬勇輔選手を招聘し視覚障害者柔道体験)を通じ、障害者スポーツへの理解促進を図りました。 	-	✓	✓	-	競技体験が実際に困難な種目についても、映像などを通じ理解していただける機会を増やすことで、多くの障害者スポーツとその背景を理解していただく機会が必要であると感じた。また、協力いただく選手へのアテンドを通じ、区職員の良い体験となっていると実感した。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標1	目標2	目標3	目標4			
245	2-2-(4)	34		障害者スポーツ体験教室	障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	-	✓	✓	-	ゴールボール体験会では参加数13名程度と少なかったが、参加者の反応はとてよかったです。スポ育についても学校側の反応がとてよよく、いずれも参加数を確保できれば意義のある事業だと感じた。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
246	2-2-(4)	34		障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	-	✓	-	-	資格取得のための条件が厳しいため、受講しやすい環境を整える必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
247	2-2-(2) 2-2-(4) No.228再掲			スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供する。	-	-	✓	-	平成27年度から若さみなぎる貞静学園学生の参加により、運動会を盛り上げていたが、平成29年度は荒天のため中止となった。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
248	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (1)気軽にスポーツを楽しめる環境の整備											2-3-(1)	
249	2-3-(1)	35	ス01-02	スポーツセンターの改修	老朽化したスポーツセンターを改修し、バリアフリー化を含め、だれもが安全で快適にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。	✓	-	-	-	平成30年6月30日にリニューアルオープンイベントを開催予定。 スムーズな再開に向けて、施工業者、関係各課、指定管理者と連携をしていく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
250	2-3-(1)	35		スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていきます。	✓	-	-	-	竹早テニスコートは利用率が高く、芝の摩耗が通常よりかなり早くなっている。29年に張替を行わなかった第1・2・5コートについても状態を注視していく。併せて、ネットの支柱の更新についても、今後検討していく必要がある。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
251	2-3-(1)			六義公園運動場管理棟等の改築	六義公園運動場の管理棟を改築する工事を行います。それに伴い、既存の管理棟及び倉庫の解体工事、仮設事務所の借上げ、運動場放送設備及び防球ネット改修工事を行います。	✓	-	-	-	管理棟の改築工事については、30年度に設計を行い、六義公園の改修工事の進捗状況を踏まえながら、31年度に管理棟の改築工事に着手していく計画である。 防球ネットの増設により、ホームランボールが敷地外の住宅の壁面に衝突する状況は解消されている。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
252	2-3-(1)			まるごと子育て応援 未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1 おおぞらすくすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	・おおぞらすくすく広場 年間延べ実施日数:61日 年間延べ参加人数:2,129人 ・親子すくすく教室 年間延べ参加人数:570人 ・園児すくすくプログラム 年間延べ参加園数:22園 年間延べ参加人数:424人	✓	-	-	-	いずれの事業も、参加者より好評をいただいた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
253	2-3-(1)			児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図る。	児童館合同卓球大会 平成30年3月27日(火)開催	-	-	✓	-	日頃の各児童館における卓球活動の成果を発表し、児童館利用児童の相互交歓及び親睦を深めることができた。	児童青少年課	児童係・内線7031
254	1-1-(3) 2-3-(1) No.60再掲	20		学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。(余裕教室の社会的利用、夜間管理の分離)	【学務課】30年2月現在実績 小学校 5690件 中学校 4519件	✓	-	-	-	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。一方で、利用団体が固定されている傾向にあるため、利用団体の拡大が課題である。	スポーツ振興課 学務課	スポーツ振興課 施設等担当・内線2594 学務課施設係・内線3535
255	2-2-(1) 2-3-(1) 2-4-(1) 2-4-(2) No.214再掲	31	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	平成29年度は、区立小・中学校18校にて延べ1,523日実施、延べ32,242人が参加しました。	✓	✓	✓	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。今後は、実施場所や種目の拡大について検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化											2-3-(2)		
256	2-3-(2)	36		スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員会への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	ファミリーハイキング教室・ぶんきょうウォーキング教室・ニュースポーツ大会・教室の委託等	-	✓	✓	-	スポーツ振興法に則り、地域のスポーツ振興に寄与する活動を実践している。区民の多様なニーズに対応出来るよう事業内容を検討する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
257	2-3-(2)	36		スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。	スポーツリーダー 42名 スポーツ推進委員 32名	-	✓	✓	-	地域のスポーツ振興に寄与している。指導者の特性や専門性を活かし、区民の多様なニーズに対応していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
258	2-3-(2)	36	ス02-01	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	指導者講習会を3回実施 平成29年5月18日 応急救護訓練 29名参加 平成29年7月20日 コミュニケーションスキルアップ講座 48名参加 平成29年10月19日 文京区の障害者スポーツとその今後 33名参加	-	✓	✓	-	地域の課題に対応した講習会を実施し、指導者の育成を図る。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
259	2-3-(2)	36		スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させます。	スポーツ指導者地域派遣 44件	-	✓	✓	-	スポーツ指導者地域派遣を広く周知し、地域のスポーツ活動を支援する事に努めたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
260	2-3-(2)			①脳の健康教室サポーター養成 ②文の京介護予防体操推進リーダー養成 ③転倒骨折予防ボランティア指導員養成	介護予防体操等を普及するため、区民指導者等を養成し、地域における自主的な活動の推進役とする。	養成講習及び研修会等参加者数 ①10人 ②153人(合同研修含む) ③9人	-	✓	✓	-	高齢者の介護予防の活動は広がっており、多くの区民に介護予防ボランティア指導者として担い手の役割を担っていただく必要がある。担い手となることで高齢者の社会参加と生きがいづくりにつながるため、今後も引き続き養成に力を入れる必要がある。	健康推進課	介護予防係・内線3350 地域保健担当・内線2836
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (3) スポーツボランティア等の活動支援											2-3-(3)		
261	2-3-(3) 2-4-(1)	37	ス01-03	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者274名 事業従事45事業延べ300名 文京スポーツボランティア養成講座(全7回) ①あすチャレ! Academy×文京スポーツボランティア養成講座6/5(月)参加者数35名 ②コミュニケーションスキル7/8(木)参加者数48名 ③ゴールボール体験会9/19(火)参加者数14名 ④文京区の障害者スポーツとその今後10/19(木)参加者数35名 ⑤パラアスリートとサポーター3/5(月)参加者数31名	-	✓	✓	-	スポーツイベントへの従事機会の拡大のため、主催者及び共催事業での積極的な登用を行った。また、オリパラ気運醸成事業でのパラスポーツ紹介等にも関与できるよう、関係部署との連携を図った。29年度に向けて近隣区への派遣や障害者自身がボランティアとなって活躍する場の提供を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
262	2-3-(3) 2-3-(4)	37	S01-03	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	スポーツボランティア登録募集 区報ぶんきょう25号 区ホームページ http://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/sports/sports/sportvolunteers.html	-	✓	✓	-	スポーツボランティアの登録募集について区報およびホームページ等で周知した。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
263	1-2-(3) 2-3-(3) 3-1-(3) No.115再掲	160	地04-01	「文京バックアップ」～大学生ボランティアのススメ～	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、区内在住・在学の大学生等に対してボランティア活動への積極的な参加を促すため、O2O(オンライン×オフライン)の手法を活用したWEBサイトを開設・運営する。	・平成30年3月19日(月)に文京バックアップズWEBサイトを開設した。 ・区報・区ホームページ・区SNSにてサイト開設についての周知を行った。 ・区内19大学に向けて、チラシを配布した。	✓	✓	✓	-	効果的な運用に向けて、WEBサイトの更なる周知を図る必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備											2-3-(4)		
264	2-3-(4)	37		スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	毎月1回、計12回発行しました。	-	✓	✓	-	対象者に対して、各種事業の案内を行うことができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
265	2-3-(4)	37		地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供します。	各種スポーツ事業、スポーツ施設開放情報について、区報・区ホームページ等に掲載。	-	-	-	✓	地域スポーツ情報の提供により、地域スポーツの振興を図ることができた。今後どのような情報ニーズがあるのかを検討していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
266	2-3-(4)	37		各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信します。	区報、チラシ・ポスターだけでなくfacebookやtwitterといったSNSも活用し、スポーツ事業等の広報活動をおこなった。また、パブリックビューイングやフラインドサッカーイベント等についてはメディアリリースも行った。	-	-	-	✓	スポーツ事業等の取り組みを広く内外に発信することができた。広報活動における、対象や時期については引き続き検討していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
267	2-3-(4)			ファミリースポーツデーにおける生活習慣病予防教育	ファミリースポーツデー(スポーツセンター)に來所した方を対象に、スモーカーライザーによる一酸化炭素測定とタバコの分解実験を行った。	呼吸中一酸化炭素濃度測定とタバコの分解実験を行った。血管年齢測定、栄養指導、健康相談を併せて実施した。來所者424人	✓	-	-	-	スポーツ施設を利用する人に、自身の健康維持に係る振り返りの機会をつくり、健康チャレンジ宣言に参加をもらった。	保健サービスセンター	本郷支所・内線2850
268	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126
269	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,500部 8回 8月10日～12月25日 124,000部 10回 1月25日～3月25日 124,500部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課	広報担当・内線2121
270	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上で情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
271	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) No.12再掲			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成28年度発行) 次回発行:平成30年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課	広報担当・内線2121
272	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(平成28年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当・内線2121
273	1-1-(1) 2-3-(4) No.29再掲		教03-01	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	歯と口の健康づくり2017 参加者214名、学校保健会特別講演 参加者120名、学校保健・給食大会 参加者数294名	✓	-	-	-	3つの事業により、多くの区民に講演を聞いてもらうことができた。区報等でも周知はするが、区立小・中学校、幼稚園を通じて呼びかけるため、ほとんどの来場者が保護者となっていることから、広く一般の区民の来場を呼び掛ける必要がある。	学務課	学校保健担当・内線3529
274	2-2-(1) 2-3-(4) No.221再掲		教03-01	健康・体力増進事業	大学等と連携し、区立幼稚園・小学校における運動能力調査結果に基づき、指導員等を派遣する。また、健康トレーナーによる巡回相談や健康教室の開催、がん教育に関する授業及び講演会を行う。	健康トレーナーを全20校の小学校へ派遣し健康相談等を行った。大学と連携し幼稚園10園で体力テストを実施し活用した。小中16校へ医師や教授等を派遣しがん教育を実施した。がん教育シンポジウムを実施し、80名の来場があった。	-	✓	✓	-	健康トレーナーや体力向上アドバイザーの派遣により、各幼稚園・小中学校の健康課題が改善されている。保護者へも啓発していくことが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
275	2-3-(3) 2-3-(4) No.262再掲	37	S01-03	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	スポーツボランティア登録募集 区報ぶんきょう6/25号 区ホームページ http://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/sports/sports/sportvolunteers.html	-	✓	✓	-	スポーツボランティアの登録募集について区報およびホームページ等で周知した。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (1) スポーツを通じた仲間づくり											2-4-(1)		
276	2-4-(1)	38		地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。	地域のスポーツクラブへ都や国からの情報提供を行った。	✓	-	-	-	引き続きスポーツクラブについての情報提供を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
277	1-2-(1) 1-3-(2) 2-4-(1) 3-2-(2) No.92再掲	21		社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	文化団体、30.3.31現在 606団体 平成29年度新規登録 43団体 スポーツ団体、30.3.31現在 503団体	✓	✓	✓	✓	施設の優先利用や利用料金減免により活動の支援となっている。 更新期間が5年間と長いので、登録方法を見直す必要がある。	アカデミー推進課 スポーツ振興課	アカデミー推進係・内線2581、 2582 スポーツ振興課 スポーツ振興係・内線2592
278	2-2-(1) 2-3-(1) 2-4-(1) 2-4-(2) No.214再掲	31	S01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	平成29年度は、区立小・中学校18校にて延べ1,523日実施、延べ32,242人が参加しました。	✓	✓	✓	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。今後は、実施場所や種目の拡大について検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
279	2-3-(3) 2-4-(1) No.261再掲	37	S01-03	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者274名 事業従事45事業延べ300名 文京スポーツボランティア養成講座(全7回) ①あすチャレ! Academy×文京スポーツボランティア養成講座6/5(月)参加者数35名 ②コミュニケーションスキル7/8(木)参加者数48名 ③ゴールボール体験会9/19(火)参加者数14名 ④文京区の障害者スポーツとその今後10/19(木)参加者数35名 ⑤パラアスリートとサポーター3/5(月)参加者数31名	-	✓	✓	-	スポーツイベントへの従事機会の拡大のため、主催者及び共催事業での積極的な登用を行った。また、オリパラ気運醸成事業でのバラスポーツ紹介等にも関与できるよう、関係部署との連携を図った。29年度に向けて近隣区への派遣や障害者自身がボランティアとなって活躍する場の提供を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
280	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポツチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (2) スポーツを通じた交流											2-4-(2)		
281	2-4-(2)	39		自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカーを開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。	29年度より文京区少年サッカー連盟の主催事業となり、文京区は共催	-	✓	✓	-	29年度より文京区少年サッカー連盟の主催事業となり、文京区は共催	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
282	2-4-(2) 5-1-(2)	39		カイザースラウテルン市市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	【中学生の部】 カテゴリ1:8/26、29、30 参加チーム数12、281名 カテゴリ2:12/17、23、24 参加チーム数11、210名 【小学生1・2年生の部】12/3、10 小学1年生:参加チーム数9、138名 小学2年生:参加チーム数10、113名 【小学3・4年生の部】1/7、14 小学3年生:参加チーム数8、100名 小学4年生:参加チーム数9、108名 【小学5・6年生の部】2/18、24、25 小学5年生:参加チーム数8、90名 小学6年生:参加チーム数7、78名	-	✓	✓	✓	サッカーを通して心身を鍛え子供たちの健全育成を図る。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
283	2-1-(1) 2-2-(2) 2-4-(2) No.197再掲	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。	子はげ釣り教室(平成23年度より毎年実施) 平成29年7月22日、64名参加(412名応募) 親子ボウリング教室(平成21年度より毎年実施) 平成29年9月2日、9日、16日、延べ68名参加(74名応募)	-	✓	✓	-	親子のスポーツ活動を通じ、スポーツに親しみをもつきっかけをつくる。申込み者が多いので、より多くの方が参加出来るよう、事業内容を精査する。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594 スポーツ振興係・内線2592
284	2-2-(1) 2-3-(1) 2-4-(1) 2-4-(2) No.214再掲	31	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	平成29年度は、区立小・中学校18校にて延べ1,523日実施、延べ32,242人が参加しました。	✓	✓	✓	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。今後は、実施場所や種目の拡大について検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
285	2-2-(2) 2-2-(3) 2-4-(2) No.226再掲	32		ニューススポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニューススポーツ教室や大会を実施します。	ニューススポーツ教室13回実施 みんなで楽しくニューススポーツ教室(平成18年度より毎年実施) 種目 ドッチビー 平成30年3月4日	-	✓	✓	-	ニューススポーツを通して障害の有無や年齢に関わらずスポーツを楽しむ事が出来る。競技の認知度を上げてため、広報活動を広く行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
286	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウタウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、隅外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通して、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しみことができる環境づくり (1) 文化芸術への興味や知識を高める											3-1-(1)		
287	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1)	42		文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会、ポスターコンクールを実施	✓	✓	✓	✓	各事業とも参加者の固定化、高齢化が進んでおり、新規参加者の開拓が課題となっている。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7
288	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 新規追加		文01-04	I don't know(能)… NO(能)problem!～ みんなで親しむ「能(Noh)」プロジェクト	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施する。	日時:8月20日(日) 会場:宝生能楽堂 内容:鑑賞プログラム「土蜘蛛」一部上演、体験プログラム「能楽堂バックステージツアー、能面・装束・楽器・ARメガネ体験」 来場者:340名	✓	✓	✓	✓	・難しいイメージのある能を体験を踏まえた子供向けの事業として実施することで、伝統文化を若い世代に発信できる ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、海外や次世代の人へ能の魅力を伝えられる人材を養成することができる	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
289	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 新規追加		文03-04	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	・「細川家と百人一首」講演会 日時:1月27日(土)14時から16時まで 会場:スカイホール 講師:橋本麻里氏 参加者数:86名 ・松聲閣×かるたイベント&パネル展 日時:2月4日(日) 会場:肥後細川庭園松聲閣 内容:東大かるた会によるかるた体験教室、袴着付け体験、かな書道体験教室 来場者:972名 ・小中学校かるた教室 ①第九中学校 日時:12月8日(金) 会場:第九中学校 内容:全日本かるた協会によるかるた教室 ②第六中学校 日時:1月20日(土) 内容:跡見学園女子大学によるかるた教室	✓	✓	✓	✓	・「かるた」を区の文化資源として戦略的にPRすることで、若い世代の観光客の大幅増加が期待できる。 ・あらゆる世代の区民が、「かるた」に関心と愛着をもつことで、伝統文化の継承、文化活動のより一層の多様化・活性化につながる。 ・オリンピック開催に向けて、日本の伝統文化への関心が高まる中、「かるた」の魅力を海外に発信できる人材を多く創出し、新たな国際文化交流の展開に寄与できる。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
290	3-1-(1)	42		事業提携楽団によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。	【平成14年度～】響きの森クラシック・シリーズ Vol.60 5月20日(土)実施 1,676名 Vol.61 9月16日(土)実施 1,377名 Vol.62 1月13日(土)実施 1,624名 フレッシュ名曲コンサート ランチタイムコンサート 10月13日(金)実施 191名 【平成22年度～】シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサート 12月13日(水)実施 1,720名	✓	-	-	-	【響きの森クラシック・シリーズ】 ・固定客が安定化しており、シリーズの定着が見られます。 ・さらなる顧客の獲得と定着を図り、ホールのファンを増やすことが課題となっています。 【シエナ・ウインド・オーケストラ】 ・区内小・中学校吹奏楽部員より希望者を募り、事前指導の上、公演にてオーケストラとの共演を行いました。共演した小中学生だけでなく、観客からも好評を得ました。 ・さらにファンのすそ野を拡大していけるよう内容を検討することが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
291	3-1-(1)	42		小中学生のための出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び(公財)文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。	【平成20年度～】小学校/東京フィルハーモニー交響楽団 小日向台小学校 10月30日(月)実施 498名 千駄木小学校 10月31日(火)実施 676名 【平成23年度～】中学校/シエナ・ウインド・オーケストラ 第一中学校 6月8日(木)実施 166名 第三中学校 11月28日(火)実施 220名	✓	-	-	-	・初めて生演奏を聴く児童・生徒もあり、毎回、高い評価を得ています。 ・小学校は実施を希望する学校2校、中学校は行政機構順に年2校の訪問となっているため、体験できないまま卒業してしまう児童・生徒たちもいることが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
292	3-1-(1) 3-1-(2)	42		文の京コミュニティコンサート	区内ミュージアム施設等の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	【平成22年度～】 宇宙ミュージアムTeNQ 9月12日(火)実施 61人 小石川後楽園酒徳亭 3月5日(月)実施 76人	✓	-	-	-	・両公演とも身近な施設で生の演奏を聴くことができ、満足度も高く、地域のニーズに合ったコンサートとなっています。 ・会場のキャパシティにより来場者数に制限せざるを得ない場合があり、課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
293	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 3-3-(1)	42		「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	・キッズミュージカル・魚沼産☆夢ひかり東京公演 日時:4月16日(日) 会場:小ホール 主催:文京区/魚沼市 内容:「心結び」田んぼオーケストラ ・啄木学級文の京講座 日時:7月7日(金) 会場:文京シビックホール小ホール 主催:文京区/盛岡市 講師:三枝昂之氏 参加者数:313名 ・かなざわ講座 日時:12月18日(水) 会場:スカイホール 主催:金沢市(共催:文京区) 講師:横山 方子氏 参加者数:100人 ・「石見神楽」公演&地域活性化シンポジウム 日時:平成30年1月20日(土) 会場:小ホール 主催:石見神楽東京社中/高津川流域都市協議会(島根県益田市・吉賀町・津和野町)/文京区 出演:石見神楽東京社中	✓	-	✓	✓	様々な自治体と文京区の住民が相互に交流を深めることは、都市間交流の促進、ひいては両市区の発展に資することが出来る。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
294	3-1-1(1) 3-1-2(2)	43		親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	【平成23年度～】東京フィル・親子で楽しむ「はじめてのオーケストラ」 第1回 7月29日(土)実施 304名 第2回 7月30日(日)実施 299名 【平成23年度～】シエナ フルーツの国のおんがくパーティー♪ 第1回 3月3日(土)実施 228名 第2回 3月4日(日)実施 280名	✓	-	-	-	・平成29年度より、「定期的に子ども向けの公演を行ってほしい」という意見に応え、これまで夏休みに集中していた公演を年間を通して実施する形態に変更しています。 ・内容のリニューアル等、更なる顧客の増加が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
295	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピックこども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・こども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウタウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」ハラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (2)だれもが参加しやすい仕組みづくり											3-1-1(2)		
296	3-1-2(2)	43		小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。	【平成33年度～】講座型(事前募集)、平成21年度～常設展示室を使った自由参加型(事前申込不要)のクイズイベント】 7月15日～8月31日「わが「は」い君魔法学校 歴史館で謎をとこう！」参加者260名	✓	-	-	✓	・夏休み中の小中学生に、楽しみながら地域の歴史を学べる機会を提供できた。 ・事前申込み不要とすることで、多くの小中学生が気軽に参加することができた。 ・より多くの参加者が得られるように、周知方法の工夫が必要である。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
297	3-1-2(2)	43		文京ミュージックフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介しします。	開催日時:平成29年12月14日(木) 会場:展示室1 参加館:25館 来場者:645人	✓	✓	✓	✓	・区内の博物館、美術館、庭園等が相互協力のもと連携をより一層深めることが出来た。 ・文京区における文化芸術の発展及び普及と、区内の歴史・文化資産に身近に触れる場と機会をより多くの区民に提供することが出来た。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7
298	3-1-2(2)	43		子ども俳句大会	区内中学校在学を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通して自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。	【平成28年度～】 ・中学生俳句大会(募集期間10～11月) 応募数651句	✓	-	-	-	・区立中学校の協力を得て、多くの参加を得ることができた。 ・昨年度より応募数が減少しており、PR方法の検討や、俳句に関する興味の喚起を図っていくことが課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
299	3-1-2(2) 4-3-3(3) 5-1-1(1)	43	交04-01	国際交流フェスタ	外国人と日本人の文化を通じた友好交流及び相互理解推進を図ります。	実施日:平成30年2月24日(土) 参加者数 :1,200人 参加団体 :37団体	✓	-	✓	✓	多くの参加者が来場し、日本人、外国人の双方が文化を通じた相互交流ができた。 好評をいただいているイベントであり、現在1日開催しているところを2日間開催の可否を検討していきたい。	アカデミー推進課	国際交流担当内線2588
300	3-1-1(1) 3-1-2(2) 3-2-1(1) No.287再掲	42		文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟刺詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施しします。	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟刺詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会、ポスターコンクールを実施	✓	✓	✓	✓	各事業とも参加者の固定化、高齢化が進んでおり、新規参加者の開拓が課題となっている。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7
301	3-1-1(1) 3-1-2(2) 3-2-1(1) 新規追加 No.288再掲		文01-04	I don't know(能)… NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)」プロジェクト～	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施する。	日時:8月20日(日) 会場:宝生能楽堂 内容:鑑賞プログラム「土蜘蛛」一部上演、体験プログラム「能楽堂バックステージツアー、能面・装束・楽器・ARメガネ体験」 来場者:340名	✓	✓	✓	✓	・難しいイメージのある能を体験を踏まえた子供向けの事業として実施することで、伝統文化を若い世代に発信できる ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、海外や次世代の人へ能の魅力を伝えられる人材を養成することができる	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
302	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 新規追加 No.289再掲		文03-04	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	・「細川家と百人一首」講演会 日時:1月27日(土)14時から16時まで 会場:スカイホール 講師:橋本麻里氏 参加者数:86名 ・松聲閣×かるたイベント&パネル展 日時:2月4日(日) 会場:肥後細川庭園松聲閣 内容:東大かるた会によるかるた体験教室、袴着付け体験、かな書道体験教室 来場者:972名 ・小中学校かるた教室 ①第九中学校 日時:12月8日(金) 会場:第九中学校 内容:全日本かるた協会によるかるた教室 ②第六中学校 日時:1月20日(土) 内容:跡見学園女子大学によるかるた教室	✓	✓	✓	✓	・「かるた」を区の文化資源として戦略的にPRすることで、若い世代の観光客の大幅増加が期待できる。 ・あらゆる世代の区民が、「かるた」に関心と愛着をもつことで、伝統文化の継承、文化活動のより一層の多様化・活性化につながる。 ・オリンピック開催に向けて、日本の伝統文化への関心が高まる中、「かるた」の魅力を海外に発信できる人材を多く創出し、新たな国際文化交流の展開に寄与できる。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
303	3-1-(1) 3-1-(2) No.292再掲	42		文の京コミュニティコンサート	区内ミュージアム施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートをを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	【平成22年度~】 宇宙ミュージアムTeNQ 9月12日(火)実施 61人 小石川後楽園涵徳亭 3月5日(月)実施 76人	✓	-	-	-	・両公演とも身近な施設で生の演奏を聴くことができ、満足度も高く、地域のニーズに合ったコンサートとなっています。 ・会場のキャパシティにより来場者数に制限せざるを得ない場合があり、課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
304	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 3-3-(1) No.293再掲	42		「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	・キッズミュージカル・魚沼産☆夢ひかり東京公演 日時:4月16日(日) 会場:小ホール 主催:文京区/魚沼市 内容:「心結び」田んぼオーケストラ ・啄木学級文の京講座 日時:7月7日(金) 会場:文京シビックホール小ホール 主催:文京区/盛岡市 講師:三枝昂之氏 参加者数:313名 ・かなざわ講座 日時:12月18日(水) 会場:スカイホール 主催:金沢市(共催:文京区) 講師:横山 方子氏 参加者数:100人 ・「石見神楽」公演&地域活性化シンポジウム 日時:平成30年1月20日(土) 会場:小ホール 主催:石見神楽東京社中/高津川流域都市協議会(島根県益田市・吉賀町・津和野町)/文京区 出演:石見神楽東京社中	✓	-	✓	✓	様々な自治体と文京区の住民が相互に交流を深めることは、都市間交流の促進、ひいては両市区の発展に資することが出来る。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
305	3-1-(1) 3-1-(2) No.294再掲	43		親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	【平成23年度~】東京フィル・親子で楽しむ「はじめてのオーケストラ」 第1回 7月29日(土)実施 304名 第2回 7月30日(日)実施 299名 【平成23年度~】シエナ フルーツの国のおんがくパーティー♪ 第1回 3月3日(土)実施 228名 第2回 3月4日(日)実施 280名	✓	-	-	-	・平成29年度より、「定期的に子ども向けの公演を行ってほしい」という意見に応え、これまで夏休みに集中していた公演を年間を通して実施する形態に変更しています。 ・内容のリニューアル等、更なる顧客の増加が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり											3-1-(3)		
306	3-1-(3)	44		紙媒体による情報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供します。	指定管理者発行の「スクエア」による文化芸術関連情報の提供	✓	-	-	-	・スクエアを毎月発行し、文化芸術に関する情報を広く提供しています。 ・読者にとって読みやすいレイアウトや興味を引く記事の掲載等、更なる工夫が求められています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
307	1-2-(3) 2-3-(3) 3-1-(3) No.115再掲	160	地04-01	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、区内在住・在学の大学生等に対してボランティア活動への積極的な参加を促すため、O2O(オンラインtoオフライン)の手法を活用したWEBサイトを開設・運営する。	・平成30年3月19日(月)に文京バックアップーズWEBサイトを開設した。 ・区報・区ホームページ・区SNSにてサイト開設についての周知を行った。 ・区内19大学に向けて、チラシを配布した。	✓	✓	✓	—	効果的な運用に向けて、WEBサイトの更なる周知を図る必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
308	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	—	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126
309	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,500部 8回 8月10日～12月25日 124,000部 10回 1月25日～3月25日 124,500部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回	✓	✓	✓	—	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課	広報担当・内線2121
310	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	—	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
311	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) No.12再掲			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成28年度発行) 次回発行:平成30年度7月予定	✓	✓	✓	—	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課	広報担当・内線2121
312	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(平成28年度発行)	✓	✓	✓	—	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当・内線2121
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実											3-2-(1)		
313	3-2-(1)	45		「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。	月ごとに展示 6件の申し込み	✓	✓	—	✓	出品者の減少、固定化が進んでおり、新規出品者の開拓が課題となっている。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7
314	3-2-(1)	45		観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。	【平成22年度～】文京シビックに“鼓童”がやってくる! 親子で楽しむ太鼓ワークショップ 9月9日(土)実施 14組30名 ぶんきょう交流公演 9月9日(土)実施 321名	—	✓	—	—	・小ホール公演のため、演奏者との距離が近く、迫力のある演奏が好評を得ています。 ・ワークショップは毎年定員以上の申し込みがあり抽選となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
315	3-2-(1)	45		朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	【平成24年度～】年1回 課題作家:夏目漱石 録音審査応募者:294名、本選:10月29日 出場者:16名 観覧者:264名 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール	✓	✓	✓	✓	・幅広い年齢層に親しまれる夏目漱石を課題作家としたことで、定員を大きく上回る294名の応募があった。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
316	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) No.287再掲	42		文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会、ポスターコンクールを実施	✓	✓	✓	✓	各事業とも参加者の固定化、高齢化が進んでおり、新規参加者の開拓が課題となっている。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
317	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 3-3-(1) No.293再掲	42		「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	・キッズミュージカル・魚沼産☆夢ひかり東京公演 日時:4月16日(日) 会場:小ホール 主催:文京区/魚沼市 内容:「心結び」田んぼオーケストラ ・啄木学級文の京講座 日時:7月7日(金) 会場:文京シビックホール小ホール 主催:文京区/盛岡市 講師:三枝昂之氏 参加者数:313名 ・かなざわ講座 日時:12月18日(水) 会場:スカイホール 主催:金沢市(共催:文京区) 講師:横山 方子氏 参加者数:100人 ・「石見神楽」公演&地域活性化シンポジウム 日時:平成30年1月20日(土) 会場:小ホール 主催:石見神楽東京社中/高津川流域都市協議会(島根県益田市・吉賀町・津和野町)/文京区 出演:石見神楽東京社中	✓	-	✓	✓	様々な自治体と文京区の住民が相互に交流を深めることは、都市間交流の促進、ひいては両市区の発展に資することが出来る。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
318	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 新規追加 No.288再掲		文01-04	I don't know(能)… NO(能)problem! ~ みんなで親しむ「能(Noh)」プロジェクト	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施する。	日時:8月20日(日) 会場:宝生能楽堂 内容:鑑賞プログラム「土蜘蛛」一部上演、体験プログラム「能楽堂バックステージツアー、能面・装束・楽器・ARメガネ体験」 来場者:340名	✓	✓	✓	✓	・難しいイメージのある能を体験を踏まえた子供向けの事業として実施することで、伝統文化を若い世代に発信できる ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、海外や次世代の人へ能の魅力を伝えられる人材を養成することができる	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
319	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 新規追加 No.289再掲		文03-04	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	・「細川家と百人一首」講演会 日時:1月27日(土)14時から16時まで 会場:スカイホール 講師:橋本麻里氏 参加者数:86名 ・松聲閣×かるたイベント&パネル展 日時:2月4日(日) 会場:肥後細川庭園松聲閣 内容:東大かるた会によるかるた体験教室、袴着付け体験、かな書道体験教室 来場者:972名 ・小中学校かるた教室 ①第九中学校 日時:12月8日(金) 会場:第九中学校 内容:全日本かるた協会によるかるた教室 ②第六中学校 日時:1月20日(土) 内容:跡見学園女子大学によるかるた教室	✓	✓	✓	✓	・「かるた」を区の文化資源として戦略的にPRすることで、若い世代の観光客の大幅増加が期待できる。 ・あらゆる世代の区民が、「かるた」に関心と愛着をもつことで、伝統文化の継承、文化活動のより一層の多様化・活性化につながる。 ・オリンピック開催に向けて、日本の伝統文化への関心が高まる中、「かるた」の魅力を海外に発信できる人材を多く創出し、新たな国際文化交流の展開に寄与できる。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (2)文化芸術活動をする人・団体への支援						3-2-2(2)							
320	3-2-2(2)	46		吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講師・表彰等を行います。プロの講師を受け、演奏技術向上につなげます。	【平成22年度～】第7回 シエナdeアン・コン！～アンサンブルコンテスト～ 12月23日(土・祝)実施 318名(3部門・出場23団体)	-	✓	-	-	・シエナメンバーによる事前レッスンが行われており、参加者より高い評価を得ています。 ・中学校、高等学校のニーズが高く、定数を大幅に上回る申し込みがあります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
321	3-2-2(2)	46		楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	【平成23年度～】中学生のための吹奏楽クリニック 7月3日(月)～8月2日(水)実施 103名(全30回・区立中学校10校)	-	✓	-	-	・楽器ごとの少人数レッスンのため、生徒一人ひとりの状況あった指導ができ、好評を得ています。 ・顧問の先生からも、「丁寧で上質なレッスンができてい」等、高く評価されています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
322	1-2-2(1) 1-3-2(2) 2-4-2(1) 3-2-2(2) No.92再掲	21		社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	文化団体、30.3.31現在 606団体 平成29年度新規登録 43団体 スポーツ団体、30.3.31現在 503団体	✓	✓	✓	✓	施設の優先利用や利用料金減免により活動の支援となっている。 更新期間が5年間と長いので、登録方法を見直す必要がある。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581、2582 スポーツ振興課 スポーツ振興係・内線2592
323	1-2-2(1) 3-2-2(2) No.93再掲	21		文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	代表者会議6回実施、公開講座「夏目漱石とその時代」138名出席。合同学習会「文教の歴史を訪ねて・日本薬科大学」57名出席。バス見学会「波の伊八の彫刻を訪ねて」73名参加。アカデミア委託講座企画「江戸期・女たちの旅」。文京アカデミー生涯学習サークルに各サークルで参加及び連絡会としてPR活動。年度当初会員37団体。	✓	✓	✓	✓	夏目漱石の講座に関しては、昨年のフェルメール絵画の紹介と同様に人気が高く、当日の参加者からも好評であった。毎年の企画を会員の代表者がしてくれ、区の事務負担が少なく実施出来るのは有り難い。 課題としては、会員の高齢化とサークル数が増えないことだが、熱心に継続しているのでもまだ大丈夫だと感じる。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (3)人材の育成と活動支援						3-2-2(3)							
324	3-2-2(3)	47		舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	【平成12年度～】CITTADINO歌劇団 第18期生講習会 平成29年8月～平成30年2月まで週1～2回実施 延べキャスト35回、合唱団35回 受講者数 キャスト8名 合唱団95名 公演 2月25日(日)実施 1,197名	-	✓	-	-	・区民参加事業でありながら、フルオーケストラによる伴奏がある本格的なオペラ上演であり、参加者より好評を得ています。 ・合唱団には毎年100名以上の応募があり、定着が見られます。一方、パートによって応募数にバラつきがあることが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
325	3-2-2(3)	47		舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	【平成8年度～】音楽劇ワークショップ“ぶんきょう演劇塾” 平成29年度より音楽劇ワークショップとしてリニューアルした。 講習会 平成29年6月～平成30年2月の週2回、延べ64回実施 受講者数 18名 公演 2月4日(日)実施 448名	-	✓	-	-	・平成29年度より新たな講師を迎え、音楽劇ワークショップとして内容をリニューアルしました。 ・手話通訳付きの公演として実施し、好評を得ました。 ・今後、継続的な事業として育てていくことが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
326	3-2-2(3)	47		シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	【平成8年度～】 日時 毎月開催(原則第4水曜日)12:15～12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ2,653人	-	✓	-	-	・オープンスペースでの無料のコンサートということから、気軽に音楽を楽しめ、毎回多くの観客が来場しています。 ・演奏する学生にとっても、観客を前にして演奏する貴重な機会となっています。 ・オープンスペースであるため、音による付近の部署への影響が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
327	3-2-2(3)	47		カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを実施します。	【平成15年度～】 実施 9月10日(日) 会場 文京シビックホール小ホール 出演団体数 10団体(149名) 観覧者数 359人	-	✓	-	-	・区内大学、専門学校間の交流の機会となっており、好評を得ています。 ・定数を上回る応募があり、抽選となっています。 ・参加団体による実行委員会によって運営を行うため、参加学生の当事者意識を高めることが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
328	3-2-2(3)	47		文の京地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、インタープリターの活動を支援します。	区制70周年事業 幸田露伴生誕150年没後70年 平成29年度企画展「幸田露伴―蝸牛庵が紡ぐもの―」 受付業務等:文の京地域文化インタープリターの会 会期:平成29年7月30日(日)～8月8日(火)10時～18時(最終日は正午まで) 会場:展示室 I 企画展開連特別講座 記念講演会「明治の露伴、小石川を歩く―その文学と遊び―」 日時:平成29年7月30日(日) 会場:スカイホール 主催:文京区 講師:出口智之氏 参加者数:93人	✓	✓	✓	✓	・区民の文化創造への関心を高め、文化活動への一層の参加促進を図ることを目的に実施するものである。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
3 文化芸術 3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (1)地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実											3-3-1(1)		
329	3-3-1(1)	48		史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。	【平成18年度～】年3回 第1回:6月16日「いにしへの区境を歩くー旧小石川区と旧本郷区ー」 参加者:48名 第2回:11月10日「文京の文学史跡・文学碑を訪ねる」 参加者:29名 第3階:3月7日「肥後細川庭園と関口・目白台の名所を巡る」参加者:52名 案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド	✓	✓	✓	✓	・毎回テーマ設定を工夫することで、同じ場所・史跡でも異なった楽しみや価値を見出すことができています。 ・友の会ガイドの案内はアンケートでも満足度が高い。同時にガイドの学習成果を発揮する場ともなっている。 ・参加者の当日キャンセルが多いことへの対策が必要である。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
330	3-3-1(1)	48	文01-01	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。	【平成26年度～】 幸田露伴(生誕150年・没後70年)、窪田空穂(生誕140年・没後50年)・夏目漱石(生誕150年)を中心に顕彰事業を実施。 事業リーフレット発行(年1回):B4両面三つ折 7500部発行・配布 歴史講演会:11月2日「幸田家のことばー露伴から受け継いだものー」 講師:青木奈緒氏(エッセイスト・作家・幸田露伴曾孫) 参加者:326名 会場:文京シビックホール小ホール 史跡めぐり:12月13日「“慶応3年生まれ”のゆかりの文化人を訪ねて」 案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド 参加者40名 朗読コンテスト:別記No.323 ミニ企画:「露伴最後の弟子 朗月亭羅文」	✓	✓	✓	✓	・担当係(文化資源担当室)で複数の事業を行うだけでなく、文化事業係、鷗外記念館、アカデミー文京などでも関連事業を実施し、ひろがりのある事業となっている。 ・リーフレットの配布先は主に区内であるが、事業周知のため、今後は区外にも対象を広げる。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
331	3-3-1(1)	48		文の京ワークショップ	「現代の観潮楼=交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信します。	【平成24年度から】年5回 ①5月30日「ボタニカルアートを描こう」第1回(※全2回講座) 講師:石川美枝子氏(植物画家) 参加人数:16名 ②6月6日「ボタニカルアートを描こう」第2回(※全2回講座) 講師:石川美枝子氏(植物画家) 参加人数:16名 ③8月8日「観潮楼をつくろう」①13:00②15:00 当日参加人数:①10名(子ども5名)②6名(子ども4名) ④8月9日「観潮楼をつくろう」①13:00②15:00 当日参加人数:①8名(子ども5名)②6名(子ども4名) ⑤12月3日「ドイツの遊び」 後援:公益財団法人日独協会 参加人数:40名	✓	-	-	-	・ワークショップでの体験を通じて、学びや交流に対する新たな発見や新たな価値を生むことにつながる企画であった。 ・体験する内容が複雑となる企画は、募集人数が少いため、当日キャンセルなどが重なる参加人数がさらに更に減ってしまう。広く深く体験できる内容で、多くの人数が体験できる形式のものも今後検討する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
332	3-3-1(1)	48		新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文化人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。	【平成24年度～】年3回 ①9月2日「森鷗外訳オペラ《オルフェウス》上映会」 講師:瀧井敬子氏(音楽学者) 参加人数:38名 ②平成30年3月15日「鷗外を描く～はじめてのクロッキー(素描)鉛筆画～」 講師:苛原治氏(文京区立第八中学校美術教諭) 参加人数:4名 ③平成30年3月16日「鷗外を描く～はじめてのクロッキー(素描)鉛筆画～」 講師:苛原治氏(文京区立第八中学校美術教諭):6名(内招待1名)	✓	-	-	-	・多彩で質の高い企画を提供することにより、「現代の観潮楼=交流サロン」を具現化した。 ・専門性が高くなってくると参加者の受け止め方に多少ばらつきが出てくる懸念がある。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
333	3-3-1(1)			鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説する。	【平成24年度～】年5回 ①5月20日「森鷗外の旅路・第1回/故郷からの旅立ち」 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:45名 ②6月3日「森鷗外の旅路・第2回/海を渡って」 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:40名 ③6月17日「森鷗外の旅路・第3回/不忍池の畔り」 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:52名 ④:7月1日「森鷗外の旅路・第4回/東京市本郷区千駄木町57番地千架山房・猫の家」 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:43名 ⑤7月15日「森鷗外の旅路・第5回/辿り着いた地」 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:47名	✓	✓	-	✓	・鷗外講座基礎編は、鷗外の一生を学ぶ初級編であったため、初めての来館の方が多く新規顧客の獲得に繋がった。連続5回講座であったため、抽選に漏れてしまうと全回聴講できない、という声もあったため、応募方法を再考する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
334	3-3-1(1)			記念日イベント	森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持つ取り組みを行う。	【平成24年度～】年5回 ①7月16日 鷗外忌記念対談「鷗外を通して個人と社会との関係を考える」講師:小堀鷗一郎氏(医学博士)、倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:44名 ②7月9日 鷗外忌記念行事(鷗外の命日に展覧会を視覧された方にオリジナルしおりを配布) 配布数:169枚 ③11月1日 開館記念行事(開館記念日に展覧会を視覧された方全員に開館5周年記念ポストカードを配布) 配布数:84枚 ④1月19日 鷗外誕生日記念行事(鷗外の156回目の誕生日を記念して展覧会の観覧料無料) 観覧者:301人 ⑤2月17日 鷗外誕生日記念イベント「みみずくドローイング」(鷗外の156回目の誕生日(新暦)にあわせて、当館所蔵の直筆みみずくの絵柄を紙皿に描くワークショップ) 参加者:16名	✓	-	-	-	・記念日をきっかけとしたサービスを提供することにより、“館”に親しんでもらうことができた。 ・29年度は親子で参加できる工作を実施、子育て世代をターゲットにしたイベントを行うことにより、若年層の誘客を図ることができたが、ペピーカーを使用している来館案内等をスムーズに行う必要がある。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
335	3-3-1(1)			朗読会	鷗外作品の魅力、朗読という形で訴求するプログラムを展開する。	【平成24年度～】年2回 ①9月18日 「やさしい朗読・よみかかせ」講師:磯部延之氏(全国学校図書館協議会) 参加人数:9組(11名・内子ども5名) ②平成30年3月17日 「小倉三郎作を読む～三郎作より『二人の友』を朗読～」朗読:林田一高氏(文学座・俳優) 参加人数:33名(内招待3名)	✓	-	-	-	・エンターテインメント性の高い展開により、作品朗読の新たな魅力を提示できた。 ・「朗読会」の捉え方に、いくらか開きがあるため、応募者は減るかもしれないが、対象及びその展開について明確にしていくことを検討する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
336	3-3-1(1)			文学散歩	観潮楼跡地以外での広域な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施する。	【平成24年度～】年2回 ①9月27日 鷗外をめぐる散策「鷗外記念館から竜泉の一葉旧居跡へ」(当館から上野、竜泉へ) 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加人数:13名 ②3月20日 街あるきイベント「インターナショナル街歩き」(根津、千駄木、谷中界隈) ナビゲーター:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事)、小倉Connie国江(APLLE ENGLISH SCHOOL講師) 参加人数:12名	✓	-	-	✓	・鷗外を核とした交流により、他地域のコンテンツを当館において提供することができた。 ・区内への情報提供や広報を工夫することで、参加者増を目指す。 ・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づくと、外国人観光客へ向けて、当館の説明のみならず千駄木界隈の説明を英語でも行えるよう、当館解説ボランティアも参加し、活動に役立てている。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
337	3-3-1(1) 新規追加			森鷗外記念館開館5周年事業	森鷗外記念館の開館5周年を記念して、各種イベントやシンポジウムを開催しました。	【平成29年度】 森鷗外(記念館開館5周年)の記念事業を実施。 ①10月7日～11月30日:開館5周年記念イベント「開館5周年記念応援メッセージ展示」 ②10月12日～12月31日:記念事業「東洋大学×文京区立森鷗外記念館 連携講座「森鷗外と慶応3年生まれの文化人」会場:東洋大学・森鷗外記念館 10月21日:第1回「日本文学を開拓する眼(尾崎紅葉・石橋思案)―現友社の試みと鷗外の文体―」会場:東洋大学 講師:山田俊治先生(横浜国立大学名誉教授) 参加人数:43名 10月28日:第2回「時代を見つめる眼(夏目漱石・正岡子規)―人物交流と作品世界―」会場:2階講座室 講師:石田仁志氏(東洋大学教授) 参加人数:43名 11月18日:第3回「美術を支える眼(藤島武二)―鷗外と同時代の美術と出版―」会場:東洋大学 講師:岩切信一郎氏(美術史家) 参加人数:43名 11月25日:第4回「歴史を見つめる眼―鷗外史伝vs露伴史伝―」講師:出口智之氏(東海大学文学部准教授) 参加人数:38名 12月2日:第5回「古い芝居と新しい演劇―鷗外と弟・三木竹二の眼―」会場:東洋大学 講師:神山彰氏(明治大学教授) 参加人数:35名 ③10月29日～11月2日 開館5周年記念イベント「森鷗外記念館5周年のあゆみ」展 ④11月1日:開館記念日行事 展覧会観覧の方全員に開館5周年記念ポストカードをプレゼント ⑤11月1日:開館5周年記念イベント「鏡割り」場所:大観音通り側 参加人数:67名 ⑥10月16日～11月15日 開館5周年記念イベント「開館5周年オリジナル郵便小型印 臨時郵便局開設日:11月1日、2日、4日、5日 臨時郵便局開設場所:エントランス」 ⑦11月1日～11月30日:開館5周年記念イベント ⑧11月2日:開館5周年記念イベント 文の京ハートフル工房 参加人数:47名 ⑨11月3日:開館5周年記念イベント 書のパフォーマンスライブ ①14:00～②16:00～ 出演:森ナオ氏(アーティスト) 参加人数:①55名②36名 ⑩11月4日:開館5周年記念イベント ライア(聴覚)コンサート ードイツ音楽を中心に①11:00～②13:30～ 出演:三野光生氏(ライア奏者) 参加人数:①27名②35名 ⑪11月5日:開館5周年記念イベント 特別講演会「森鷗外 異文化との出会い」ベルリン森鷗外記念館「新設展示より」講師:ペアーテ・ヴォンデ氏(ベルリン森鷗外記念館副館長) 参加人数:55名(招待12名) ⑫11月11日:開館5周年記念行事 記念対談「鷗外 vs. 漱石」会場:文京区民センター3A会議室 講師:山崎一雄氏(跡見学園理事長)、中島國彦氏(早稲田大学名誉教授) 朗読:内木明子氏(朗読家、早稲田大学・相模女子大学講師) 参加人数:185名(内招待13名) ⑬平成30年1月13日(土)～1月28日(日):開館5周年記念シンポジウム関連ミニ展示 菅実花「The Silent Woman」アーティスト:菅実花氏 ⑭平成30年1月20日:開館5周年記念シンポジウム「深読み?森鷗外 鷗外とビッグマリオン・コンプレックス」講師:島村輝氏(フェリス学院大学教授) 藤本直美氏(日本女子大学非常勤講師) 菅実花氏(東京芸術大学大学院先端表現専攻博士課程) 総括:小泉浩一郎氏(東海大学名誉教授・森鷗外記念会会長) 参加人数51名(招待5名)	✓	✓	✓	✓	・開館5周年に合わせて、館内外でのイベントやシンポジウムを行った。当日参加のイベントや無料の催しは区民や近隣の方に、館外実施の対談やシンポジウムなどはリピーターや講座受講者、専門家など、誘客ターゲットを絞り広報を実施、結果、来館者数増となった。 ・東洋大学連携講座では、当館と東洋大学、両方が会場になったため、展示来館に加え当館の周知にも繋がった。 ・イベントと特別展の広報がずれてしまったので、展示と繋げるべく今後のリリースは同時に行いたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
338	1-1-1(1) 3-3-1(1) No.6再掲		学01-02	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 4講座 (受講者126人 定員105人 応募者203人) ・文京いきいきアカデミア講座 18講座 (受講者63人 定員60人 応募者82人)	✓	-	-	✓	・生涯学習支援者の協力もあり、地域に関する講座を提供できた。 ・地域学講座のテーマについてリサーチが必要である。 ・地域学を講義できる講師の発掘が必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
339	1-3-1(1) 1-3-2(1) 3-3-1(1) No.143再掲			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助28団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課	地域振興係・内線2404

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
340	1-3-(3) 3-3-(1) No.182再掲	24	学01-02	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 4講座 (受講者126人 定員105人 応募者203人) ・文京いきいきアカデミア講座 18講座 (受講者63人 定員60人 応募者82人)	✓	-	-	✓	・生涯学習支援者の協力もあり、地域に関する講座を提供できた。 ・地域学講座のテーマについてリサーチが必要である。 ・地域学を講義できる講師の発掘が必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
341	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3) No.192再掲			社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するための社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入する。	ふるさと学習副読本の作成「わがまち文京」「わたしたちの文京区」の作成 「わたしたちの東京都」購入	✓	✓	-	-	地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと学習副読本を作成することができた、	教育指導課	教育指導課内線3541
342	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 3-3-(1) No.293再掲	42		「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	・キッズミュージカル・魚沼産☆夢ひかり東京公演 日時:4月16日(日) 会場:小ホール 主催:文京区/魚沼市 内容:「心結び」田んぼオーケストラ ・啄木学級文の京講座 日時:7月7日(金) 会場:文京シビックホール小ホール 主催:文京区/盛岡市 講師:三枝昂之氏 参加者数:313名 ・かなざわ講座 日時:12月18日(水) 会場:スカイホール 主催:金沢市(共催:文京区) 講師:横山 方子氏 参加者数:100人 ・「石見神楽」公演&地域活性化シンポジウム 日時:平成30年1月20日(土) 会場:小ホール 主催:石見神楽東京社中/高津川流域都市協議会(島根県益田市・吉賀町・津和野町)/文京区 出演:石見神楽東京社中	✓	-	✓	✓	様々な自治体と文京区の住民が相互に交流を深めることは、都市間交流の促進、ひいては両区市の発展に資することが出来る。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645~7
343	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日~12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、隅外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
3 文化芸術 3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (2) 「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援											3-3-(2)		
344	3-3-(2)	49		文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	【平成3年度~】 友の会自主企画事業(講演会・発表会3回、史跡めぐり・見学会等8回)、役員会(月1回)、会報・花時計発行(年4回)、まち案内ボランティアガイド(25回 参加者:332名)、石碑調査協力(教育委員会事業)ほか	✓	✓	✓	✓	・友の会活動への支援を円滑に行い、同時に友の会から歴史館事業への協力もあり、相互での協働関係がよい形で構築されている。 ・友の会活動の周知、新規会員募集の工夫。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
345	3-3-(2)	49		文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	【平成25年度~】 毎週土・日曜午後実施(51週、1日2名)、事前申込により随時実施 ガイド:24名	✓	✓	✓	✓	・第2期ガイド養成講座が完了、同時に第1期ガイドのスキルアップの機会ともなった。 ・ガイドの利用者増に向けた周知広報が必要。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
346	3-3-(2)	49		森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	【平成24年度～】 ①土・日・祝日 13時～15時 館内案内実施 延べ参加人数:938人	✓	✓	✓	✓	・利用者からも好評で、ボランティアも意欲的に活動しているため、安定し充実した事業となっている。 ・ボランティア解説が来館の目的となるように努めていきたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
347	3-3-(2)	49		技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	文の京技能名匠認定者:5名	✓	✓	-	✓	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく。	経済課	産業振興係・内線:2453
348	3-3-(2)			日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の決定を踏まえ、伝統・文化に関する教育を推進します。日本の伝統文化について、講師の実演等を行い、日本の良さを発信することができる能力や態度を育成します。	本事業指定校6校で実施。嘶家、狂言師、書道家等を講師として招聘。	-	✓	-	-	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、伝統・文化に関する教育を推進し、日本の良さを発信することができる能力や態度の育成につながっている。	教育指導課	教育指導課内線3541
3 文化芸術 3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (3)文化資源の再発見と保存・活用の推進						3-3-(3)							
349	3-3-(3)	50		文京ふるさと歴史館 特別展・収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展及び館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。	【平成3年度～】各年1回 特別展:10月21日～12月3日(38日間)「季節のうた—歌人 窪田空穂 生誕一四〇年・没後五〇年—」入館者:2,859名 記念講演会「窪田空穂—くらし・家族・うた—」講師:臼井和恵氏 参加者:117名 収蔵品展:2月10日～3月18日(32日間)「コドモノナビヤ 文京幼稚園 今昔」入館者:1,838名	✓	-	-	✓	・さまざまなテーマを設けて展示を行うことは、文京の歴史・文化の再発見につながり、来館者からも好評を得ている。 ・より多くの入館者を得るため、テーマ設定の工夫や周知広報手段を再検討する。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
350	3-3-(3)	50		森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。	【平成24年度～】 ①2月2日～4月2日まで57日間開催(平成29年度2日間)コレクション展「死してなお—鷗外終焉と全集誕生—」観覧者数:3,353名(29年度2名) ②4月8日～7月2日まで 84日間開催 特別展「鷗外のく庭」に咲く草花—牧野富太郎の植物図ととも— 観覧者数:7,363名 関連講演会①:5月27日「鷗外が愛でた草花—森鷗外記念館(津和野)の庭園紹介を兼ねて—」講師:青木宏一郎氏(ランドスケープ・ガーディナー) 参加人数:51名 関連講演会②6月10日「森鷗外と植物学者・牧野富太郎—二人の接点は?」講師:田中純子氏(練馬区立牧野記念庭園記念館学芸員) 参加人数:52名 ③7月7日～10月1日 85日間開催 特別展「森家三兄弟—鷗外と二人の弟」観覧者数:4,803名 関連講演会①:9月9日「森家の人々の芝居見物—森篤次郎(劇評家・三木竹二)を中心に」講師:神山彰氏(明治大学教授) 参加者数:54名 ④10月7日(土)～1月8日 86日間開催 開館50周年記念・文の京ゆかりの文化人顕彰事業 特別展「明治文壇観測—鷗外と慶応3年生まれの文人たち」観覧者数:6,926名 関連講演会①:11月26日「森鷗外と三人の慶応生まれの男たち—露伴・緑雨・紅葉」講師:坪内祐三氏(文芸評論家) 参加人数:57名 関連講演会②:12月9日「森鷗外と正岡子規—めざまし草そのほか」講師:森まゆみ氏(作家・編集者) 参加人数:55名 ⑤1月13日～4月1日 76日間開催 コレクション展「鷗外・ミーツ・アーティスト—観潮楼を訪れた美術家たち」観覧者数:4,741名 関連講演会①関連講演会:2月24日「鷗外が嚆望した洋画家藤島武二」講師:児島薫氏(実践女子大学教授) 参加人数:54名	✓	-	-	✓	・全国紙へのメディア掲載、ラジオ放送など多く紹介され、当館の認知拡大に効果があった。同時にメディア等の掲載が増える来館に対する電話での問い合わせや団体申込みが増加するため、スムーズ且つ敏速な案内、情報提供が必要となり、対応に差が出ないような心掛けが必要であった。 ・開催中の展覧会以外に、関連する過去の展覧会の図録も紹介したところ、図録の販売数が増加した。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
351	3-3-(3)	50		映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域文化遺産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行います。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化します。	【平成22年度～】 前年度より引き続き、区民等から区内の映像が映ったフィルム提供募集の周知を行ったが、平成29年度中に提供は無かった。	✓	-	-	-	区内の貴重な映像資料を地域の文化遺産として後世へ継承することが出来る。	アカデミー推進課	文化事業係・内線3646

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
352	3-3-(3)	50		文京区史編さん事業	区制施行70周年を迎える平成29年の発行に向けて、区史(教育史を含む)の編さん作業及び写真集の作成を行います。	【平成26年度～】 ・『文京区史』本編・資料編を平成30年3月29日に刊行。 ・平成29年5月2日(火)～5月30日(火)にアートウォール・シビックにて、区制70周年記念写真パネル展を実施。	✓	-	-	-	・写真パネル展では、写真集に掲載できなかった写真も含め展示を行った。昔懐かしい写真を見ることにより、郷土に対する関心と愛着を深めることに繋がった。 ・区史をできるだけ多くの方に手にとっていただくため継続的な広報活動を行う必要がある。	企画課	内線2104
353	3-3-(3) 4-1-(2) 4-2-(2)	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	一葉忌(11月23日)並びに原則土・日曜日に、跡見学園女子大学の協力を得て、旧伊勢屋質店の一般公開を行いました。 年間来館者数:2,276人(開館日数:64日)	✓	-	✓	✓	効果:多くの方に文京区ゆかりの文豪にまつわる施設を見学していただくことが出来ました。 課題:施設の公開にとどまらない活用方法について検討の余地があります。	アカデミー推進課	観光担当・2585
354	3-3-(3)	50		指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行います。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行います。	①国・都・区指定文化財を保護するための修理事業等について補助金を交付し、区指定文化財に対しては奨励金を交付した。 ②区指定文化財の所有者・管理者に対して、事業計画の調査を行った。 ③文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行った。	✓	-	-	-	①国・都・区指定文化財を保護するための修理事業等を申請してきた所有者等については補助金を交付し、区指定文化財に対しては奨励金を交付した。 ②区指定文化財の調査等を行っていく。 ③文化財及び坂道標示板の維持管理及び新設を今後も行っていく。	教育総務課	教育総務課・文化財保護係・内線3604
355	3-3-(3)			フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	・シビックシネマサロン(月例上映会) 12回 入場者995人 ・シビックシアター☆トークショー(特別上映会) 1回(11月) (参加者328人 定員300人 応募者406人)	✓	-	-	-	・支援者の協力により、スムーズに上映会を実施することができた。 ・昨年度よりも入場者が増えると共に、満員御礼の回も増加した。 ・シアタートークショーは支援者の協力でゲストの選定を行っているため、更なる協力者の育成が課題である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
356	3-3-(3) 4-1-(1)	54		まち並みウォッチング	まちあるきにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つけます。	【平成11年度～】毎年実施(平成25年度より2回/年) ①平成29年度はまち歩き(H29.4.19)を実施、参加者31名 ②親子景観連続講座「親子で風景あつめ隊」と題し、まち歩き(H29.7.25)参加者9組と作品鑑賞(H29.8.23)参加者7組を実施。	-	✓	-	✓	まち並みウォッチングは毎回多数の応募があり、区内の景観の普及啓発として効果的である。課題としては、ご高齢の参加者が多いため、より幅広い層の区民等が参加できるように事業開催の広報・周知の仕方を工夫する必要がある。具体的には、事業内容及び開催時期について検討していく。	住環境課	景観担当・内線2915
357	3-3-(3)			まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	【平成28年度～】 第1回:「あなたの名所ものがたり」17ほたち・わたしたち編」8月8日参加者:8名 第2回:「あなたの名所ものがたり 本郷編」10月7日参加者:12名 会場:東京大学 ※東京大学との協働事業、広報課CATV番組制作、事業成果のHP公開	✓	✓	✓	✓	・東京大学の協働により、大学の研究成果を活かし、参加者も楽しく満足感を得られる事業となった。 ・広く周知をして幅広い年代の参加者を増やしたい。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
358	3-3-(3) 4-1-(1)	54		文の京都市景観賞	優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、都市景観賞として表彰します。	【平成13年度～】平成29年度で17回の開催を迎えた事業。①景観創造賞 ②ふるさと景観賞 ③景観づくり活動賞 ④景観広告賞の4部門を設けて作品(写真)を募集、景観づくり審議会にて選考し、表彰を行う。平成29年度受賞物件は、①景観創造賞:公益財団法人 三菱経済研究所 ②ふるさと景観賞:湯島天満宮 ③景観づくり活動賞:愛のチャリティー白山まつり ④景観広告賞:該当無、応募総件数は189件と過去最多であった。	-	✓	-	✓	ここ数年応募が増加しているが、応募者の年齢層に偏りがあるため、より幅広い年代層からの応募を増やすよう広報・周知の方法を工夫する必要がある。また、受賞物件の質の向上を目指し、魅力のある賞となるようなインセンティブを検討する必要がある。	住環境課	景観担当・内線2915
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (4)文化資源に関する情報収集・整理と発信											3-3-(4)		
359	3-3-(4) 4-1-(3)	51		文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特徴や個性を発信します。	・ミュージアムマップの作成、配付 日本語版30,000部、英語版5,000部を作成した。 区内外ともに観光客が多く集まる場所に幅広く配布している。 ・合同イベント(ミュージアムフェスタ)の開催 日時:平成29年12月14日(木)午前10時～午後6時 会場:展示室I 来場者:645名	✓	✓	✓	✓	・ミュージアムマップは大変好評で、次々と追加発送依頼がある。平成30年度は30,000部増刷する予定である。 ・区内の博物館、美術館、庭園等が相互協力のもと連携をより一層深めることが出来た。 ・文京区における文化芸術の発展及び普及と、区内の歴史・文化資産に身近に触れる場と機会をより多くの区民に提供することが出来た。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
360	3-3-(4)	51		コンピューターによる館内閲覧システム	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを旨とします。	【平成29年度】 閲覧コンテンツ『名所』約250頁について既存説明文章の修正、画像の入替えと、重複データ20件を削除し、新規データを20件を追加。データの更新に併せて、コンテンツの内容を踏まえて名称を『史跡・名勝』に変更。	✓	-	-	✓	・開館以来稼働するシステムであり、時代や機器に合わせた更新を行うことで、新たな情報の提供や、利用者の利便性を高める効果を得られる。今後も順次コンテンツの更新を行う。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
361	3-3-(4)	51		文京ふるさと歴史館 だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。	【平成29年度】年1回 歴史館だより: 第24号 6,000部発行・配布 年報: 第20号(平成28年度) 500部発行・配布	-	-	-	✓	・歴史館事業の内容や成果をわかりやすく伝える手段として「たより」は有効である。ホームページでPDF版も公開している。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
362	3-3-(4)	51		森鷗外記念館 ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。	【平成24年度～】 館報: ①6月発行 館報(NEWS) No.19 ②9月発行 館報(NEWS) No.20 ③12月発行 館報(NEWS) No.21 ④30年3月発行 館報(NEWS) No.22 各号6,000部 年報: 6月20日発行「年報 第5号(平成28年度)」	-	-	-	✓	・館の活動や資料の報告を伝える媒体として活用できた。また関係各所との交流手段としても効果的な運用ができた。 ・館の情報発信媒体として、さらに効果的に活用していくため、内容や配布方法も再検討をしていきたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
363	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間: 5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW! 国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感いただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘						4-1-(1)							
364	4-1-(1) 4-2-(1) 4-3-(3)	54	観03-01	観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と案内を行います。	・ガイド: 25名 ・定例10コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等の実施 計140回、参加者1,759人 ・全3回の研修活動 ・新たな観光ガイドボランティアの育成(養成講座の開催) ・観光ガイドリーフレット「文の京の旅」の発行・配布	✓	✓	✓	✓	効果: 区の観光資源の魅力観光客等に対し広く伝えることができました。 課題: 一定の技量を身につけた観光ガイド数を増やすとともに、新たなテーマのまちあるきコースの開拓等を行い、区の魅力の一層の掘り起しが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
365	4-1-(1)	54		観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。	第56回観光写真コンクールの開催 ・応募者121人、応募点数395点 ・入賞作品40点 ・観光写真展 会期 11月10日～13日 入場者数 897人	✓	✓	✓	✓	効果: コンクール応募者及び写真展来場者に区の新しい観光資源を発見してもらったことができたことにも、入賞した作品を区の観光PRポスター制作に活用するなど、区の魅力の発信手法の幅を拡げることができました。 課題: 近年応募数が減少傾向にあることから、より多くの方に興味をもっていただけるような事業内容への見直しが必要となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2585

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
366	4-1-1(1) 4-3-1(1)	54		新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業	歴史性を生かした施設改修を進めている新江戸川公園をはじめ、周囲の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致施策を進めます。	【みどり公園課】 自主事業として、平30年2月10日(日)「松聲閣 邦楽レクチャーコンサート」を実施。 1回目定員:50名(先着)、参加者数:28名(うち小学生以下8名) 2回目定員:50名(先着)、参加者数:19名(うち小学生以下5名) (29年度合計14の自主事業を実施)	✓	✓	✓	✓	【みどり公園課】 (効果) ・対象年齢を0歳～、小学生以下を無料としたことにより、親子で充実した時間を過ごせるきっかけとなった。 ・実際に虫笛を吹く体験などを通じ、子どもから大人まで楽しみながら交流する環境を提供できた。 ・学問所であった松聲閣の意図に沿った、邦楽文化普及を図る催事を実施できた。 (課題) ・広報を指定管理者と出演者のつながりで実施したが、認知が広がらず、定員に達しなかった。	アカデミー推進課 みどり公園課	アカデミー推進課 観光担当・内線 2587みどり公園課 管理係・内線 3051
367	4-1-1(1)			石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室設置・運営	文京区ゆかりの文人(歌人)である石川啄木を顕彰するため、その終焉の地である小石川五丁目に啄木の歌碑及び顕彰室を設置・運営する。	石川啄木に関するパネル等の資料展示を行いました。 年末年始及び特別閉室時を除く毎日午前9時から午後5時まで閉室し、3,401名の方に入室いただきました。	✓	✓	✓	✓	効果:石川啄木の足跡を、写真やパネル、年表等で紹介し、その魅力を伝えることができました。 課題:引き続き石川啄木の魅力及び施設情報の発信を行います。また、施設内における各種観光リーフレットの配架も充実させる必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
368	4-1-1(1)			展望ラウンジ観光拠点化事業	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施する。	25階展望ラウンジにおいて、お酒を楽しめるイベントを実施しました。 イベント名称:Sky View Lounge BAR 日時:12月8日～9日(国内交流フェスタ同時開催) 内容:区観光土産推奨品に選ばれた区内製造企業によるビール並びに国内連携自治体(津和野町・魚沼市・金沢市・山梨市等)の地酒・ワインとおつまみ等を夜景とともに楽しめるイベント。 来場者数:約2,570名	✓	-	✓	-	効果:「国内交流フェスタ」開催日と合わせての実施とすることで、28年度に引き続き、多数の来場者数を獲得できたことに加え、新聞等のメディアにも複数取り上げられたことで、展望ラウンジの魅力について多方面にPRすることができました。 課題:お酒を楽しめる飲食イベントの実施を希望する声が多い中、今後展望ラウンジのさらなるPRとともに、イベント開催の在り方などを検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
369	4-1-1(1) 4-1-1(2) 4-1-1(3) 4-1-1(4) 4-3-1(1) 新規追加	209	観01-04	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を巡る～	新宿区と連携し、両区の「夏目漱石」という文化資源を生かした観光イベント等を実施することで、両区の観光客の周遊を促進するとともに、2020年に向け観光光における連携体制を強化します。合わせて、文の京地域文化インテリタターの会を活用した漱石関連の企画展を実施します。	・漱石ゆかりの地マップ作成(15,000部) ・文京区観光ガイドボランティアによる、漱石ゆかりの地をめぐるガイドツアー(10月21日(土)実施・参加者32人) ・漱石関連企画展(2月5日(月)～11日(日)開催・於アートサロン・来場者数3,747人) ・漱石関連公開講座(2月5日(月)開催・於スカイホール・参加者数99人)	✓	✓	✓	✓	・新宿区との連携・協力の下、事業を実施した実績を布石として、今後も様々な事業での連携を進めていく。 ・観光ガイドボランティアやインテリタターの会との連携・協働を引き続き進めていく。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
370	4-1-1(1) 4-1-1(3) 4-1-1(4) 新規追加	209	観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	シビックセンター25階展望ラウンジをはじめとする区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)技術等を活用した多言語観光アプリケーションを制作します。	・12月8日から観光コンテンツ「文京区デジタルジャーニー」公開(平成30年2月28日までの間の各観光スポット記事のプレビュー数:延べ1,760回、VR映像の視聴端末数:延べ5,950端末)	✓	-	-	✓	多くの方に文京区の観光スポットを動画・静止画の映像で楽しんでいただくことが出来た。 今後は、掲載施設を増やしたり映像内容を変更すること等、飽きずに楽しんでいただくことでより多くの方が文京区に訪れる契機となるような内容とすることが求められる。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
371	4-1-1(1) 4-1-1(3) 4-1-1(4) 新規追加	210	観02-01	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	文京ゆかりの文人が数多く登場する人気異能アクションバトル漫画・アニメーション「文豪ストレイドッグス」とコラボレーションした様々なイベントを実施します。	(1)「文豪ストレイドッグス」に登場するキャラクターにゆかりのある場所(6か所)を回って景品と引き換えるスタンプラリーの実施 (2)文京区ゆかりの文人キャラクターイラスト約30点の森鷗外記念館及びふるさと歴史館での展示(描き下ろしオリジナルイラスト1点、等身大パネル1点) 【実績】 いずれも12月20日(水)から平成30年1月31日(水)の間(休館日を除く)実施。 (1)スタンプラリー参加者数:1,555人 (2)イラストパネル展示会場入館者数①森鷗外記念館:10,493人(前年度同期間3,586人)②ふるさと歴史館:2,948人(前年度同期間1,374人)	✓	-	-	✓	若い世代を中心として、全国から多くの方が訪れたイベントとなった。 漫画・アニメとコラボレーションした結果、これまで文京区に興味・関心の薄かった方たちにも、来訪していただくことにつながった。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
372	3-3-3(3) 4-1-1(1) No.356再掲	54		まち並みウォッチング	まちあるきにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つけます。	【平成11年度～】毎年実施(平成25年度より2回/年) ①平成29年度はまち歩き(H29.4.19)を実施、参加者31名 ②親子景観連続講座「親子で風景あつめ隊」と題し、まち歩き(H29.7.25)参加者9組と作品鑑賞(H29.8.23)参加者7組を実施。	-	✓	-	✓	まち並みウォッチングは毎回多数の応募があり、区内の景観の普及啓発として効果的である。課題としては、高齢の参加者が多いため、より幅広い層の区民等が参加できるように事業開催の広報・周知の仕方を工夫する必要がある。具体的には、事業内容及び開催時期について検討していく。	住環境課	景観担当・内線 2915
373	3-3-3(3) 4-1-1(1) No.358再掲	54		文の京都市景観賞	優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、都市景観賞として表彰します。	【平成11年度～】毎年実施(平成25年度より2回/年) ①平成29年度はまち歩き(H29.4.19)を実施、参加者31名 ②親子景観連続講座「親子で風景あつめ隊」と題し、まち歩き(H29.7.25)参加者9組と作品鑑賞(H29.8.23)参加者7組を実施。	-	✓	-	✓	ここ数年応募が増加しているが、応募者の年齢層に偏りがあるため、より幅広い年代層からの応募を増やすよう広報・周知の方法を工夫する必要がある。また、受賞物件の質の向上を目指し、魅力のある賞となるようなインセンティブを検討する必要がある。	住環境課	景観担当・内線 2915

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (2)「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開											4-2-2(2)		
374	4-1-1(2)	55		新江戸川公園の改修	旧熊本藩細川家の下屋敷・抱屋敷であった新江戸川公園について、歴史性を生かした改修を行います。	【道路課】平成29年度 車道舗装工 (石畳風半たわみ性舗装)舗装厚10cm・・・467.0㎡ (石畳風透水水性ストリートボンド舗装)舗装厚10cm・・・136.0㎡ 排水施設工・・・一式 電気設備工・・・一式 交通安全施設工・・・一式 下水施設工・・・一式 【みどり公園課】 ・新江戸川公園庭園改修工事(第三期)の実施 ・秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり(第2回)～の実施 11月25日～12月3日に実施、 入場者数10,304名(無料:1526名、有料:8778名) ・江戸川公園トイレ及び江戸川公園内公衆便所整備の実施	✓	-	✓	✓	・肥後細川庭園について、周辺道路と一体的な整備を行うことにより、観光資源としての魅力をより高めることが出来た。 ・また、江戸川公園トイレ及び江戸川公園内のトイレの整備を併せて実施したことにより、観光客の利便性向上、周辺地区の魅力発信につながった。	アカデミー推進課 みどり公園課 道路課	アカデミー推進課 観光担当・内線 2587 みどり公園課 課計画担当・内線 3060 道路課整備 工事係・内線 3036
375	4-1-1(2) 4-2-2(2)	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	✓	✓	✓	✓	効果: 本区ゆかりの著名な文人である樋口一葉を顕彰するとともに、本区との密接な関係性を広く周知することができました。 課題: 引き続き広範な事業周知に協力する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
376	4-1-1(2) 4-1-1(4) 5-2-1(1)	55		食の文京ブランド100選	「食の文京ブランド100選」実行委員会で、区民他から公募により魅力ある区内の食の名店を選定し、多言語のリーフレット、ホームページ等を通じてPRします。	「食の文京ブランド100選2016-2018」について、多言語版リーフレットやホームページ等を通じてPRしました。	✓	✓	✓	✓	効果: 区内の魅力ある飲食店等を広く周知することができました。 課題: 事業開始当初より選定委員長を務めていただいていた岸朝子氏が亡くなり、「おしゅうごさいマップ」というリーフレットの名称も使えなくなることから、今後のあり方も含めて検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
377	4-1-1(2) 4-2-2(2)	55		文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度「森鷗外生誕150年記念事業」として区内の菓子店に協力をいただき、文京区ゆかりの代表的な文人たちにちなんだお菓子を制作していただき、文京区の土産品として販売しています。	・PR用リーフレットを更新し、商品のPRとともに区内のまちあるきコースを掲載しました。 ・イベント(文京博覧会、国際交流フェスタ、区民年賀会)等の機会を利用していただき、文京区の土産品として販売を行いました。	-	-	✓	✓	効果: 観光客による、本区ゆかりの代表的な文人ゆかりの地や周辺施設等への周遊につなげることができました。 課題: よりPR効果の高い販売機会の提供を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
378	3-3-3(3) 4-1-1(2) 4-2-2(2) No.353再掲	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	一業息(11月23日)並びに原則土・日曜日に、跡見学園女子大学の協力を得て、旧伊勢屋質店の一般公開を行いました。 年間来館者数: 2,276人(開所日数: 64日)	✓	-	✓	✓	効果: 多くの方に文京区ゆかりの文豪にまつわる施設を見学していただくことが出来ました。 課題: 施設の公開にとどまらない活用方法について検討の余地があります。	アカデミー推進課	観光担当・2585
379	4-1-1(1) 4-1-1(2) 4-1-1(3) 4-1-1(4) 4-3-1(1) 新規追加 No.369再掲	209	観01-04	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を巡る～	新宿区と連携し、両区の「夏目漱石」という文化資源を生かした観光イベント等を実施することで、両区の観光客の周遊を促進するとともに、2020年に向け観光面における連携体制を強化します。合わせて、文の京地域文化インタープリターの会を活用した漱石関連の企画展を実施します。	・漱石ゆかりの地マップ作成(15,000部) ・文京区観光ガイドボランティアによる、漱石ゆかりの地をめぐるガイドツアー(10月21日(土)実施・参加者32人) ・漱石関連企画展(2月5日(月)～11日(日)開催・於アートサロン・来場者数3,747人) ・漱石関連公開講座(2月5日(月)開催・於スカイホール・参加者数99人)	✓	✓	✓	✓	・新宿区との連携・協力の下、事業を実施した実績を布石として、今後も様々な事業での連携を進めていく。 ・観光ガイドボランティアやインタープリターの会との連携・協働を引き続き進めていく。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり											4-1-1(3)		
380	4-1-1(3) 4-1-1(4) 5-2-1(1)	56	観01-02	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致する。	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布しました。 <作成部数> ・おさんぼくん 日本語版75,000部、英語版15,000部、中国語版(簡体字)5,000部、中国語版(繁体字)5,000部、ハンガール版3,000部を作成 ・おしゅうごさいまっぷ 日本語版51,000部、英語版7,000部、中国語版(簡体字)4,000部を作成	✓	✓	✓	✓	効果: 区内外の観光関連施設等に配架することで、施設等来場者に対し本区観光の情報発信を行うことが出来ました。 課題: 外国人観光客の増加に対応するため、効果的な配布先を精査していく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
381	4-1-1(3)	56		コミュニティバス「B-ぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	29年度利用客数 千駄木・駒込ルート: 495,785人(前年度比: -2%) 目白台・小日当ルート: 445,973人(前年度比: +0.4%)	✓	-	-	-	年間の利用者数は横ばいになってきているので、利便性の向上や現状とは異なる視点で周知を行う必要がある。	区民課	庶務係・内線 2403

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
382	4-1-(3) 4-3-(2)	56		区内統一案内標識整備	ガイドライン「文京区案内標識等統一化計画」に基づき、標識内に設置場所付近の観光関連施設等の情報を掲載する。 ※設置は道路課主管で行う。	【平成29年度】 千駄木地域、白山地域、西片地域 統一案内標識設置：15基 既設案内標識等撤去：29基	-	-	✓	-	本区で設置している観光スポットの画像付きの観光案内標識は、観光まちあるきの促進に効果的である。本区を訪れた観光客に、本区の魅力や見どころとなる多種多様な観光スポットをより深く知ってもらうことが可能となり、観光客の本区での滞在時間や今後のリピーター客の増加が期待できる。	道路課	改良工事係・内線3034
383	4-1-(3) 4-3-(1)			自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	【平成29年度】 新たにサイクルポート18カ所(合計42カ所)整備・電動アシスト付自転車300台(合計500台)配備 対象地域：区内全域及び千代田区・中央区・港区・新宿区・江東区・渋谷区との行政区域を超えた広域的な相互乗入れによる実証実験実施中	✓	-	-	✓	本格導入に向け、利用状況、交通行動の変化等を調査し、自転車シェアリング事業が公共的な交通手段として定着する可能性等を検証していく	管理課	交通安全係・内線3008
384	4-1-(1) 4-1-(2) 4-1-(3) 4-1-(4) 4-3-(1) 新規追加 No.369再掲	209	観01-04	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を辿る～	新宿区と連携し、両区の「夏目漱石」という文化資源を生かした観光イベント等を実施することで、両区の観光客の周遊を促進するとともに、2020年に向け観光面における連携体制を強化します。合わせて、文の京地域文化インタープリターの会を活用した漱石関連の企画展を実施します。	・漱石ゆかりの地マップ作成(15,000部) ・文京区観光ガイドボランティアによる、漱石ゆかりの地をめぐるガイドツアー(10月21日(土)実施・参加者32人) ・漱石関連企画展(2月5日(月)～11日(日)開催・於アートサロン・来場者数3,747人) ・漱石関連公開講座(2月5日(月)開催・於スカイホール・参加者数99人)	✓	✓	✓	✓	・新宿区との連携・協力の下、事業を実施した実績を布石として、今後も様々な事業での連携を進めていく。 ・観光ガイドボランティアやインタープリターの会との連携・協働を引き続き進めていく。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
385	4-1-(1) 4-1-(3) 4-1-(4) 新規追加 No.370再掲	209	観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	シビックセンター25階展望ラウンジをはじめとする区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)技術等を活用した多言語観光アプリケーションを制作します。	・12月8日から観光コンテンツ「文京区デジタルジャーニー」公開(平成30年2月28日までの間の各観光スポット記事のプレビュー数：延べ1,760回、VR映像の視聴端末数：延べ5,950端末)	✓	-	-	✓	多くの方に文京区の観光スポットを動画・静止画の映像で楽しんでいただくことが出来た。今後は、掲載施設を増やしたり映像内容を変更すること等、飽きずに楽しんでいただくことでより多くの方が文京区を訪れる契機となるような内容とすることが求められる。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
386	4-1-(1) 4-1-(3) 4-1-(4) 新規追加 No.371再掲	210	観02-01	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	文京ゆかりの文人が数多く登場する人気異能アクションバトル漫画・アニメーション「文豪ストレイドッグス」とコラボレーションした様々なイベントを実施します。	(1)「文豪ストレイドッグス」に登場するキャラクターにゆかりのある場所(6カ所)を回って景品と引き換えるスタンプラリーの実施 (2)文京区ゆかりの文人キャラクターイラスト約30点の森鷗外記念館及びふるさと歴史館での展示(描き下ろしオリジナルイラスト1点、等身大パネル1点) 【実績】 いずれも12月20日(水)から平成30年1月31日(水)の間(休館日を除く)実施。 (1)スタンプラリー参加者数：1,555人 (2)イラストパネル展示会場入館者数①森鷗外記念館：10,493人(前年度同期間3,586人)②ふるさと歴史館：2,948人(前年度同期間1,374人)	✓	-	-	✓	若い世代を中心として、全国から多くの方が訪れたイベントとなった。 漫画・アニメとコラボレーションした結果、これまで文京区に興味・関心の薄かった方たちにも、来訪していただくことにつながった。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
387	3-3-(4) 4-1-(3) No.359再掲	51		文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特徴や個性を発信します。	・ミュージアムマップの作成、配付 日本語版30,000部、英語版5,000部を作成した。 区内外ともに観光客が多く集まる場所に幅広く配布している。 ・合同イベント(ミュージアムフェスタ)の開催 日時：平成29年12月14日(木)午前10時～午後6時 会場：展示室1 来場者：645名	✓	✓	✓	✓	・ミュージアムマップは大変好評で、次々と追加発送依頼がある。平成30年度は30,000部増刷する予定である。 ・区内の博物館、美術館、庭園等が相互協力のもと連携をより一層深めることが出来た。 ・文京区における文化芸術の発展及び普及と、区内の歴史・文化資産に身近に触れる場と機会をより多くの区民に提供することが出来た。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (4)文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり											4-1-(4)		
388	4-1-(4) 4-2-(1)	57	観01-03	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行います。	年末年始及びシビックセンター休館日を除く毎日午前9時30分から午後6時まで開所し、電話や窓口における観光相談や観光案内を行いました。 来所者数 23,816人 相談件数 8,853件	✓	✓	✓	✓	効果：来訪者や電話の問い合わせに対して、最新の情報を迅速かつ適切に提供することができました。 課題：相談件数の増加に対応するため、ホームページ等を活用した情報発信の強化が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
389	4-1-(4)	57		観光PRポスター作成	観光PRポスターを作成し区外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、区内への観光客誘致及び区のイメージアップを図ります。	観光写真コンクール入賞作品等を活用し、観光PRのためのB1サイズポスターを作成しました。区内外観光関連施設等に加え、本区内に乗り入れする地下鉄路線における、乗降客上位に位置する区外37駅の構内に新たに掲出し、広く観光PRを行いました。	✓	✓	✓	✓	効果：観光写真コンクール受賞作品を活用した区の観光PRポスターを作成し、特に区外施設等へ多数掲出することで、区外からの観光客に文京区の魅力を伝えることが出来ました。 課題：観光PRのためのより効果的な掲出先を引き続き検討し、質の高い情報発信に努める必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
390	4-1-(2) 4-1-(4) 5-2-(1) No.376再掲	55		食の文京ブランド100選	「食の文京ブランド100選」実行委員会で、区民他から公募により魅力ある区内の食の名店を選定し、多言語のリーフレット、ホームページ等を通じてPRします。	「食の文京ブランド100選2016-2018」について、多言語版リーフレットやホームページ等を通じてPRしました。	✓	✓	✓	✓	効果：区内の魅力ある飲食店等を広く周知することができました。 課題：事業開始当初より選定委員長を務めていただいていた岸朝子氏が亡くなり、「おもしろごっこマップ」というリーフレットの名称も使えなくなることから、今後のあり方も含めて検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
391	4-1-(3) 4-1-(4) 5-2-(1) No.380再掲	56	観01-02	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致する。	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布しました。 <作成部数> ・おさんぼくん 日本語版75,000部、英語版15,000部、中国語版(簡体字)5,000部、中国語版(繁体字)5,000部、ハングル版3,000部を作成 ・おもしろごっこマップ 日本語版51,000部、英語版7,000部、中国語版(簡体字)4,000部を作成	✓	✓	✓	✓	効果：区内外の観光関連施設等に配架することで、施設等来場者に対し本区観光の情報発信を行うことができました。 課題：外国人観光客の増加に対応するため、効果的な配布先を精査していく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
392	4-1-(1) 4-1-(2) 4-1-(3) 4-1-(4) 4-3-(1) 新規追加 No.369再掲	209	観01-04	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を巡る～	新宿区と連携し、両区の「夏目漱石」という文化資源を生かした観光イベント等を実施することで、両区の観光客の周遊を促進するとともに、2020年に向け観光面における連携体制を強化します。合わせて、文の京地域文化インタープリターの会を活用した漱石関連の企画展を実施します。	・漱石ゆかりの地マップ作成(15,000部) ・文京区観光ガイドボランティアによる、漱石ゆかりの地をめぐるガイドツアー(10月21日(土)実施・参加者32人) ・漱石関連企画展(2月5日(月)～11日(日)開催・於アートサロン・来場者数3,747人) ・漱石関連公開講座(2月5日(月)開催・於スカイホール・参加者数99人)	✓	✓	✓	✓	・新宿区との連携・協力の下、事業を実施した実績を布石として、今後も様々な事業での連携を進めていく。 ・観光ガイドボランティアやインタープリターの会との連携・協働を引き続き進めていく。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
393	4-1-(1) 4-1-(3) 4-1-(4) 新規追加 No.370再掲	209	観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	シビックセンター25階展望ラウンジをはじめとする区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)技術等を活用した多言語観光アプリケーションを制作します。	・12月8日から観光コンテンツ「文京区デジタルジャーニー」公開(平成30年2月28日までの間の各観光スポット記事のプレビュー数：延べ1,760回、VR映像の視聴端末数：延べ5,950端末)	✓	-	-	✓	多くの方に文京区の観光スポットを動画・静止画の映像で楽しんでいただくことが出来た。 今後は、掲載施設を増やしたり映像内容を変更すること等、飽きずに楽しんでいただくことでより多くの方が文京区に訪れる契機となるような内容とすることが求められる。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
394	4-1-(1) 4-1-(3) 4-1-(4) 新規追加 No.371再掲	210	観02-01	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	文京ゆかりの文人が数多く登場する人気異能アクション/バトル漫画・アニメーション「文豪ストレイドッグス」とコラボレーションした様々なイベントを実施します。	(1)「文豪ストレイドッグス」に登場するキャラクターにゆかりのある場所(6か所)を回って景品と引き換えるスタンプラリーの実施 (2)文京区ゆかりの文人キャラクターイラスト約30点の森鷗外記念館及びふるさと歴史館での展示(描き下ろしオリジナルイラスト1点、等身大パネル1点) 【実績】 いずれも12月20日(水)から平成30年1月31日(水)の間(休館日を除く)実施。 (1)スタンプラリー参加者数：1,555人 (2)イラストパネル展示会場入館者数①森鷗外記念館：10,493人(前年度同期間3,586人)②ふるさと歴史館：2,948人(前年度同期間1,374人)	✓	-	-	✓	若い世代を中心として、全国から多くの方が訪れたイベントとなった。 漫画・アニメとコラボレーションした結果、これまで文京区に興味・関心の薄かった方たちにも、来訪していただくことにつながった。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
395	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間：5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルパルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、鷗外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「バ水泳 木村敬一選手講演会」など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線				
						目標1	目標2	目標3	目標4							
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握											4-2-1(1)					
396	4-2-1(1) 4-3-1(1)	58		国内交流事業	他自治体との文化、観光、商業等に関する交流や様々な情報発信を通じて、互いの地域の活性化を図るとともに、魅力を高め合う。	【国内交流フェスタの実施】 ・日程 12月8日(金)、12月9日(土) ・参加自治体 20自治体 ・参加者(延べ人数) 2日間合計10,959人 【広島県福山市との相互協力協定の締結】 江戸時代に備後国福山藩邸が文京区にあったことを契機として、現在にも受け継がれている互いの歴史・文化を縁に各種交流事業の促進を図るため、福山市と相互協力に関する協定を締結した。(平成30年3月20日)				✓	-	✓	-	【国内交流フェスタ】 関係自治体の特産品や伝統芸能を知る機会となっただけでなく、自治体の担当者の方々と交流できたことは有益であった。 一方で、単発の事業であるため、継続的な交流や事業協力が課題となる。 【広島県福山市との相互協力協定の締結】 各種事業をどのように発展させていくかが課題となる。	区民課	庶務係・内線 2403
397	4-1-1(1) 4-2-1(1) 4-3-1(3) No.364再掲	54	観03-01	観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と案内を行います。	・ガイド:25名 ・定例10コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等の実施 計140回、参加者1,759人 ・全3回の研修活動 ・新たな観光ガイドボランティアの育成(養成講座の開催) ・観光ガイドリーフレット「文の京の旅」の発行・配布				✓	✓	✓	✓	効果: 区の観光資源の魅力を観光客等に対し広く伝えることができました。 課題: 一定の技量を身につけた観光ガイド数を増やすとともに、新たなテーマのまちあるきコースの開拓等を行い、区の魅力の一層の掘り起しが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
398	4-1-1(4) 4-2-1(1) No.388再掲	57	観01-03	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行います。	年末年始及びシビックセンター休館日を除く毎日午前9時30分から午後6時まで開所し、電話や窓口における観光相談や観光案内を行いました。 来所者数 23,816人 相談件数 8,853件				✓	✓	✓	✓	効果: 来訪者や電話の問い合わせに対して、最新の情報を迅速かつ適切に提供することができました。 課題: 相談件数の増加に対応するため、ホームページ等を活用した情報発信の強化が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (2) 文京区の地域ブランド力向上											4-2-1(2)					
399	3-3-1(3) 4-1-1(2) 4-2-1(2) No.353再掲	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	一葉忌(11月23日)並びに原則土・日曜日に、跡見学園女子大学の協力を得て、旧伊勢屋質店の一般公開を行いました。 年間来館者数:2,276人(開館日数:64日)				✓	-	✓	✓	効果: 多くの方に文京区ゆかりの文豪にまつわる施設を見学していただくことが出来ました。 課題: 施設の公開にとまらない活用方法について検討の余地があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
400	4-1-1(2) 4-2-1(2) No.375再掲	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	11月23日に行われた「一葉忌」事業に対し、補助金を交付しました。また、区HP等により当該事業に関するPRを行いました。				✓	✓	✓	✓	効果: 本区ゆかりの著名な文人である樋口一葉を顕彰するとともに、本区との密接な関係性を広く周知することができました。 課題: 引き続き広範な事業周知に協力する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
401	4-1-1(2) 4-2-1(2) No.377再掲	55		文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度「森鷗外生誕150年記念事業」として区内の菓子店に協力をいただき、文京区ゆかりの代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作していただき、文京区の土産品として販売しています。	・PR用リーフレットを更新し、商品のPRとともに区内のまちあるきコースを掲載しました。 ・イベント(文京博覧会、国際交流フェスタ、区民年賀会)等の機会を利用した販促支援を行いました。				-	-	✓	✓	効果: 観光客による、本区ゆかりの代表的な文人ゆかりの地や周辺施設等への周遊につなげることができました。 課題: よりPR効果の高い販売機会の提供を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (3) 効果的な双方向の観光情報発信											4-2-1(3)					
402	4-2-1(3)	60		パブリシティ	区内の様々な観光資源に関する情報をメディアに情報提供し、PR効果を向上させる工夫を行います。	文京花の五大まつりを中心に各種メディアへ観光情報の提供を行い、約80件のテレビ、新聞、雑誌等に掲載がなされ、区の観光情報の広範な発信を行いました。				✓	-	-	-	効果: 本区の観光の魅力について、メディアを通じ国内外問わず多くの方に発信することができました。 課題: 掲載数の増とともに、よりPR効果の高いメディアに取り上げられるような工夫が必要です。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
403	4-2-1(3)	60		フィルムコミッション事業	映像製作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。	ロケ撮影に関する相談件数:約40件 撮影成立件数:5件(ドラマ1件、バラエティ番組3件、Web配信映像1件)				-	-	-	✓	効果: テレビ番組等を通じ、本区の観光の魅力を広範に発信することで、本区の知名度が向上しました。また、ロケ地めぐりなどの直接的な観光振興につなげることができました。 課題: より発信力の高い番組へ撮影協力を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
404	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3) 5-1-1(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか				✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
405	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,500部 8回 8月10日～12月25日 124,000部 10回 1月25日～3月25日 124,500部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回	✓	✓	✓	—	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課	広報担当・内線 2121
406	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	—	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
407	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) No.12再掲			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成28年度発行) 次回発行:平成30年度7月予定	✓	✓	✓	—	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知をすることができる	広報課	広報担当・内線 2121
408	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(平成28年度発行)	✓	✓	✓	—	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当・内線 2121
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (4) 活気ある交流の仕組みづくり											4-2-(4)		
409	4-2-(4)	61		花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり(文京つつじまつり、文京あじさいまつり、文京菊まつり、文京梅まつり、文京さくらまつり) ・文京朝顔・ほおずき市 ・根津・千駄木下町まつり の各実行委員会に対し、事業実施にあたって補助金を交付しました。	✓	✓	✓	✓	効果:まつり期間中に複数回区HPやフェイスブック、ツイッターで花の開花やイベント情報を発信することにより、まつりの機運を盛り上げました。 課題:外国人向けの観光PRも拡充する必要がある中で、まつりへ実際に訪れる外国人観光客への対応や案内等の充実が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
410	4-2-(4) 4-3-(3) 5-2-(1)	61	交04-01	英語観光ボランティア	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	事業開始年度:平成19年度(財団法人文京アカデミー主催で開始、平成21年から区へ移管) 登録ガイド数:30人 英語観光ガイドツアー ・4月2日 小石川後楽園 参加者 8人 ・6月4日 小石川後楽園 参加者 2人 ・10月15日 小石川後楽園 参加者 3人 ・11月18日 折り紙会館、湯島天神 参加者 8人 ・11月25日 東京大学、根津神社 参加者 11人 ・12月3日 小石川後楽園 参加者 10人 ・2月25日 小石川後楽園 参加者 6人 ・3月3日 折り紙会館、湯島天神 参加者 4人 ・3月25日 護国寺 参加者 12人	✓	—	✓	✓	夏季シーズンを除き、花の開花やまつりに合わせて開催しており、参加者の評判はよい。参加者数はわずかに増加しているものの、絶対数はまだ少ないことから、外国人向け英語ツアーのニーズや手法の検討が必要である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
411	4-2-(4) 4-3-(1)	61		広域連携事業	隣接区や共通の観光資源を有する自治体と相互に連携し、文京区というエリアにとらわれない広域的な観光振興を行います。	千代田区・台東区とともに「東京文化資源会議」に参画し、千代田区・台東区・文京区の有する文化資源についての情報収集並びに発信について取り組み、地図アーカイブ事業並びに地図カタログ事業を行いました。	✓	✓	✓	✓	効果:地域の持つ観光資源の魅力を区境に捉われないことと蓄積・発信することが出来ました。 課題:蓄積した情報が来訪者にとって有益なものになるよう、発信方法や内容の精査を行っていく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
412	1-3-(3) 4-2-(4) No.187再掲			商店会との連携	商店会イベントの運営にインターンシップの一環で学生が参加	H29.11.12 第20回追分通り商業会まつり 文京学院大学 350人	—	✓	✓	✓	商店街街区の来場者が多かったため、日常の会話や顔なじみへの進展・活性化が図れた。	経済課	産業振興係・内線 2452
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築											4-3-(1)		
413	4-3-(1)	62		観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。	協会が実施したまつり等観光PR、観光PR誌発行、観光写真コンクール等の事業運営費及び事務局職員人件費に対する補助を行いました。	✓	✓	✓	✓	効果:本区への観光客誘致及び観光振興に係る経費を助成することで、事業内容が充実しました。 課題:どのような事業に対して助成を行うか、効果を確認した上で対象事業と額を決める必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
414	4-3-(1)			他事業者の主催事業への協力	鉄道事業者主催のまちあるき事業などへ協力する。各種事業主催者への区内観光情報の提供、他部署・団体、観光施設などとの連絡調整の支援、リーフレット等の提供などを行う。	・9月8日から18日に開催されたJR東日本主催まちあるきイベント「駅からハイキング」への協力を行いました。	—	—	✓	✓	効果:文京区で行われる各事業への参加者に区の観光情報を提供することが出来ました。 課題:文京区への再度の来訪に繋がるような、より効果的な情報提供が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
415	4-1-(1) 4-1-(2) 4-1-(3) 4-1-(4) 4-3-(1) 新規追加 No.369再掲	209	観01-04	吾輩探訪～漱石が 過ごした文京・新宿 を巡る～	新宿区と連携し、両区の「夏目漱石」という文化 資源を生かした観光イベント等を実施すること で、両区の観光客の周遊を促進するとともに、 2020年に向け観光面における連携体制を強化し ます。合わせて、文の京地域文化インタープリ ターの会を活用した漱石関連の企画展を実施し ます。	・漱石ゆかりの地マップ作成(15,000部) ・文京区観光ガイドボランティアによる、漱石ゆかりの地をめぐるガイド ツアー(10月21日(土)実施・参加者32人) ・漱石関連企画展(2月5日(月)～11日(日)開催・於アートサロン・来場 者数3,747人) ・漱石関連公開講座(2月5日(月)開催・於スカイホール・参加者数99 人)	✓	✓	✓	✓	・新宿区との連携・協力の下、事業を実施した実績を 布石として、今後も様々な事業での連携を進めてい く。 ・観光ガイドボランティアやインタープリターの会との 連携・協働を引き続き進めていく。	アカデミー推進 課	観光担当・内線 2587
416	1-3-(2) 4-3-(1) No.162再掲			文京博覧会 (ぶんぱく)2015	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実 演・販売。区内大学の産学連携または地域連携 事業も紹介	H29.11.17～18開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビック ホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、日本医科大 学、東洋学園大学、日本薬科大学 来場者数：11,124人	✓	-	✓	-	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実 演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について 広く区内外に情報発信を行った。 区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知っ てもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要が ある。	経済課	産業振興係・内 線：2453
417	4-1-(1) 4-3-(1) No.366再掲	54		新江戸川公園周辺 地域の魅力創出事 業	歴史性を生かした施設改修を進めている新江戸 川公園をはじめ、周囲の文化・観光施設等と連 携し、目白台・関口地域の観光客誘致施策を進 めます。	【みどり公園課】 自主事業として、平30年2月10日(日)「松聲閣 邦楽レクチャーコン サート」を実施。 1回目定員：50名(先着)、参加者数：28名(うち小学生以下8名) 2回目定員：50名(先着)、参加者数：19名(うち小学生以下5名) (29年度合計14の自主事業を実施)	✓	✓	✓	✓	【みどり公園課】 (効果) ・対象年齢を0歳～、小学生以下を無料としたことに より、親子で充実した時間を過ごせるきっかけとな った。 ・実際に虫笛を吹く体験などを通じ、子どもから大人 まで楽しみながら交流する環境を提供できた。 ・学問所であった松聲閣の意図に沿った、邦楽文化 普及を図る催事を実施できた。 (課題) ・広報を指定管理者と出演者のつながりで実施した が、認知が広がらず、定員に達しなかった。	アカデミー推進 課 みどり公園課	アカデミー推進課 観光担当・内線 2587みどり公園 課管理係・内線 3051
418	4-1-(3) 4-3-(1) No.386再掲			自転車シェアリング 事業	自転車シェアリング事業実証実験 (一定の地域内に複数設置されたサイクルポー トにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却 できるネットワーク型自転車共有システム)	【平成29年度】 新たにサイクルポート18カ所(合計42カ所)整備・電動アシスト付自転 車300台(合計500台)配備 対象地域：区内全域及び千代田区・中央区・港区・新宿区・江東区・渋 谷区との行政区域を超えた広域的な相互乗入れによる実証実験実施 中	✓	-	-	✓	本格導入に向け、利用状況、交通行動の変化等を調 査し、自転車シェアリング事業が公共的な交通手段と して定着する可能性等を検証していく	管理課	交通安全係・内 線3008
419	4-2-(1) 4-3-(1) No.396再掲	58		国内交流事業	他自治体との文化、観光、商業等に関する交流 や様々な情報発信を通じて、互いの地域の活 性を図るとともに、魅力を高め合う。	【国内交流フェスタの実施】 ・日程 12月8日(金)、12月9日(土) ・参加自治体 20自治体 ・参加者(延べ人数) 2日間合計10,959人 【広島県福山市との相互協力協定の締結】 江戸時代に備後国福山藩邸が文京区にあったことを契機として、現在 にも受け継がれている互いの歴史・文化を縁に各種交流事業の促進 を図るため、福山市と相互協力に関する協定を締結した。(平成30年3 月20日)	✓	-	✓	-	【国内交流フェスタ】 関係自治体の特産品や伝統芸能を知る機会となっ ただけでなく、自治体の担当者の方々と交流できたこ とは有益であった。 一方で、単発の事業であるため、継続的な交流や事 業協力が課題となる。 【広島県福山市との相互協力協定の締結】 各種事業をどのように発展させていくかが課題とな る。	区民課	庶務係・内線 2403
420	4-2-(4) 4-3-(1) No.411再掲	61		広域連携事業	隣接区や共通の観光資源を有する自治体と相 互に連携し、文京区というエリアにとらわれない 広域的な観光振興を行います。	千代田区・台東区とともに「東京文化資源会議」に参画し、千代田区・ 台東区・文京区の有する文化資源についての情報収集並びに発信に ついて取り組み、地図アーカイブ事業並びに地図カタログ事業を行 いました。	✓	✓	✓	✓	効果：地域の持つ観光資源の魅力を区境に捉われる ことなく蓄積・発信することが出来ました。 課題：蓄積した情報が来訪者にとって有益なもの になるよう、発信方法や内容の精査を行っていく必要が あります。	アカデミー推進 課	観光担当・内線 2585
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (2)安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進											4-3-(2)		
421	4-3-(2) 5-2-(2)	63		わかりやすいまちの 表示	案内標識やコミュニティバス「B-ぐる」、区有施 設における多言語表記を進めます。	【区民課】29年4月作成のB-ぐるのルートマップの英語版を5000部作成 し配布した。 【道路課】平成29年度 統一案内標識設置：15基 既設案内標識等撤去：29基	✓	-	✓	-	【区民課】英語版ルートマップをより効果的に利用し てもらえるよう、作成部数及び配布場所を検討する。 【道路課】ピクトグラムや多言語表記によるわかりや すく的確な観光情報等を提供する標識を設置すこと により、外国人や障害者、高齢者等を含む多くの 方々に、安心・安全な観光まちあるきを楽しんでもら うことができ、本区の観光客に対するおもてなしの心 を感じてもらえることができる。	区民課 道路課 アカデミー推進 課	区民課庶務係・ 内線2403道路課 改良工事係・内 線3034アカデ ミー推進課観光 担当・内線2587

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
422	4-3-2 5-2-2	63		防災対策での多言語対応	避難所プレートや防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	防災啓発パンフレットの配布、災害時専門ボランティアの登録啓発を行った。 (避難所表示板の多言語化については、平成28年度事業終了)	✓	✓	-	-	防災啓発パンフレットの配付により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の周知を図った。 今後は、災害時専門ボランティア制度の周知をより進め、登録者を増やすとともに、訓練を通じた外国人避難者への避難所の周知等、新たな取組みも検討したい。	防災課	備蓄担当 内線: 2548・2553
423	4-3-2	63		バリアフリーの推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進めるため、文京区バリアフリー基本構想を策定します。	文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画【山の手地域(東部・中央・西部)】の策定。 策定に当たり、協議会3回、事業者説明会、まち歩きワークショップ3回及び心のバリアフリーワークショップ等を実施した。	-	-	-	✓	重点整備地区別計画が3地域すべてに策定されたことにより、区全体のバリアフリー化の推進に効果が見込まれる。また計画に位置付けた特定事業を各事業者が実施するための費用の一部に対して補助金の交付等を行い、更なるバリアフリー化の推進と計画の進捗管理を行っていく。	都市計画課	都市計画担当・内線2905
424	4-1-3 4-3-2 No.385再掲	56		区内統一案内標識整備	ガイドライン「文京区案内標識等統一化計画」に基づき、標識内に設置場所付近の観光関連施設等の情報を掲載する。 ※設置は道路課主管で行う。	【平成29年度】 千駄木地域、白山地域、西片地域 統一案内標識設置 : 15基 既設案内標識等撤去 : 29基	-	-	✓	-	本区で設置している観光スポットの画像付きの観光案内標識は、観光まちあるきの促進に効果的である。本区を訪れた観光客に、本区の魅力や見どころとなる多種多様な観光スポットをより深く知ってもらうことが可能となり、観光客の本区での滞在時間や今後のリピーター客の増加が期待できる。	道路課	改良工事係・内線3034
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (3)観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成											4-3-3		
425	4-3-3 5-2-2	64	観03-02	外国人おもてなし隊 育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等ができるよう、TOEIC500点相当の英語力を有する方を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。	・「外国人おもてなし語学ボランティア講座」の実施(東京都共催) 実施回数 4回 平成29年7月8日 参加者39人 平成29年9月9日 参加者55人 平成29年12月9日 参加者58人 平成30年3月24日 参加者58人 ・外国人おもてなしカ レベルアップ交流会 平成29年12月17日 参加者(日本人・留学生)日本人:35人 留学生:14人	✓	✓	✓	✓	外国人おもてなし語学ボランティア講座は、都主催事業でも抽選倍率の高い事業であり、落選した区民からは区での実施を評価いただいている。しかし、区の事業においても定員を超えていることから、前年度は実施回数を1回増やし、今年度もまた1回増やし、計5回開催する予定である。 おもてなし精神の育成により、外国人にとって住みやすいまちづくりを具体的にどのように展開していくかが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
426	4-3-3			文京ウェルカム商店街	在住外国人や外国人観光客が安心して観光や買い物を楽しみ、区の魅力やおもてなしを感じられるよう、店主を対象としたセミナーの開催や外国人対応を行おうとする店舗の販売促進の取り組みに対する支援等を行います。	外国人おもてなしセミナー 1回 文京ウェルカム商店街事業補助金交付 9件	-	✓	-	✓	今後の外国人訪問者の増加に向けたノウハウを提供し、店舗ツールの多言語化対応や公衆無線LANの環境整備にも補助した。 補助金活用やセミナー受講者増に向けた周知が必要。	経済課	産業振興係・内線2452
427	1-3-3 3-3-1 4-3-3 No.192再掲			社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入する。	ふるさと学習副読本の作成「わがまち文京」「わたしたちの文京区」の作成 「わたしたちの東京都」購入	✓	✓	-	-	地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと学習副読本を作成することができた。	教育指導課	教育指導課 内線3541
428	3-1-2 4-3-3 5-1-1 No.299再掲	43	交04-01	国際交流フェスタ	外国人と日本人の文化を通じた友好交流及び相互理解推進を図ります。	実施日:平成30年2月24日(土) 参加者数 :1,200人 参加団体 :37団体	✓	-	✓	✓	多くの参加者が来場し、日本人、外国人の双方が文化を通じた相互交流ができた。 好評をいただいているイベントであり、現在1日開催しているところを2日間開催の可否を検討していきたい。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
429	4-1-1 4-2-1 4-3-3 No.364再掲	54	観03-01	観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と案内を行います。	・ガイド:25名 ・定例10コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等の実施 計140回、参加者1,759人 ・全3回の研修活動 ・新たな観光ガイドボランティアの育成(養成講座の開催) ・観光ガイドリーフレット「文の京の旅」の発行・配布	✓	✓	✓	✓	効果:区の観光資源の魅力観光客等に対し広く伝えることができました。 課題:一定の技量を身につけた観光ガイド数を増やすとともに、新たなテーマのまちあるきコースの開拓等を行い、区の魅力の一層の掘り起しが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
430	4-2-4 4-3-3 5-2-1 No.410再掲	61	交04-01	英語観光ボランティア	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	事業開始年度:平成19年度(財団法人文京アカデミー主催で開始、平成21年から区へ移管) ・登録ガイド数:30人 英語観光ガイドツアー ・4月2日 小石川後楽園 参加者 8人 ・6月4日 小石川後楽園 参加者 2人 ・10月15日 小石川後楽園 参加者 3人 ・11月18日 折り紙会館、湯島天神 参加者 8人 ・11月25日 東京大学、根津神社 参加者 11人 ・12月3日 小石川後楽園 参加者 10人 ・2月25日 小石川後楽園 参加者 6人 ・3月3日 折り紙会館、湯島天神 参加者 4人 ・3月25日 護国寺 参加者 12人	✓	-	✓	✓	夏季シーズンを除き、花の開花やまつりに合わせて開催しており、参加者の評判はよい。参加者数はわずかに増加しているものの、絶対数はまだ少ないことから、外国人向け英語ツアーのニーズや手法の検討が必要である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (1) 交流の機会の拡充											5-1-1		
431	5-1-1(1) 5-1-1(3) 5-2-1(1)	68	交04-01	地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行います。	・能楽鑑賞会への招待 実施日：平成29年7月17日 参加者数：13人 ・江戸甲冑工房見学・体験ツアー 実施日：平成29年9月30日 参加者数：4人 ・刀剣研磨作業場見学・体験ツアー 実施日：平成30年3月10日 参加者数：5人	✓	-	✓	✓	区内の資源を活用して、日本文化を外国人に体験していただくとともに、区内の外国人に区の事業に参加していただき、外国人による地域参加を促進した。外国人といっても、個々の事情や興味は様々であり、新鮮な気持ちで参加できる内容に工夫を加えることが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
432	5-1-1(1)	68		国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	進展する国際化に対応するための教育を実施(13年度以降海外派遣事業休止)	-	✓	-	-	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する力を育成している。	教育指導課	教育指導課 内線3541
433	3-1-1(2) 4-3-1(3) 5-1-1(1) No.299再掲	43	交04-01	国際交流フェスタ	外国人と日本人の文化を通じた友好交流及び相互理解推進を図ります。	実施日：平成30年2月24日(土) 参加者数：1,200人 参加団体：37団体	✓	-	✓	✓	多くの参加者が来場し、日本人、外国人の双方が文化を通じた相互交流ができた。好評をいただいているイベントであり、現在1日開催しているところを2日間開催の可否を検討していきたい。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (2) 海外都市との交流の活性化											5-1-2		
434	5-1-1(2)	69	交02-03	姉妹都市等との交流	カイザースラウテルン市やベイオウル区については、公式訪問団の派遣・受け入れだけでなく、さらに交流を推進するための新たな手法を検討してきます。	・カイザースラウテルン市 姉妹都市交流30周年記念事業区民ツアー 実施日：平成29年5月14日～20日 区民参加者数：21人 ・ベイオウル区 ベイオウル区の写真家による同区の人々及び街並みの写真展 実施日：平成29年6月29日～7月5日 会場：区民ひろば	-	-	-	✓	30周年記念事業区民ツアーの参加者からは、大変好評をいただいたところであるが、今後の本区とカイザースラウテルン市との懸け橋の担い手として、同市訪問経験のある区民になっていただくような仕組みづくりを検討したい。一方、ベイオウル区については、現地の治安等の課題もあることから、交流推進の手法については慎重に検討していく必要がある。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
435	5-1-1(2)	69	交02-03	海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。	・北京市通州区 区長ほか区職員2名が通州区を訪問し、「友好都市提携に向けての覚書」を締結 訪問日：平成29年10月23日～25日	-	-	✓	✓	通州区とは、平成29年10月に今後の友好交流の推進に向けた覚書を取り交わした。両区間の文化・スポーツ等の交流や区民ツアーの実施を検討するとともに、経済交流の可能性を研究していく。さらには、交流実績を積み重ねていき、将来、友好都市締結までの環境を整える。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
436	5-1-1(2)	69	交02-03	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。	・カイザースラウテルン市への生徒派遣。 男性2名 女性2名 平成29年8月7日から21日まで(15日間)	-	-	✓	-	生徒同士だけでなく、参加した家族ぐるみの交流が続いていると聞いており、姉妹都市交流の基盤としての効果が果たしている。一方、この成果を一般の区民に広げていくのが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
437	2-4-1(2) 5-1-1(2) No.282再掲	39		カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	【中学生の部】 カテゴリー1：8/26、29、30 参加チーム数12、281名 カテゴリー2：12/17、23、24 参加チーム数11、210名 【小学生1・2年生の部】12/3、10 小学1年生：参加チーム数9、138名 小学2年生：参加チーム数10、113名 【小学3・4年生の部】1/7、14 小学3年生：参加チーム数8、100名 小学4年生：参加チーム数9、108名 【小学5・6年生の部】2/18、24、25 小学5年生：参加チーム数8、90名 小学6年生：参加チーム数7、78名	-	✓	✓	✓	サッカーを通して心身を鍛え子供たちの健全育成を図る。	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線2592
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有											5-1-3		
438	5-1-1(3)	70		区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	・共催 文京多言語サポートネットワーク「外国人のための専門家相談会」 ・後援名義 跡見学園女子大学：日本スコットランド交流親善事業 文京学院大学：第31回「国際理解土曜セミナー」 文京学院大学：第32回「国際理解土曜セミナー」	-	✓	✓	✓	区内の大学等の様々な活動との共催や後援をすることで、区民に情報を広く発信することができた。今後も区の協力できる部分があると考えられるので、機会を捉えて各種団体とも連携を深めていきたい。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
439	1-1-1(1) 5-1-1(3) No.7再掲	70	学01-02	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	・文京アカデミア講座 24講座 [語学3講座、外国文化・歴史16講座、外国人おもてなし英会話5講座] (受講者611人 定員549人 応募者808人)	✓	-	✓	-	・複数の言語の語学講座をはじめ、様々な講座を提供することができた。応募者も定員を大きく上回る講座が多かった。 ・オリパラに向けて更なるニーズを探ることが必要である。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係 内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
440	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課	CATV担当・2126
441	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,500部 8回 8月10日～12月25日 124,000部 10回 1月25日～3月25日 124,500部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語)	広報課	広報担当・内線2121
442	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後幅広い発信に努める。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
443	5-1-(1) 5-1-(3) 5-2-(1) No.431再掲	68	交04-01	地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行います。	・能楽鑑賞会への招待 実施日:平成29年7月17日 参加者数:13人 ・江戸甲冑工房見学・体験ツアー 実施日:平成29年9月30日 参加者数:4人 ・刀剣研磨作業場見学・体験ツアー 実施日:平成30年3月10日 参加者数:5人	✓	-	✓	✓	区内の資源を活用して、日本文化を外国人に体験していただくとともに、区内の外国人に区の事業に参加していただき、外国人による地域参加を促進した。外国人といっても、個々の事情や興味は様々であり、新鮮な気持ちで参加できる内容に工夫を加えることが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当内線2588
444	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間:5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポツチャ佐藤選手独占取材)など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウタウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、臨外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020
5 国際交流 2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり (1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進											5-2-(1)		
445	5-2-(1)	71		文京区紹介映像多言語版の公開	タイトル「ようこそ文の京へ」約12分。英語、中国語、ハンガール版を作成し、ホームページでも公開しています。	引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っている。	✓	✓	✓	✓	海外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっている。現在の3カ国語以外については、他の広報手段でどのように対応するかにあわせて検討する必要がある。	広報課	CATV担当・2126
446	4-1-(2) 4-1-(4) 5-2-(1) No.376再掲	55		食の文京ブランド100選	「食の文京ブランド100選」実行委員会で、区民他から公募により魅力ある区内の食の名店を選定し、多言語のリーフレット、ホームページ等を通じてPRします。	「食の文京ブランド100選2016-2018」について、多言語版リーフレットやホームページ等を通じてPRしました。	✓	✓	✓	✓	効果:区内の魅力ある飲食店等を広く周知することができました。 課題:事業開始当初より選定委員長を務めていただいていた岸朝子氏が亡くなり、「おいしゅうございマップ」というリーフレットの名称も使えなくなることから、今後のあり方も含めて検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
447	4-1-(3) 4-1-(4) 5-2-(1) No.380再掲	56	観01-02	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致する。	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布しました。 <作成部数> ・おさんぼくん 日本語版75,000部、英語版15,000部、中国語版(簡体字)5,000部、中国語版(繁体字)5,000部、ハングル版3,000部を作成 ・おいしゅうございまっぶ 日本語版51,000部、英語版7,000部、中国語版(簡体字)4,000部を作成	✓	✓	✓	✓	効果：区内外の観光関連施設等に配架することで、施設等来場者に対し本区観光の情報発信を行うことができました。 課題：外国人観光客の増加に対応するため、効果的な配布先を精査していく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587
448	4-2-(4) 4-3-(3) 5-2-(1) No.410再掲	61	交04-01	英語観光ボランティア	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介しします。	事業開始年度：平成19年度(財団法人文京アカデミー主催で開始、平成21年から区へ移管) ・登録ガイド数：30人 英語観光ガイドツアー ・4月2日 小石川後楽園 参加者 8人 ・6月4日 小石川後楽園 参加者 2人 ・10月15日 小石川後楽園 参加者 3人 ・11月18日 折り紙会館、湯島天神 参加者 8人 ・11月25日 東京大学、根津神社 参加者 11人 ・12月3日 小石川後楽園 参加者 10人 ・2月25日 小石川後楽園 参加者 6人 ・3月3日 折り紙会館、湯島天神 参加者 4人 ・3月25日 護国寺 参加者 12人	✓	-	✓	✓	夏季シーズンを除き、花の開花やまつりに合わせて開催しており、参加者の評判はよい。参加者数はわずかに増加しているものの、絶対数はまだ少ないことから、外国人向け英語ツアーのニーズや手法の検討が必要である。	アカデミー推進課	国際交流担当内線2588
449	5-1-(1) 5-1-(3) 5-2-(1) No.431再掲	68	交04-01	地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行います。	・能楽鑑賞会への招待 実施日：平成29年7月17日 参加者数：13人 ・江戸甲冑工房見学・体験ツアー 実施日：平成29年9月30日 参加者数：4人 ・刀剣研磨作業場見学・体験ツアー 実施日：平成30年3月10日 参加者数：5人	✓	-	✓	✓	区内の資源を活用して、日本文化を外国人に体験していただくとともに、区内の外国人に区の事業に参加していただき、外国人による地域参加を促進した。外国人といっても、個々の事情や興味は様々であり、新鮮な気持ちで参加できる内容に工夫を加えることが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当内線2588
450	1-1-(1) 1-1-(2) 1-2-(1) 1-2-(2) 1-3-(1) 2-1-(1) 2-1-(2) 2-1-(3) 2-2-(1) 2-2-(2) 2-2-(3) 2-2-(4) 2-4-(1) 2-4-(2) 3-1-(1) 3-3-(1) 3-3-(4) 4-1-(4) 5-1-(3) 5-2-(1) 新規追加 No.8再掲			オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じてお伝えします。	・子ども記者及び編集サポーター登録数 70名(募集期間：5月10日～12月28日) ・年間3回、各号100,000部を発行しました。 第1号(10月1日)/記念硬貨やメダルについて(財務省、造幣局)、アルバルク東京協定、能について学ぶ(宝生能楽堂)、こころのバリアフリープロジェクト(ポッチャ佐藤選手独占取材) など 第2号(1月14日)/BUNKYO2020カウントダウン1000日前イベント、WAW!国際女性会議、全日本視覚障害者柔道大会、隅外記念館「ドイツの遊び」体験 など 第3号(3月31日)/東京競馬場馬術取材、視覚障害者柔道体験授業、平昌給食、国際交流フェスタ、読売巨人軍「G hands」バラスポーツ体験会、スポーツボランティア研修「パラ水泳 木村敬一選手講演会」 など	✓	✓	✓	✓	・登録者の増加による、記事(紙面)構成と、編集サポーターの不足が課題である。 ・オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典だけとしてでなく、経済や文化など様々な事柄に影響を及ぼすことであることが、子どもたちの体験と言葉(記事)を通じて、保護者や読者の皆様から大変共感をいただいた。	スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当・内線2020

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標1	目標2	目標3	目標4				
5 国際交流 2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり (2)外国人の生活・滞在に対する支援											5-2-(2)		
451	5-2-(2)	72		外国人の日常生活支援のための多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、外国人の住みやすさを向上するとともに、区窓口での手続きの効率化を図ります。	多言語化サポート事業 対応言語：英語・中国語(簡体字・繁体字)・ハングル 例) リサイクル清掃課：ゴミと資源の出し方のルールの周知チラシ 予防対策課：予防接種予診票 学務課：児童保健調査票・保健調査票	✓	-	-	-	外国人住民に対し、区民生活を行う際の基本的な情報を多言語化対応によって、提供することが可能となり、くらしの質の向上に寄与している。 今後も、生活に関わる書類の多言語化を進めるとともに、対応言語についても実態を踏まえて検討する必要がある。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
452	5-2-(2)	72		通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行います。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行います。	【外国人相談件数 13件】 (内タブレット使用件数 11件) ※他に区役所内窓口におけるタブレット使用件数 280件	✓	-	✓	-	・外国人住民等にも広く充実した行政サービスを提供できる。 ・年度初めの繁忙期にはオペレーターに繋がらないということも多々あった。	広報課	広報・相談担当 内線2125
453	5-2-(2)	72		図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	区立図書館で、英語、中国語、ハングルなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入して、閲覧や貸し出しに応じています。	一般書:303冊、児童書(絵本):123冊を新たに購入。 YA(10代の利用者)向けに外国語絵本の展示を実施。	✓	-	-	-	資料の充実を図るとともに、利用につなげるための工夫が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係 内線3624
454	5-2-(2)			配布物の多言語化	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布。	スポーツセンター・総合体育館において、対象者に利用案内の英語版を配布した。	✓	✓	-	-	日本語が得意な区内在住・在勤・在学の外国人に対し、施設利用について案内ができた。	スポーツ振興課	施設等担当 内線2594
455	5-2-(2)	113	環02-03	配布物の多言語化	「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布。	英語版・中国語版・ハングル版を各1,000部ずつ配布	✓	-	-	-	外国人のごみの分別徹底及びごみ減量に役立てている。 今後新たな配布先の検討が必要である。	リサイクル清掃課	清掃事業係 内線2562
456	5-2-(2)			わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	ホームページ・SNSの安定運用を図るとともに、アクセシビリティ及びユーザビリティの品質確保・向上のための職員研修を行った。	✓	✓	✓	✓	誰もが情報を簡便かつ確実に得られることが求められることから、引き続き、適切な運用と品質向上に努める。	広報課	報道・ホームページ担当 2123
457	5-2-(2)			外国語版母子手帳の配布	英語、中国語、ハングル語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語の母子手帳を配布。	交付件数:45件	✓	-	-	-	・日本語の分からない区民の方々に母子保健制度を深く理解してもらうことができた。 ・外国語版母子手帳は、英語、中国語、ハングル語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語の配布しているため、他の言語についても配付検討が必要である。	健康推進課	保健係 内線2831
458	5-2-(2)			日本語指導員の派遣	英語圏以外の、日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣しています。	児童24名、生徒7名に対し、延べ31人の日本語指導員を派遣	✓	✓	-	-	日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣することで、学校生活に適應できるような力が育てられている。	教育指導課	教育指導課 内線3541
459	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(平成28年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課	広報担当 内線2121
460	1-1-(2) 5-2-(2) No.41再掲			能力開発『実務・専門』ステージ 実務研修「庁内留学in Bunkyo～国際交流人の育成～」	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人講師による英語研修を実施するとともに、TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者への中心的役割を担わせる。	【平成27年度～】 5月～12月(前期・後期) グループレッスン、マンツーマンレッスン、自習 受講者 前期(5～8月) 19名 後期(9～12月) 19名	✓	✓	-	-	・受講生に好評である。 ・TOEIC600点以上の取得者を増やすことが課題である。	職員課	職員育成担当 内線2237
461	4-3-(2) 5-2-(2) No.421再掲	63		わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	【区民課】29年4月作成のBーぐるのルートマップの英語版を5000部作成し配布した。 【道路課】平成29年度統一案内標識設置：15基 既設案内標識等撤去：29基	✓	-	✓	-	【区民課】英語版ルートマップをより効果的に利用してもらえよう、作成部数及び配布場所を検討する。 【道路課】ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすい的確な観光情報等を提供する標識を設置することにより、外国人や障害者、高齢者等を含む多くの方々に、安心・安全な観光まちあるきを楽しんでもらうことができ、本区の観光客に対するおもてなしの心を感じてもらえることができる。	区民課 道路課 アカデミー推進課	区民課庶務係 内線2403道路課 改良工事係 内線3034アカデミー推進課観光担当 内線2587
462	4-3-(2) 5-2-(2) No.422再掲	63		防災対策での多言語対応	避難所プレートや防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	防災啓発パンフレットの配布、災害時専門ボランティアの登録啓発を行った。 (避難所表示板の多言語化については、平成28年度事業終了)	✓	✓	-	-	防災啓発パンフレットの配付により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の周知を図った。 今後は、災害時専門ボランティア制度の周知をより進め、登録者を増やすとともに、訓練を通じた外国人避難者への避難所の周知等、新たな取組みも検討したい。	防災課	備蓄担当 内線: 2548・2553

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	29年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
463	4-3-(3) 5-2-(2) No.425再掲	64	観03-02	外国人おもてなし隊 育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等ができるよう、TOEIC500点相当の英語力を有する方等を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。	・「外国人おもてなし語学ボランティア講座」の実施（東京都共催） 実施回数 4回 平成29年7月8日 参加者39人 平成29年9月9日 参加者55人 平成29年12月9日 参加者58人 平成30年3月24日 参加者58人 ・外国人おもてなしレベルアップ交流会 平成29年12月17日 参加者(日本人・留学生)日本人:35人 留学生:14人	✓	✓	✓	✓	外国人おもてなし語学ボランティア講座は、都主催事業でも抽選倍率の高い事業であり、落選した区民からは区での実施を評価いただいている。しかし、区の事業においても定員を超えていることから、前年度は実施回数を1回増やし、今年度もまた1回増やし、計5回開催する予定である。 おもてなし精神の育成により、外国人にとって住みやすいまちづくりを具体的にどのように展開していくかが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588

平成 30 年 4 月 1 日現在

文京区アカデミー推進本部構成員名簿（庁議構成員）

	職 名	氏 名	
1	本部長	成澤 廣修	区長
2	副本部長	瀧 康弘	副区長
3	副本部長	南 新平	教育長
4		久住 智治	企画政策部長
5		吉岡 利行	総務部長
6		八木 茂	危機管理室長
7		松井 良泰	区民部長
8		小野 光幸	アカデミー推進部長(オリンピック・パラリンピック担当部長兼務)
9		木幡 光伸	福祉部長(福祉事務所長兼務)
10		加藤 裕一	子ども家庭部長
11		石原 浩	文京保健所長(保健衛生部長兼務)
12		中島 均	都市計画部長
13		中村 賢司	土木部長
14		山本 育男	資源環境部長
15		鵜沼 秀之	施設管理部長
16		田中 芳夫	会計管理者
17		山崎 克己	教育推進部長
18		野田 康夫	監査事務局長
19		佐藤 正子	区議会事務局長
20		大川 秀樹	企画政策部 企画課長
21		新名 幸男	企画政策部 財政課長
22		久保 孝之	企画政策部 広報課長
23		石嶋 大介	総務部 総務課長
24		松永 直樹	総務部 職員課長

文京区アカデミー推進本部設置要綱

18 文区ア第 33 号平成 18 年 4 月 1 日区長決定

21 文アア第 5 号平成 21 年 4 月 1 日改正

24 文アア第 821 号平成 24 年 4 月 1 日改正

26 文アア第 313 号平成 26 年 4 月 1 日改正

28 文アア第 418 号平成 28 年 4 月 1 日改正

29 文アア第 109 号平成 29 年 4 月 1 日改正

30 文アア第 174 号平成 30 年 4 月 1 日改正

(設置)

第 1 条 文京区アカデミー推進計画に係る施策を総合的に推進するため、文京区アカデミー推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 文京区アカデミー推進計画の策定等に関すること。
- (2) 文京区アカデミー推進計画の推進に係る諸施策の調整等に関すること。
- (3) 文京区アカデミー推進計画の点検・評価に関すること。
- (4) その他、文京区アカデミー推進計画推進のための重要な事項の決定

(構成)

第 3 条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

2 本部長は、区長とし、推進本部を総括する。

3 副本部長は、副区長及び教育長の職にある者とし、本部長に事故あるときは、あらかじめ本部長が指定する副本部長がその職務を代理する。

4 本部員は、文京区庁議等の設置に関する規則（平成 6 年 3 月文京区規則第 10 号）第 4 条第 1 項に規定する者（ただし、前 2 項に定める者を除く。）とする。

(運営)

第 4 条 推進本部は、本部長が招集する。

2 本部長は、必要があると認めたときは、本部員以外の者に推進本部への出席を求めることができる。

(幹事会)

第 5 条 推進本部に幹事会を置く。

2 幹事会は、別表に掲げる者をもって構成する。

3 幹事会は、推進本部に付議する事案について必要な事項を検討し、推進本部に報告する。

4 幹事会は、前項の検討を進めるために検討部会を設置することができる。

5 幹事会に会長を置き、アカデミー推進部長の職にある者をもって充てる。

6 幹事会は、会長が招集する。

7 その他幹事会に関して必要な事項は、会長が定める。

(庶務)

第6条 推進本部及び幹事会の庶務は、アカデミー推進部アカデミー推進課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

付 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

別 表 (第5条関係)

所 属	職
アカデミー推進部	アカデミー推進部長
企画政策部	企画課長
企画政策部	財政課長
企画政策部	広報課長
区民部	区民課長
区民部	経済課長
アカデミー推進部	アカデミー推進課長
アカデミー推進部	観光・国際担当課長
アカデミー推進部	スポーツ振興課長
アカデミー推進部	オリンピック・パラリンピック推進担当課長

福 祉 部	福 祉 政 策 課 長
福 祉 部	障 害 福 祉 課 長
都 市 計 画 部	都 市 計 画 課 長
教育局教育推進部	教 育 総 務 課 長
教育局教育推進部	教 育 指 導 課 長
教育局教育推進部	児 童 青 少 年 課 長
教育局教育推進部	教 育 セ ン タ ー 所 長
教育局教育推進部	真 砂 中 央 図 書 館 長